20-3

昭和29年度 鹿島町久江公営住宅建設工事

6章 コンクリート工事

①	セメントの種類	⊛ 普通ポルトランドセメント
②	骨材の種類	☆ 混合砂　⊛ A種または A種と B種の混合物
③	骨材の粒径	
④	普通コンクリートの種類	3.3.1 設計基準強度（調合管理強度）＝呼び強度（保証値）＋1.0N/mm² ⊙ 13N/mm²　⊙ 18N/mm² スランプ：18cm
⑤	軽量骨材の場合	⊛ 絶乾の骨材重量は 0.02%/m³ 以下とする。
⑥	コンクリートの強度試験	6.11.4 コンクリートの強度試験は（1回）における。 試合当番書類は（1回）提出のこと。
⑦	コンクリートの種類	種別 / 適する箇所 ・A種 / ☆ B種 / ⊙ C種 / マット基礎（基礎梁、基礎梁）
⑧	打ち込み時期	種別 / 適する箇所 ⊙ 外気温がコンクリート設計基準強度 / 外気温
⑨	養生	1) 養生コンクリートの強度は 14N/mm² から 21N/mm² とする。 2) 養生方法 ⊛ 6.6.5 養生（湿潤）による。
⑩	レディミクストコンクリート工場の選定	現場から工場までの時間は 60分を原則とする。
⑪	鉄筋コンクリート造の種類	種別 / 適用部位 / 打継ぎ位置 / 打継ぎ処理 ⊛ 普通コンクリート / 基礎、地下外壁 / 基礎梁、地下外壁 / 9.11～9.11.7
⑫	鉄筋コンクリート造の種類	種別 / 適用部位 / 打継ぎ位置 / 打継ぎ処理 ⊛ 普通コンクリート / 基礎 / ☆ C種・100% / 9.11～9.11.7 ⊙ 特水コンクリート / 基礎 / ☆ C種・100% / 9.11～9.11.7

5章 土工事

①	土質の調査	5.1.1(a)
②	土質の判定	5.1.1(b) (1)
③	土質の判定	5.1.1(c) (1)
④	地盤改良	5.1.2(2)
⑤	くい	5.1.3
⑥	鋼矢板	5.1.4

掘削底：⊛ A種（30N/mm²）・B種
埋戻し：⊛ A種（15N/mm²）・B種
（掘削の深さ 1.5m 以上）

⊛ B種（ ）

1) 地下 ⊙ 地下水の水質は特記による。

2) 掘削

種別 \ 土質および水の状態	見え掛り部分	見え隠れ部分
擁壁	・ない ⊙ 粘土 ⊙ 砂 ⊙ 礫 ⊙ 岩 ・ 土質（地理生協）	小規模 / 大規模：5.1.1(c)(1)による	土立
土留め	⊙ 薬液処理杭	⊙ 薬液 1等全長以上
連壁	⊙ 粘土 ⊙ 砂 ⊙ 礫 ⊙ 薬ヒバ ⊙ 薬ヒバ	全長以上

5.1.1(c)(2) ⊙ 粘土 ・砂土と混在するものは ⊙ 粘土 ⊙ 砂 ⊙ 礫 ⊙ 岩やこの種の掘削地とし、当業はよい粘土以上とする。

・代用掘削 ☆

⊙ 掘削面の乱れ 代用掘削を採用する場合は、掘削の乱れしを防ぎ、地盤の支持力を得て施工すること。

5.1.3 1) 杭頭の仕上

⊙ A種（掘削面の残留物が1cm以下）程度で仕上げる。ただし杭頭の処理が望ましい。

A 地業工事

4.1.1(a)	地業の種類	適する箇所	摘要
4.1.2(a)	12.1.1 地業の種類による。		
⑤ くい	5.1.6 (a)～(d)		
⑥ 鋼矢板	3.3.2 (a)～(e) 5.1.7 (a)～(d)	マンカーボルト ボルト径は、杭の呼び径 12mm 以上とする。	

8章 鉄筋コンクリート工事

1	鉄筋の種類	☆ 径の細いものは、丸鋼とする。 ・ 鉄筋などの主要構造部分にリブつき鋼筋を使用する場合は、異形鉄筋とする。 ・ 次の箇所を特に指定する。
2	セルタル塗り	8.11 下地工法 8.21 (2) ワイヤラス張り (1)～(3) アスファルトルーフィング（22kg/巻）
3	型枠	8.23 型枠
4	打放しコンクリート	8.8.6
5	鉄筋コンクリート造の種類	8.9.1
6	鉄筋の定着	定着の種別 ・ 図示（180°曲げ）による。
7	鉄筋の継手	
10	1 鉄筋のガス圧接	

1) 種別等

圧縮力	⊛ 40N/mm²
引張力による種類	⊙ B m²/N m²
水圧による種類	⊙ 比 kg/cm²
材の長さ	⊙ 40 ⊙ 60 ⊙ 40
表面処理	⊛ 亜鉛めっき 粉末塗装
	被覆厚の種別 3μm
表面処理	⊙ 亜鉛めっき 粉末塗装
	被覆厚の種別 3μm
	塗装の種別 ・ ゴールド ・ ブロンズ
	・ 塗装無し

備考

2) 運営開始のシンクロン用行動
3) 運営の種別
⊙ B種 2等 支持数値 15%以上 人工数値 40%以上

4) コンクリートの表面仕上の区分

種別（厚さ）	種別	施工箇所
⊛ (4.0%)	・ 1類	
⊙ (2.7%)	⊙ 2類	プリント合板

10章 運営工事

1	鉄筋の種類	
10.2.1	1) 類別等	同じ ⊛ 40N/mm² 引張力による種類 ⊙ B m²/N m² 水圧による種類 ⊙ 比 kg/cm² 材の長さ ⊙ 40 ⊙ 60 ⊙ 40 ⊛ 亜鉛めっき 粉末塗装 被覆厚の種別 3μm 表面処理 ⊙ 亜鉛めっき 粉末塗装 被覆厚の種別 3μm 塗装の種別 ・ ゴールド ・ ブロンズ ・ 塗装無し
10.1.1	1) 運営種の種別	⊙ B種 2等 支持数値 15%以上 人工数値 40%以上

11章 塗装工事

11.1.1 11.2.1	一般事項	下地調整品とする。
2	素地ごしらえ	(b) 1) 鉄面 ・ A種 ⊛ B種
		(c), 2) コンクリート、モルタル面 ・ A種 ⊛ B種
		3) 石膏ボード面その他のボード面 ・ A種 ⊛ B種
11.2.2 3	調合ペイント	1) 塗料種別 除外 ⊛ 油性調合ペイント (OP) ☆ 合成樹脂調合ペイント (SOP) 2種 ・ 除外 ⊛ 合成樹脂調合ペイント (SOP) 1種
		2) 鉄面露出木部塗料の種別 ⊛ A種 ・ B種 ・ C種
		露出木の種類種別 ⊛ 1種 ・ 2種
		合成樹脂調合ペイント塗り ・ A種 ☆ B種
		3) 木部メッキ面錆止め塗料の種別 ⊙ A種 ・ B種
		油性調合ペイント塗り ⊛ A種 ・ B種
		合成樹脂調合ペイント塗り ☆ A種 ・ B種
11.2.4 4	合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	・ A種 ⊛ B種
5	オイルペイント塗り (VP)	・ A種 ⊛ B種
6	オイルペイント塗り (FP)	1) 木部塗り ・ A種 ☆ B種
		2) 鉄骨および鉄部メッキ面 ・ A種 ☆ B種

照査　石川県土木部 建築住宅課　年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	工事名	図面名	縮尺	
	石川県木造公営住宅関連設計図	特記仕様書 (3)		

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

No.　図面No. 3

便所 平面詳細図 1/30

記号	寸法	床面積
A	3.640 × 9.100	33.124
B	3.943 × 5.460	21.529
C	4.550 × 2.730	12.422
D	4.550 × 1.365	6.211
計		73.286
	住戸専用床面積	61.555
	附属部分床面積	5.520
	共用部分床面積	6.211
	計	73.286

住戸専用

延べ床

8.190
4.550
3.640
2730
5460
9100
10465
1365
3.943
3033
4.550

A
B
C
D

展開機示

照査	課長	参事	課長補佐	係長	担当

石川県土木部 建築住宅課 年 月

設計年月日		工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
53.2.28		石川県木造公営住宅標準設計図 石ー79ーNW-62	北入 60㎡ 詳細詳細図	1/30	物長	浦	NW-62	8
補1 3.13								
補2 3.14								

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

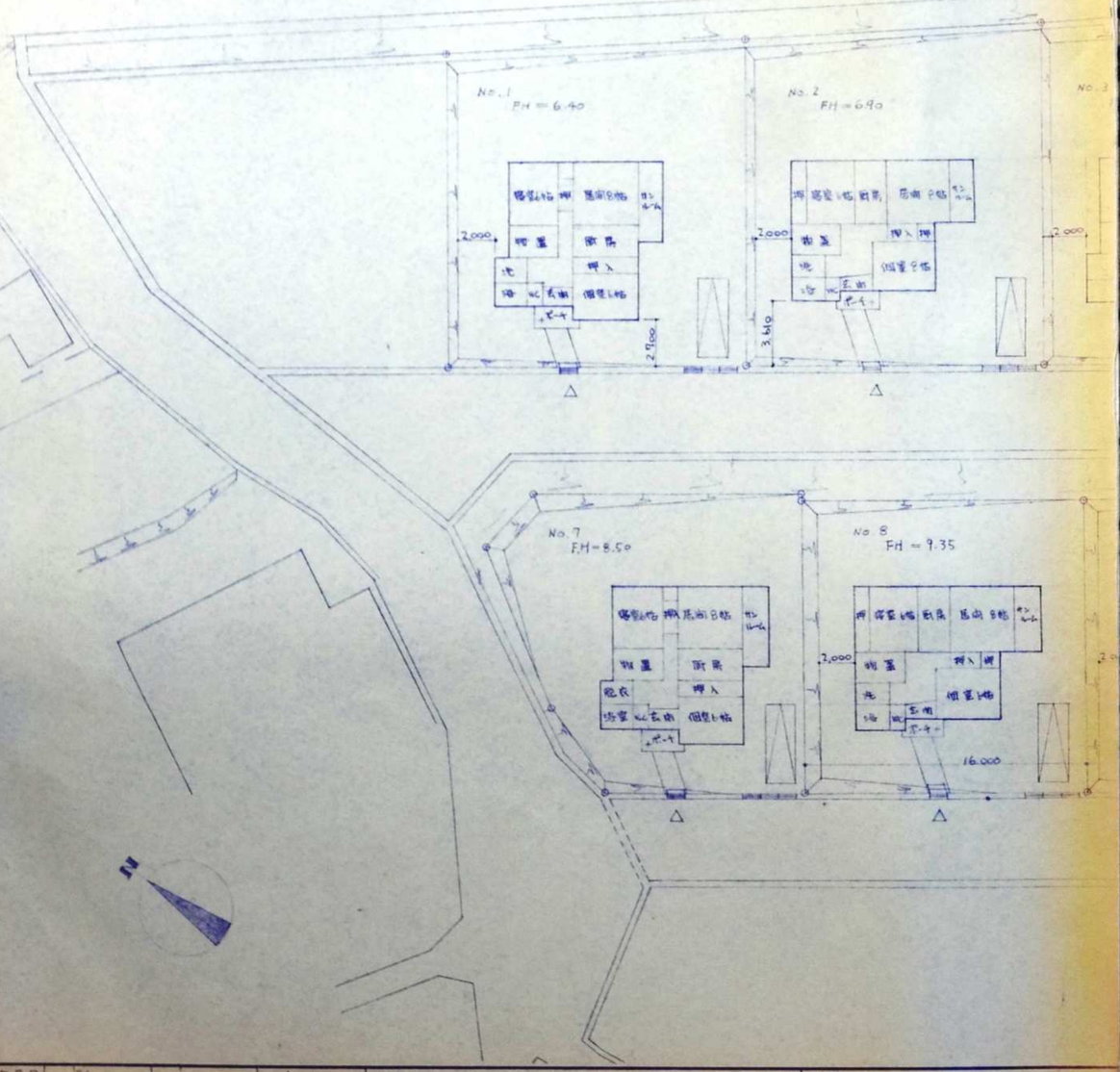
番号	地名地番	敷地面積	住宅型式番号	床面積	備考
NO.1	鹿島市鹿島町久江	311.246㎡	ろ-79-NW-62(2)	73.286㎡	
NO.2	〃	324.473	ろ-79-ES-62(1)	72.044	
NO.3	〃	332.235	ろ-79-NW-62(2)	73.286	
NO.4	〃	322.927	ろ-79-ES-62(1)	72.044	
NO.5	〃	309.652	ろ-79-NW-62(2)	73.286	
NO.6	〃	317.926	ろ-79-ES-62(1)	72.044	
NO.7	〃	259.815	ろ-79-NW-62(2)	73.286	
NO.8	〃	265.650	ろ-79-ES-62(1)	72.044	
NO.9	〃	279.657	ろ-79-NW-62(2)	73.286	
NO.10	〃	280.844	ろ-79-ES-62(1)	72.044	
NO.11	〃	277.888	ろ-79-NW-62	73.286	将来建築予定
NO.12	〃	264.985	ろ-79-ES-62	72.044	〃

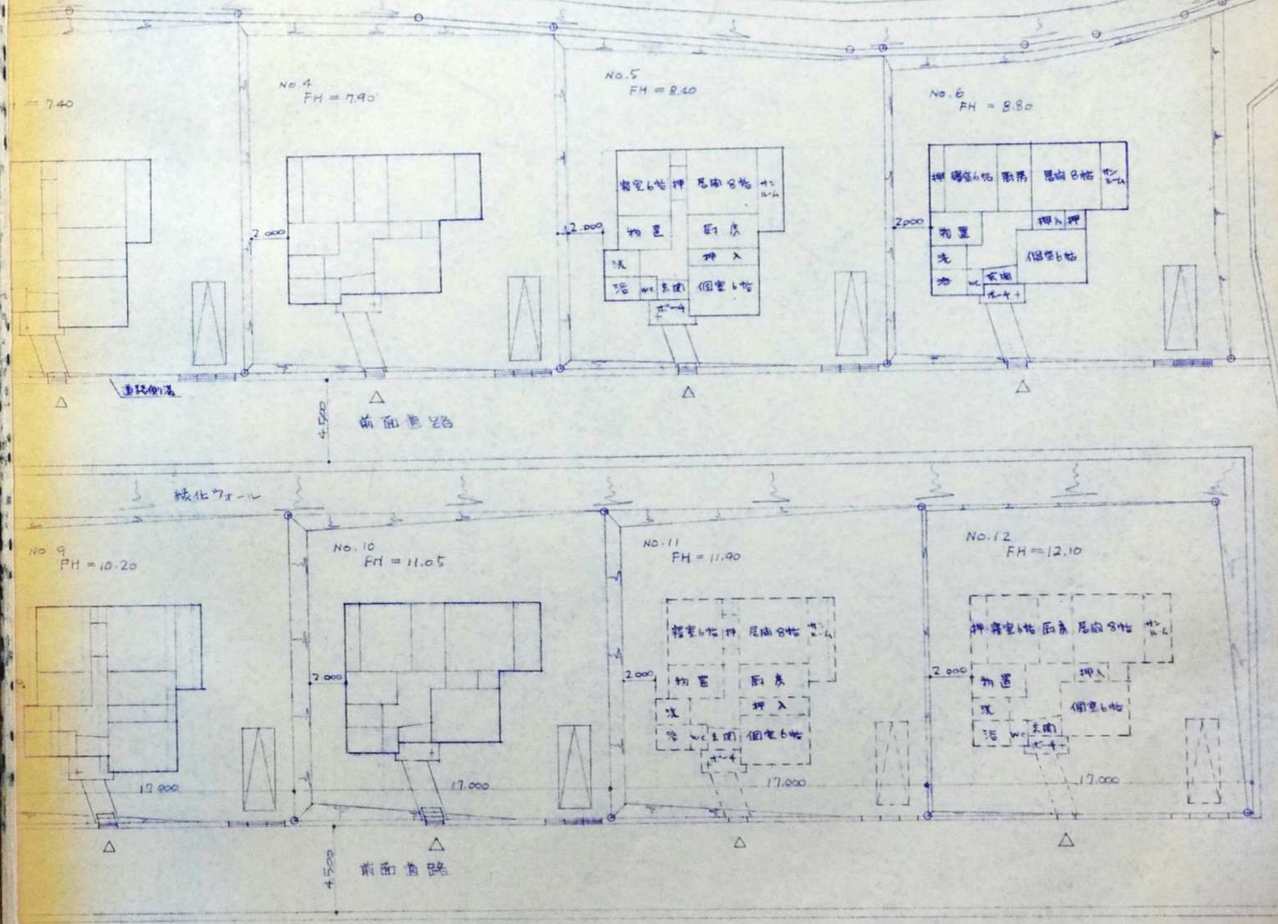
No1～No10=3004.235

床面積			
住宅部分	61.555㎡	62.106㎡	住戸専用
物置 〃	5.520	4.969	
サンルーム	6.211	4.969	
計	73.286	72.044	延べ床
ポーチ	1.656	1.105	
建築面積	74.942	73.149	

附近見取図 1/3000







配置図

設計年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
平.11.30	昭和55年度鹿島町久江公営住宅建設工事	配置図	1/250	1級建築士 第21982号 長村寛次		b
55.11.15		附近見取図	1/3,000			

北入	東入	巾木	腰壁	床	壁	天井	備考
北面	東面	杉板ン補強用モルタル下3 各所引付ビス（スーパーパテ 同等品以上）	防水モルタル塗り厚ビニルタイルン張付 目地棒付ビス	下 上	下 上	下 上	日本対重（地付量） 有効引張 t/cm² 管よめ引、分引
東面	北面	下 上	下 上	下 上	下 上	下 上	アルミサッシ、網戸（別途）取手接着剤
南面	南面	下 上	下 上	下 上	下 上	下 上	杜 樹脂、塗装
西面	西面	下 上	下 上	下 上	下 上	下 上	
備考		材 1層巻 周囲	アルミホール ビルボー、ブ材材				

開口仕上表

	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考
ポーチ	モルタル金鏝押さ 水切散付	コンクリート打放しの上	防水モルタル塗り厚ビニルタイルリンク張付 目地棒付ビス	下 上	下 上	鋼製建具（玄関前袖共）、表札（建築名称 埋込タイプ及 取付方法）
玄関	下 上 水切散付	下 上	プリント合板 張り 厚4mm 割縁 O.S.L	下 上	下 上 割縁 O.S.L	
土間	フロア合板 張り 厚12mm	ラワン 18×60 C.L	下 上	下 上	下 上 廻縁 O.S.L	
（水道）便所	ビニール張シート貼り	下 上 C.L	耐水プリント合板張り 厚4mm	下 上	下 上	水洗ン場所、便器水洗便器、ン紙巻ン場所、手かし金具便器、ペーパーホルダー
洗面所	フロア合板張り 厚12mm	下 上 C.L	白線ポスト板 厚ビニル ビニールフロア貼り	下 上	下 上	化粧ミラー付台 洗面器用排水ポン（排水配管共） 鏡割付予想、金具（別途） 化粧レジスター
浴室	モルタル金鏝押さ 水切散付		防水モルタル金鏝押さ 排気 V.P 散気 O.P	目地印ン上 防水モルタル刷毛引仕上	排気 V.P 散気 O.P	浴槽（別途）、バランス窓（別途） タオン（別途） 化粧レジスター、バランス窓用開口部（必ず開けること）
物置	フロア合板張り 厚12mm モルタル金鏝押さ 水切散付	ラワン 18×60 C.L モルタル金鏝押さ	プリント合板張り 厚4mm 割縁 O.S.L	下 上	下 上 廻縁 O.S.L	化粧石膏ボード張り 厚9mm 廻縁 O.S.L
ポーチ	モルタル金鏝押さ		ラーパーボード 厚12mm の上 ビニールフロア貼り	下 上	下 上	物干金物（浴槽共 アルミ45× 5ヶ所付）
勝手口	フロア合板張り 厚12mm	ラワン 18×60 C.L	化粧石膏繊維ケルシウム板張り 厚6mm 割縁 O.S.L	下 上	下 上 廻縁 O.S.L	流し台、 、吊戸棚、水切棚（W1200）種別記 換気扇（換気量 m³/h）、給気ガラリ、
居間（8帖間）	タタミ敷 厚 cm		ラーパーボード、厚12mm の上 ビニールフロア貼り	下 上	下 上 化粧石膏ボード張り（秒張）厚9mm	壁用換気孔
居間（6帖間）	下 上		下 上	下 上	下 上	壁用換気孔 床、置下地張り（指定ナイ所は釘ピス打ちないこと） 照明器具（別途）
寝室（6帖間）	下 上		下 上	下 上	下 上	壁用換気孔 床、置下地張り（ 〃 ） 照明器具（別途）
和室（6帖間）	下 上		下 上	下 上	下 上	壁用換気孔 床、置下地張り（ 〃 ） 照明器具（別途）
押入	ラワンベニヤ張り 厚cm 上cm	杉板 厚	ラワンベニヤ張り 厚4mm	下 上	ラワンベニヤ張り 厚3mm	中段1段（床から 上cm） 天袋付
物干場	モルタル金鏝押さ 水切散付	下 上	プリント合板張り 厚4mm 割縁 O.S.L	下 上	プリント合板張り 厚3mm 廻縁 O.S.L	物干金物（浴槽共 アルミ45× 5ヶ所付）
（浴室内）便所	フロア合板張り 厚12mm	ラワン 18×60 C.L	耐水プリント合板張り 厚4mm 割縁 O.S.L	下 上	化粧石膏ボード張り 厚9mm 廻縁 O.S.L	
備考						

照査

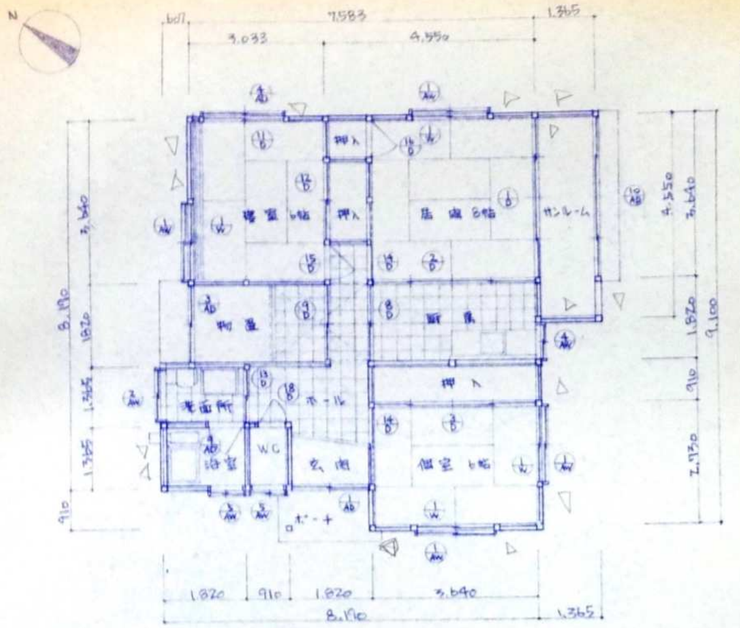
石川県土木部 建築住宅課	年 月 日
課長	参事
課長補佐	係長
担当	

設計年月日	54.3.2 / 3.13 / 3.15	工事名	図面名	縮尺	
		石川県木造公営住宅標準設計図	仕上表		

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

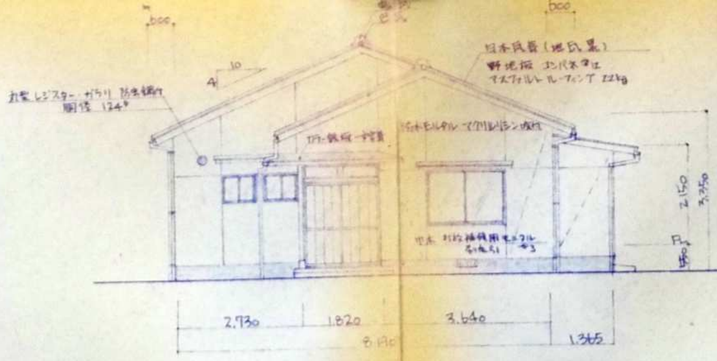
No.

図面No. 5



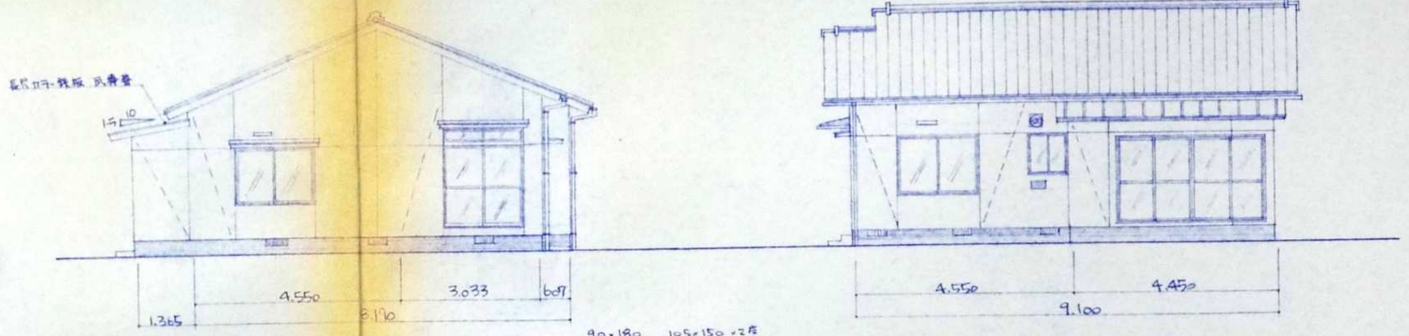
平面図 1/100

MW 62



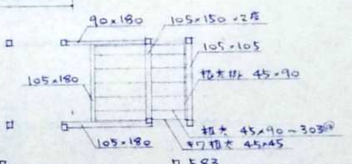
西 立面図

北 立面図 1/100

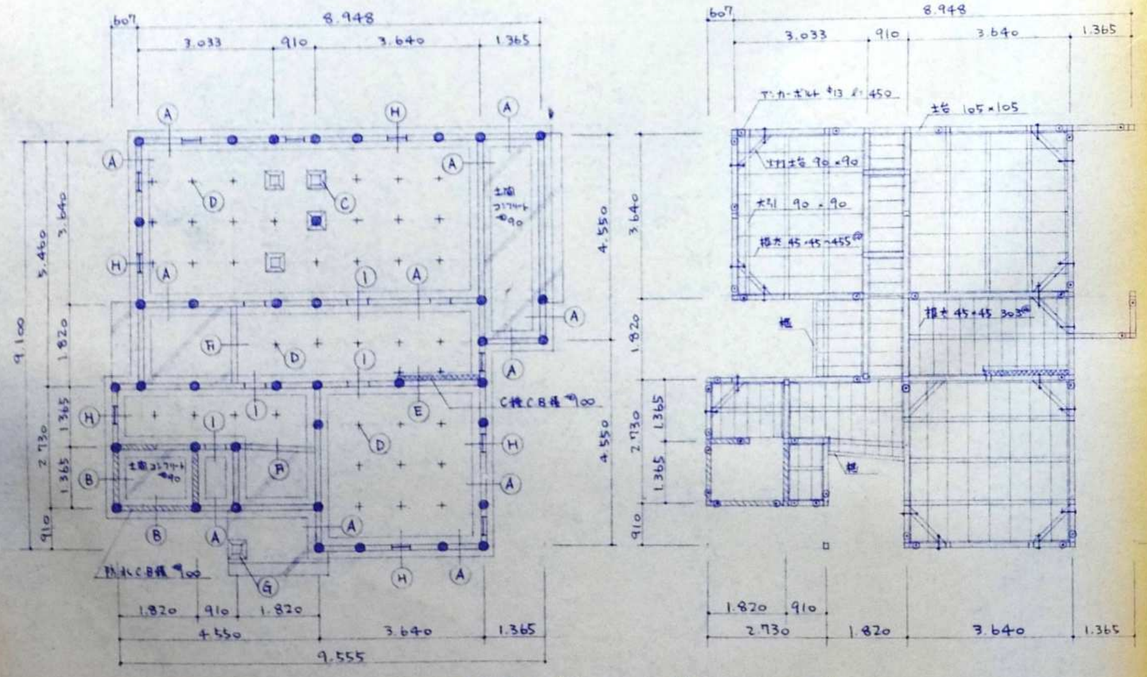


東 立面図 1/100

南 立面図 1/100



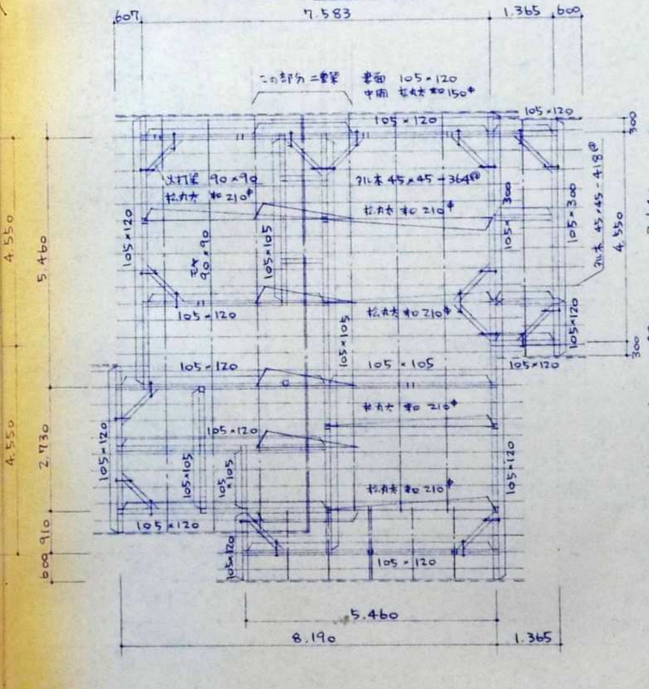
外壁部分床伏図



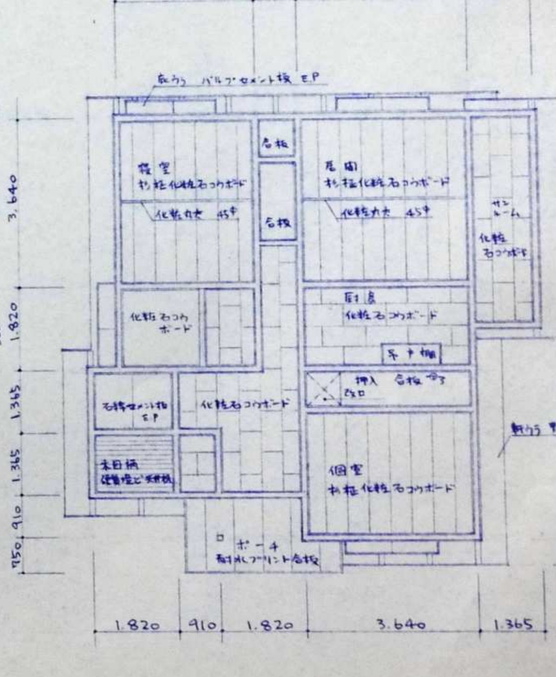
基礎伏図 1/100

● RC杭 150φ ℓ=2,000 39本/棟 No.1,3,5 の3棟
150φ ℓ=3,000 39本/棟 No.7 の1棟

床伏図 1/100



小屋伏図 1/100



天井伏図 1/100

設計年月日		工事名	図面名	縮尺			株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
55 9/1 11:00~ 15:00		昭和55年度鹿島町久江公営住宅建設工事	石-79-NW-62 平面図 立面図	1/100			1級建築士 第21982号 長村寛次		17
9/2 8:30~ 15:30			基礎・床・小屋・天井伏図	1/100					
9/3 8:30~ 11:00									

(1) 工事名　昭和56年度能登町○○○○宅建設工事

(2) 工事場所　能登郡能登町字○○ ○番34

(3) 工事概要

種別	仕様	規模	備考
1. 木造一部RC造住宅	木造在来建 日本瓦葺	1階 73.286㎡×5棟＝366.430㎡ 2階 72.044㎡×5棟＝360.220㎡	計 726.650㎡
2. 衛生設備工事	〃	別紙 No.1～No.8について	No.9, 10については別紙による
3. 電気設備工事	〃	別紙	
4. 外構工事			
5. 電気設備工事	別紙		
6. 昇降機設置工事			車椅子に対応可能な配慮を含む

(4) 別添図書

1. 現場
2. 本設計書に明記以外の電気照明器具
3. ガレージ(ブロック)エクステリア(ブロック共)
4. スロープ(塩ビ 幅80)

(5) 設計期間　昭和56年2月28日

基準と事仕様

(1) 設計および施工は、この図面および特記仕様書によるほか、石川県木造住宅工事共通仕様書(55年度版)による。
(以下「基準と事共通仕様書」という)

(2) 特記仕様書の解釈について下記による。

1) 図面と数字、○印のあるものを優先する。

2) 特記事項は ◉印のあるものを優先する。

◉印と○印の場合は ○印のあるものを優先する。

◉印と◎印のある場合は ◉印を優先する。

◉印と◎印のみある場合は、共に適用する。

3)

特記仕様書

章	項目	特記事項
1章 共通事項	1 適用規準等	•
	② 図面の優先順位	設計図書相互の間に相違がある場合には、次の順位による。 順位 1 現場説明書、質疑応答書 2 特記仕様書 3 設計図 4 基準と事共通仕様書
	③ 基準仕様変更	1) 基準仕様の解釈相違、疑義が生じた場合は特記によるほか、この図書による。 但し、図書によっても処理困難な場合は監督員と協議を受ける。 2) 特記仕様書による変更箇所の外は 基準仕様書に定める仕様とする。 3) 工事監理者指示の時 図面仕様との差に関して協議できること。
	④ 関係官庁届出の工事	基準と事共通仕様書による。記載されていない関係官庁の手続は、当該関係官庁の指示による。

(6) 竣工期日　昭和56年3月28日

特記仕様書

◎ 石川県木造住宅工事共通仕様書(55年度版)による。

章	項目	特記事項
2章 仮設工事	1 敷地整地等	•
	② 工事用水	揚用的話の処置 • 利用できる (◎屋根 • 雨樋) ◉ 利用できない
	③ 工事用電力	揚用的話の処置 • 利用できる ◉ 利用できない
	④ 工事用道路	工事用道路(敷地内外共)は常時の維持管理を要し、特に冬期は除雪等により通行に支障のないよう処置すること。
	2.2.2 ⑤ 材料置場・作業場	◉ 敷地内空地以上 • 舗装駐車場並場 • 舗装道路部並場
3章 土工事	3.1.2 ① 掘削・土留めの種別	• A種 ◎ B種
	3.1.4 ④ 残土処分	※ 場外の指定された処理に適切に処理する。 ◉ 場内指定の処理に敷均らし • 場内指定の処理に積上 • 図面の範囲内で適当な所に整地すること。
	⑤ 埋戻	
3章 地業工事	3.2.2 ① 試験杭	1) 杭の種類 ◎ 既製コンクリート杭 • 木杭 2) 杭の長さ: m 3) 試験の方法: 載荷試験を実施し適当と認めた長さとする。
	② 杭頭処理	1) 処理: 杭頭余 2m 支持 3m 数量 ※ 1種 NO.1～6, NO.8 • 2種 NO.7 2) 長さ: 3) 断面寸法 (mm) 150φ (外径) 4) 鉄筋断面積 (%) 5) 鉄筋の継手位置 ◎ なし

(1) 設計図書の種類

1) 設計図書は、次のものをいう。

(1) 設計図書(建築工事)
(2) 設計図書(電気設備工事)
(3) 設計図書(衛生設備工事)
(4) 設計図書(昇降機設置工事)

2) 設計図書は、相互に補完するものとし、1つの設計図書に記載されている事項は、契約上全ての設計図書に記載されているものとする。

3) 設計図書に疑義が生じた場合、または設計図書に記載されていない事項については、発注者と受注者とが協議して定める。

4) 設計図書の内容が、官公庁の指導等により変更を必要とする場合は、発注者と受注者とが協議して定める。

(2) 工事監理者

1) 工事監理者は、設計図書に基づいて工事が行われるように、工事監理を行う。

2) 工事監理者は、工事の施工が設計図書に適合しない場合は、その是正または改善を求め、適合しない場合は、工事の中断を求めることができる。

3) 工事監理者は、工事の施工が設計図書に適合しないと認めるときは、その旨を発注者に報告しなければならない。

4) 工事監理者は、工事の施工が設計図書に適合しないと認めるときは、その旨を発注者に報告しなければならない。

(3) 工事の施工

1) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

2) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

3) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

4) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

5) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

6) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

7) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

8) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

9) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

10) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

11) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

12) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

13) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

14) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

15) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

16) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

17) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

18) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

19) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

20) 受注者は、工事の施工に際して、設計図書に定められた品質、精度および安全性を確保するように施工しなければならない。

13章 塗装工事

① クリヤラッカー塗り (CL) — ・A種 ⊙B種 ・

③ ワニス塗り (W) — ※2回 ・

④ 木部保護塗料塗り

種別	施工箇所
⊙クレオソート油	根太・根ガラミ貫・柱 間柱・木ずり
・	
・	

⑩ 金物の塗装

⑪ 塗料記号

指定用語金物は精巧ネール押付塗りとする。

O.P	油性調合ペイント	AE	アクリル樹脂エナメル
SOP	合成樹脂調合ペイント	FP	1液形樹脂エナメル
AEP	合成樹脂エマルジョンペイント 2度塗(アクリル系)	C.L	クリヤラッカー
EP	合成樹脂エマルジョンペイント 2度塗(酢酸ビル系)	W	ワニス
V.P	塩化ビニル樹脂エナメル	0.S	オイルステン

12章 ビニル床シート

12.2.3

材種	色柄	厚さ(mm)	施工箇所
ビニル床シート	※無地	・2.0	
	・柄物	※2.5	
		・	

② 畳敷込

(1) 畳敷合板
敷込 ⊙ナイロン ※ネイ ・

③ 加硫ゴム、ウレタンボード張り合板張りの下地

1) 石膏ボード張り
⊙ビス、釘などによる留付け
⊙接着剤張り工法
・石膏による直張り

2) 合板類の張付け
⊙A種 ・B種

④ プリントゴムボード張 — 材種、寸法仕様 下記による

⑤ 建具金物類取付 — 材種 別記

12.2.8
⑥ 壁紙貼り

施工箇所	品質	材料性能の区別
居室		5年品
北側以外		5年品

12.2.1
⑦ 畳敷

(1) 畳の規格
JIS A 5901 (畳床) JIS A 5902 (畳) および「畳表の日本農林規格」の規格品とする。
脚部畳の承認を受けて規格品同等のものとする。
(ii) 畳床および畳はそれぞれ JIS A 5901 (畳床 断熱材床板以外) および JIS A 5902 (畳) により 2級品以上のものとする。
(iii) 畳表は JAS によるござとし種類(1種表、2種表、3種表)ごとに等級はそれぞれ2等以上とする。畳へりは JIS L 5104 (畳へり)による。
(iv) 畳寸法は標割りに正しく印をおして、縁が表面を標準として表の許容差内よくそろわなければならない。畳床には手掛けを付ける。
(v) 敷込は、壁面畳寄せなどと密着し、隙間、不陸などのないように行なう。

13章 塗装工事

① シンナシング — 種別

種別		施工箇所	目地寸法
・A種			
⊙B種		外部ドアの周囲	9×21
・C種	1号		
	2号		
・D種			

② エマルション塗り — 形式 ※BL-K (ドライブオン)

③ 見本塗 — 形式 床し台と同じパネルで仕上げたもの。

④ 表札 — 材種 プラスチック製 (日本住宅公団指定 室名札)

⑤ 排水目皿 711 721 — 材種 真鍮クロムメッキ製 (排水管または伸のもの)

⑥ 断熱材

外壁面 (浴室、洗面所、便所の外壁を除く) グラスウール 40kg/m³
床下 (和室 押入 廊下の床下のみ) グラスウール 24kg/m³
和室 畳下のみ 発泡ポリエチレンシート 0.3 mm

1 木工事

1) 小屋組について
棟部分に二重梁を入れて、小屋束を立てる。

2) 軒の出寸法について
軒の出寸法は、立面により決定するものとし、図示の寸法より若干の出入がある。
但しこれについての金額の増減はないものとする。

3) 便所・物置の壁について
片側の壁が真壁造になっているが、大壁造とする。

4) 厨房の窓枠・額縁について (NW-62タイプ)
窓の室枠のうち、和室側の枠を取止め、額縁は下側へ柱と壁の見切縁として取付ける。

2 屋根工事

1) 極薄金物の取付作業順序について
極薄金物は、錆止めと O.P 塗装を施した後に、取付けること。

照査 石川県土木部 建築住宅課

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日

工事名 石川県木造公営住宅標準設計図

図面名 特記仕様書 (3)

尺 ・

株式会社 長村建築事務所

石川県木造公営住宅標準設計図

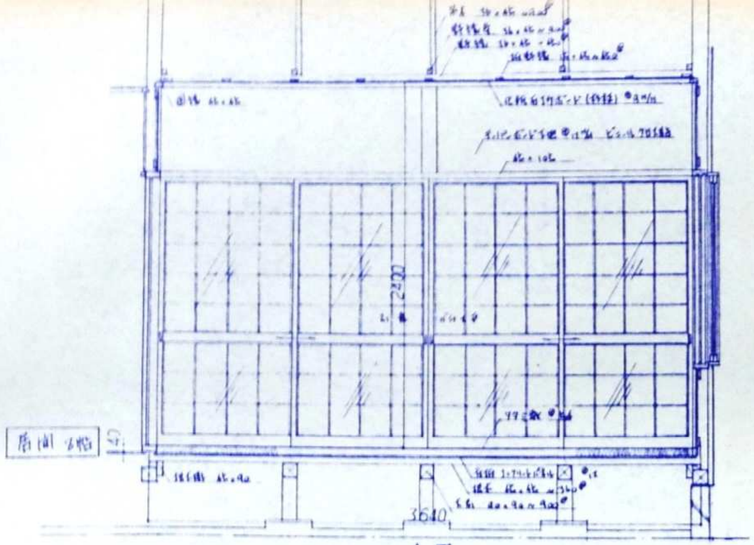
図面目次

	石-79-NW-62	石-79-ES-62	石-79-NW-55	石-79-ES-57
1	(図面名) 表紙	(図面名) 表紙	(図面名) 表紙	(図面名) 表紙
2	(〃) (1) 質疑応答集	(〃) (1) 質疑応答集	(〃) (1) 質疑応答集	(〃) (1) 質疑応答集
3	(〃) (2) 〃	(〃) (2) 〃	(〃) (2) 〃	(〃) (2) 〃
4	(〃) (3) 〃	(〃) (3) 〃	(〃) (3) 〃	(〃) (3) 〃
5	(〃) 室内寸法	(〃) 室内寸法	(〃) 室内寸法	(〃) 室内寸法
9	(〃) 間取図	(〃) 間取図	(〃) 間取図	(〃) 間取図
7	(〃) 間仕切図	(〃) 間仕切図	(〃) 間仕切図	(〃) 間仕切図
8	間仕切変更例	間仕切変更例	間仕切変更例	間仕切変更例
6	断面図	断面図	断面図	断面図
10	矩計図	矩計図	矩計図	矩計図
11	(図面名) 1・2・11 部分詳細	(図面名) 1・2・11 部分詳細	(図面名) 1・2・11 部分詳細	(図面名) 1・2・11 部分詳細
12	断面詳細図	断面詳細図	断面詳細図	断面詳細図
13	断面詳細参考例	断面詳細参考例	断面詳細参考例	断面詳細参考例
14	(1) 間仕切遮音参考	(1) 間仕切遮音参考	(1) 間仕切遮音参考	(1) 間仕切遮音参考
15	(図面名)(2) 〃	(図面名) (2) 〃	(図面名) (2) 〃	(図面名)(2) 〃
16	(〃)(3) (〃)	(〃) (3) (〃)	(3) 〃	(〃)(3) (〃)
17	〃 (4) (〃)	〃 (4)	(4) (図面重複)	〃 (4) (〃)
18	〃 (5)	〃 (5)	(5) 〃	〃 (5)
19	〃 (6)	〃 (6)	(6) 〃	〃 (6)
20	〃 (7)	〃 (7)	(7) 〃	〃 (7)
21	(図面名)(1) メートル法基準図	(図面名) (1) メートル法基準図	(図面名) (1) メートル法基準図	(図面名)(1) メートル法基準図
22	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)
23	(〃) (1) メートル法基準木	(〃) (1) メートル法基準木	(〃) (1) メートル法基準木	(〃) (1) メートル法基準木
24	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)	〃 (2) (〃)
25	(〃) 電気設備工事 特記仕様書	(〃) 電気設備工事 特記仕様書	(〃) 電気設備工事 特記仕様書	(〃) 電気設備工事 特記仕様書
26	図面省 〃	図面省 〃	図面省 〃	図面省 〃
27	(図面名) 給排水衛生設備工事 特記仕様書	(図面名) 給排水衛生設備工事 特記仕様書	給排水衛生設備工事 特記仕様書 (〃)	(図面名) 給排水衛生設備工事 特記仕様書
28	図面省 〃	図面省 〃	図面省 〃	図面省 〃
29	外構工事配置図		(図面名) 省エネルギー基準仕様図	(図面名) 省エネルギー基準仕様図
30	屋外工事リスト	屋外工事リスト	屋外工事リスト (〃)	屋外工事リスト (〃)
31	電気設備工事 配置図	—		
32	給排水衛生設備工事 〃	—		

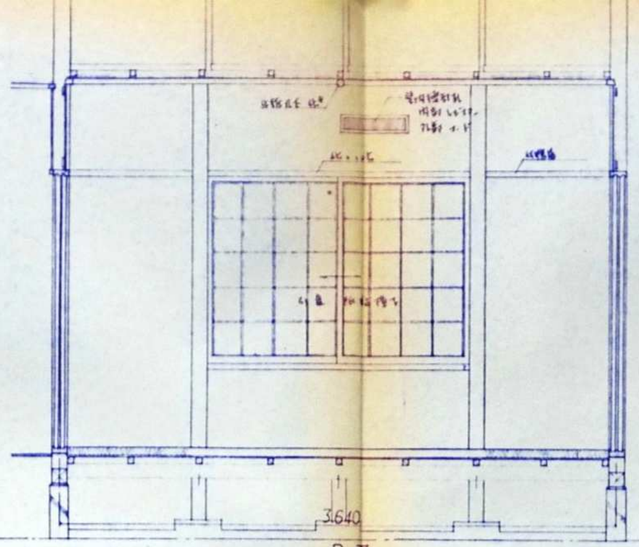
照査　石川県土木部 建築住宅課

課長	参与	課長補佐	係長	担当

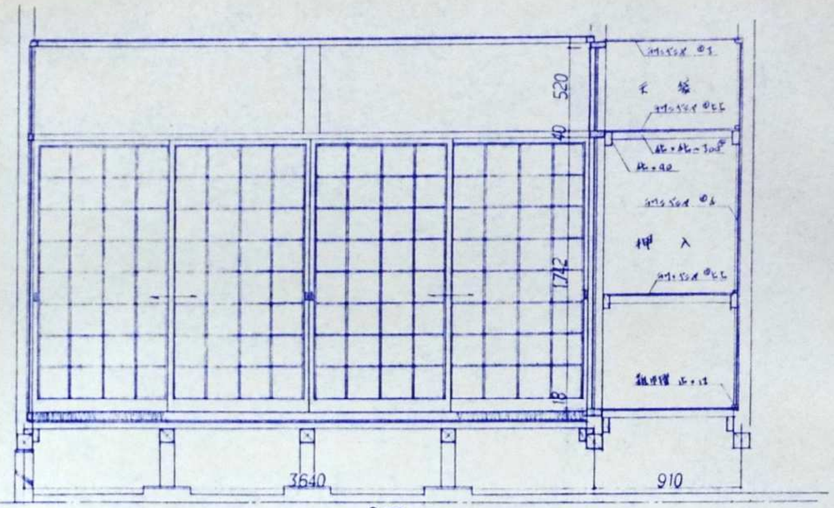
設計年月日	工事名	図面名	縮尺				No.	図面No.
54.6.25 55.9.12	石川県木造公営住宅標準設計図	表紙				株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次		1



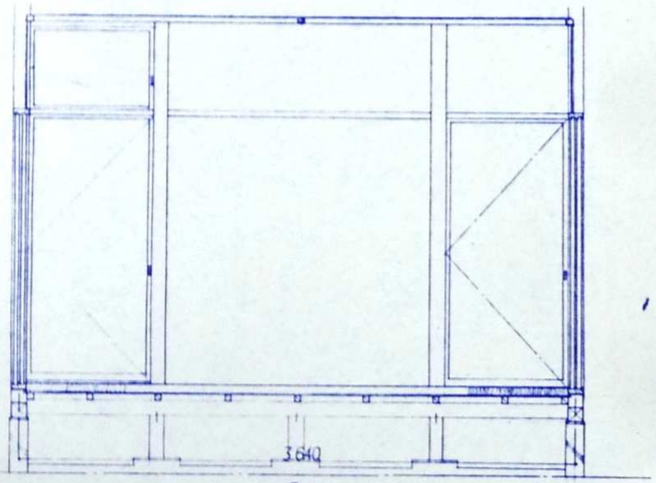
A 面



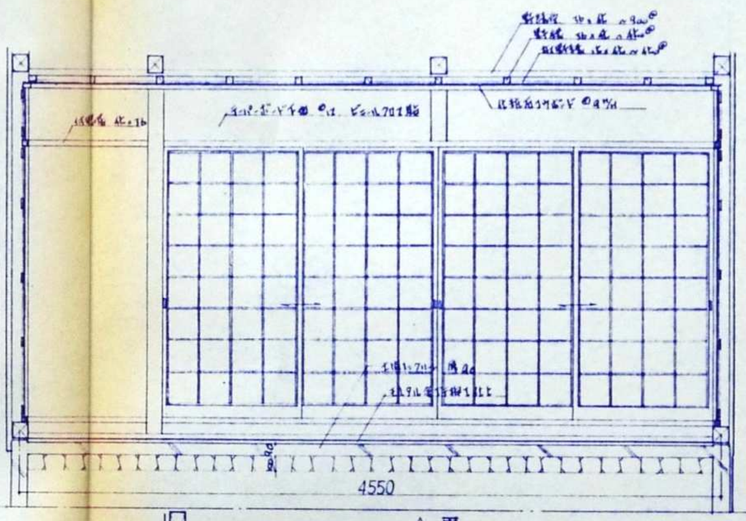
B 面



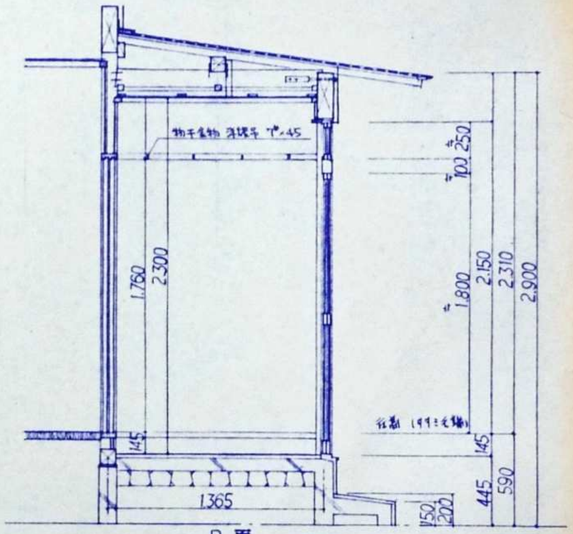
C 面



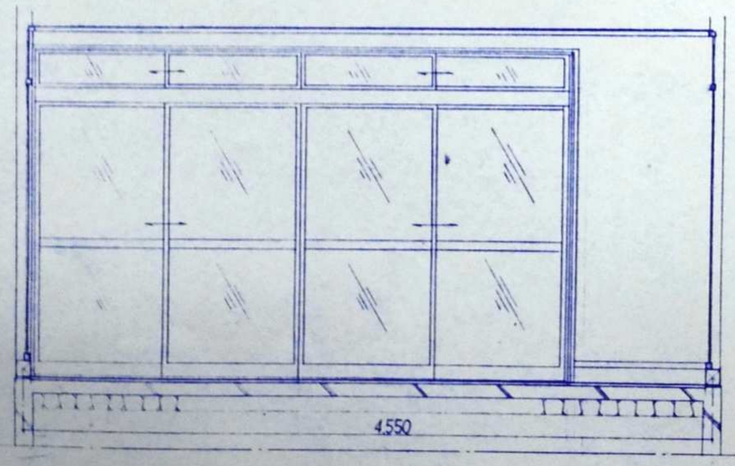
D 面



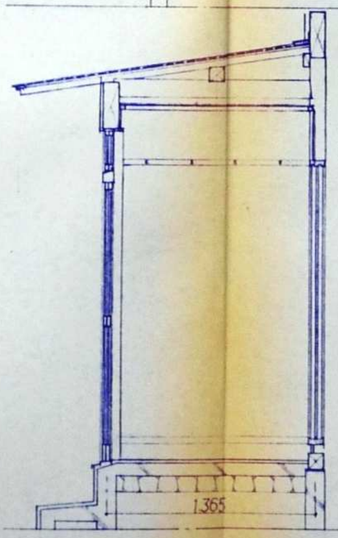
A 面



B 面



C 面



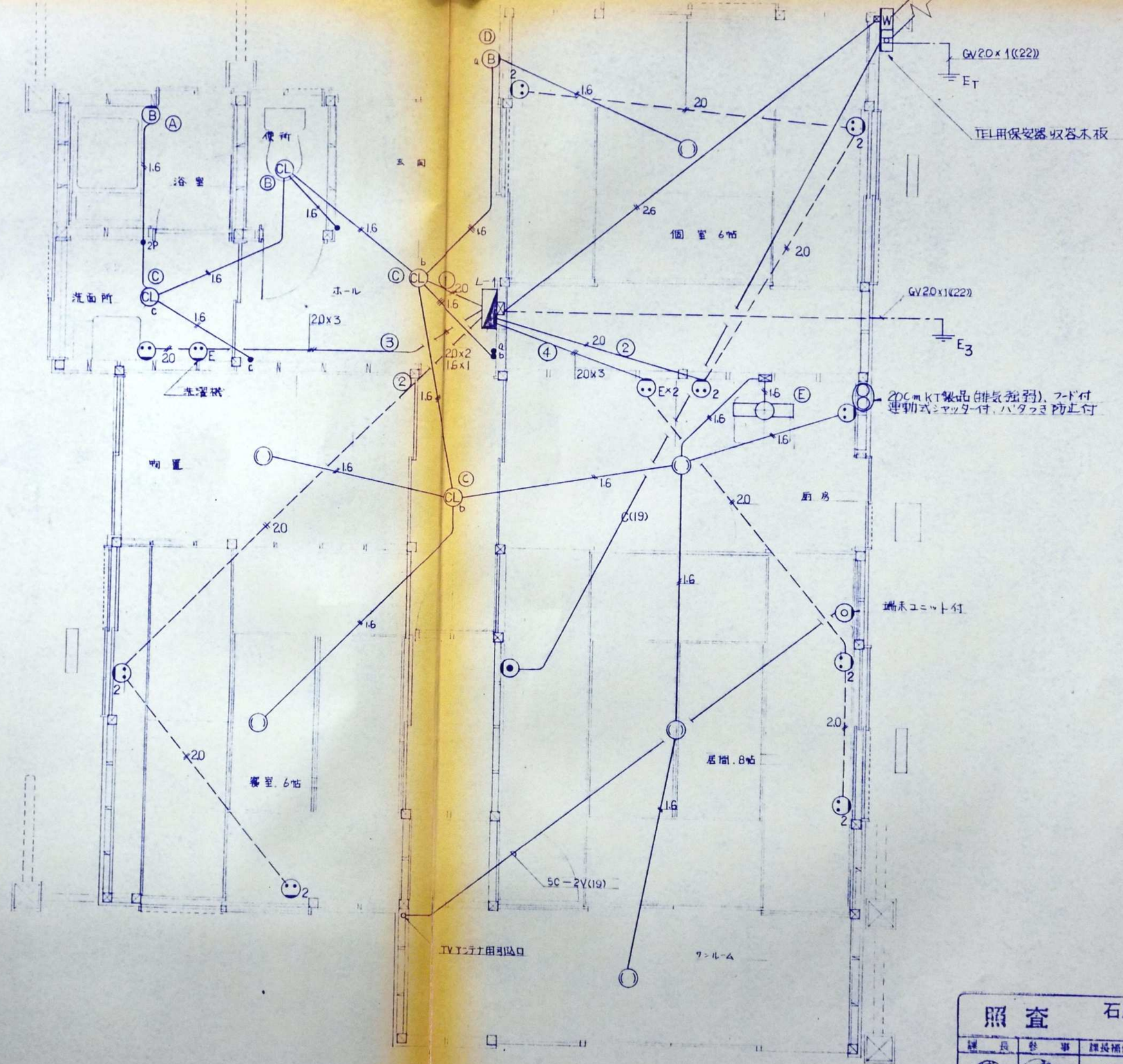
D 面

照査　石川県土木部 建築住宅課　年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
54. 3. 28	石川県木造公営住宅標準設計図 石--79--NW--62	室内展開図 (6) (浴室、ポルーム)	1/30			NW-62	19

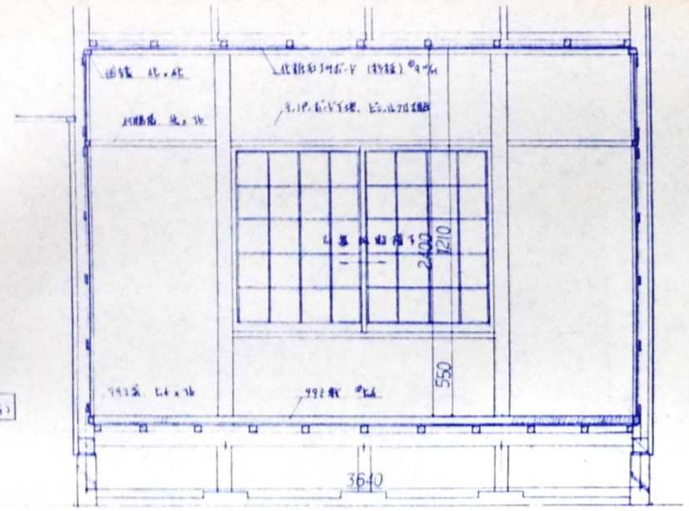
株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次



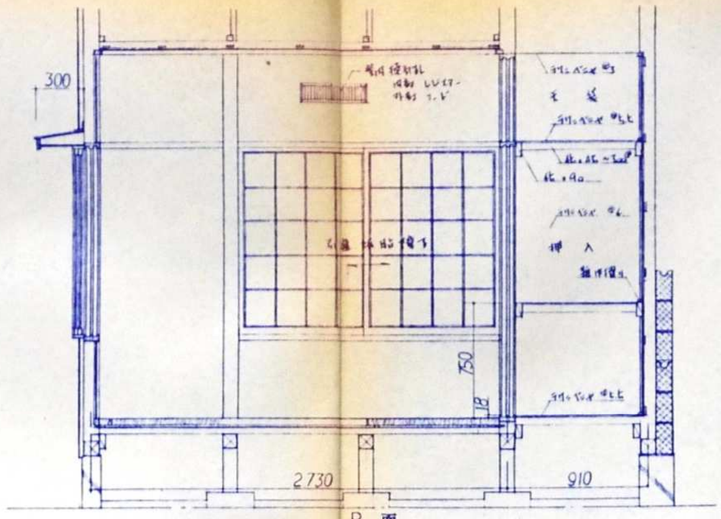
照査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

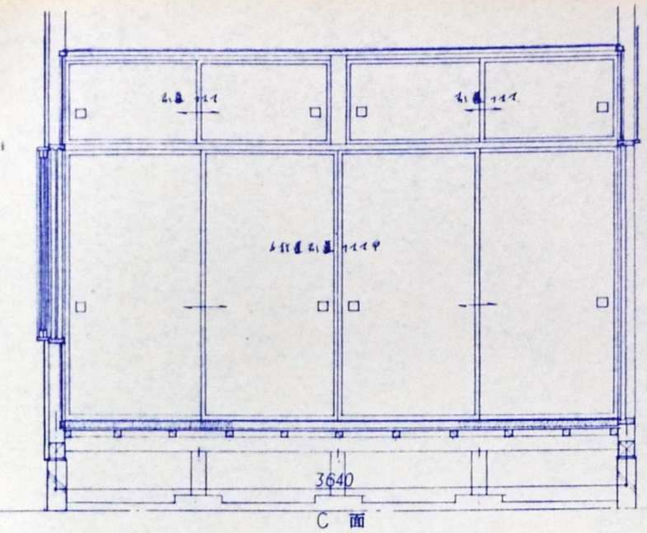
設計年月日	工事名	図面名	縮尺			図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図 石−79−NW−62	電気設備 平面図	1／30		株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	26



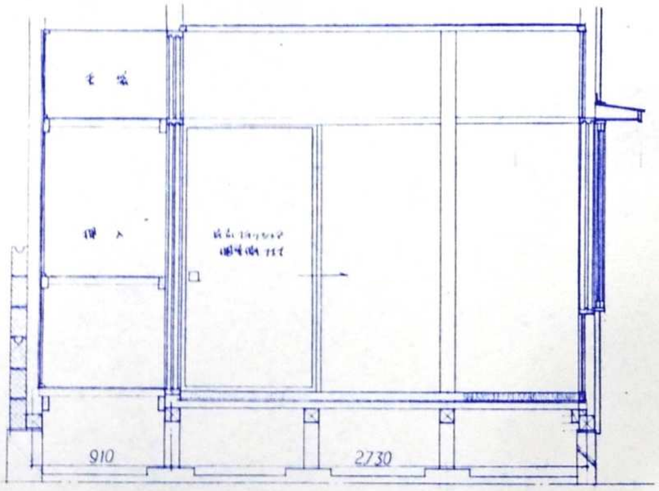
A 面



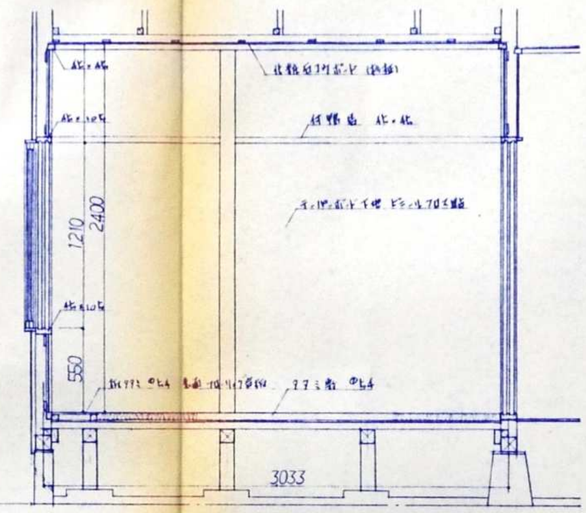
B 面



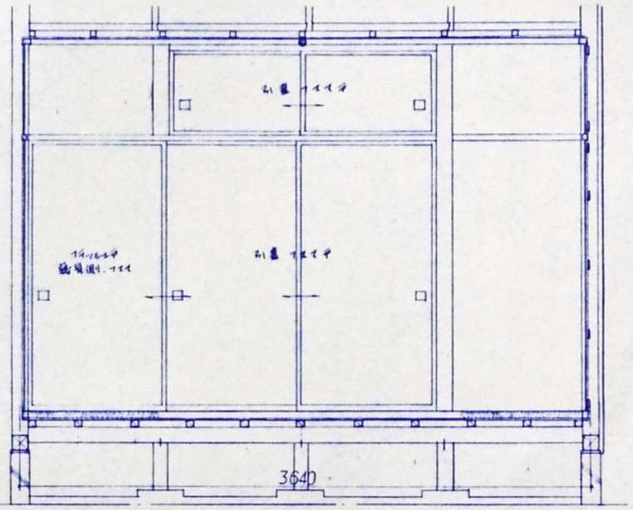
C 面



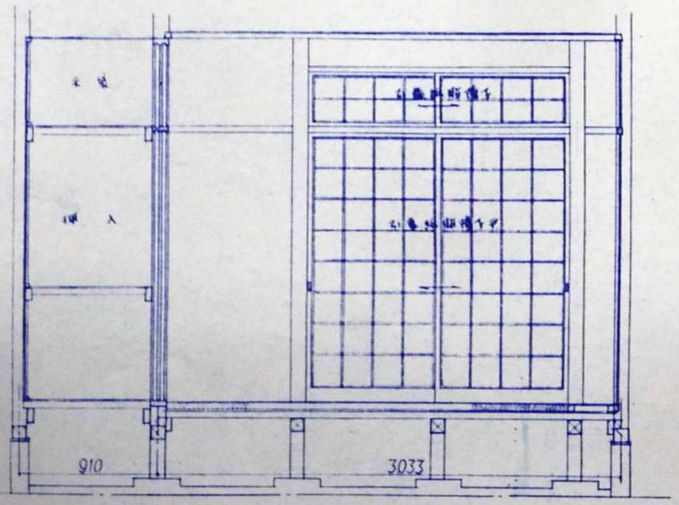
D 面



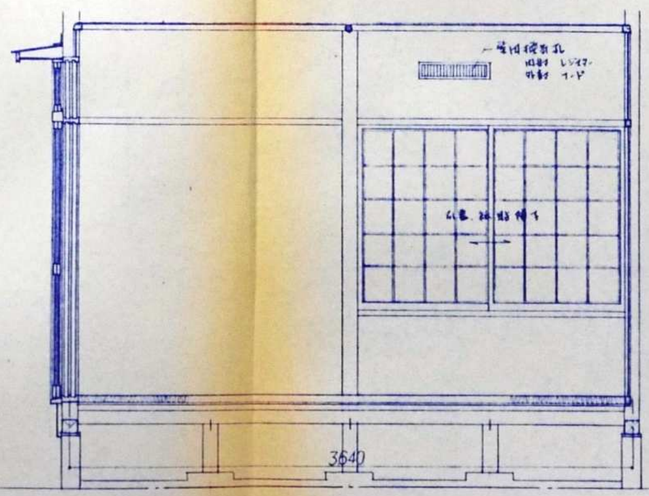
A 面



B 面



C 面



D 面

照 査

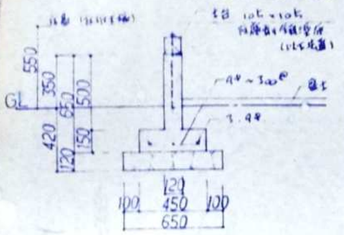
石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

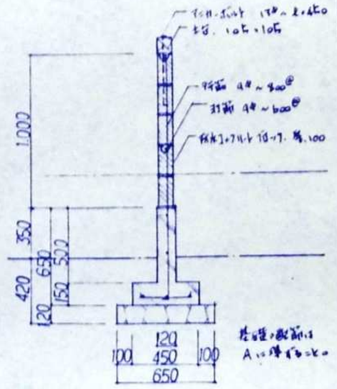
設計年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
54.3.27	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-NW-62	室内展開図 (5) (縁側 浴室)	1/30	1級建築士 第21982号 長村寛次	NW-62	18

基礎詳細図　1/30　(注) 図中 ボルト 13φ とあるのは、呼び径 12㍉ 以上とする。(以下全様)

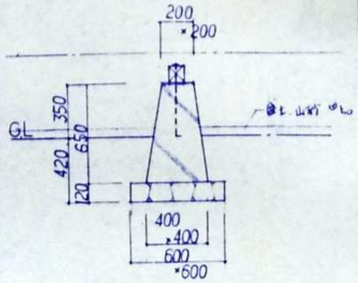
A　布基礎



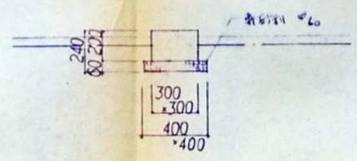
B　Iコブルト ブロック積 布基礎



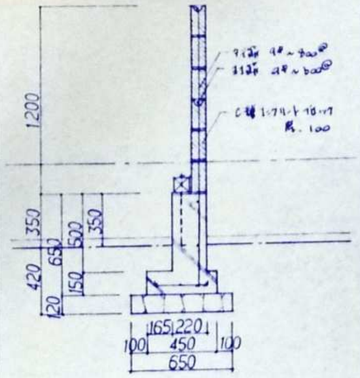
C　独立基礎



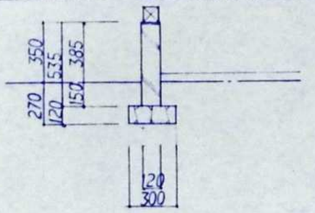
D　束石



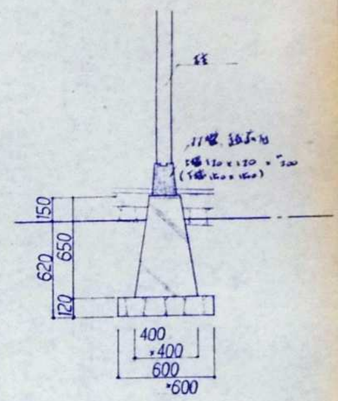
E　鉄骨造ピロティ 布基礎



F　ヒノキ積 布基礎



G　ポーチ部分 独立基礎



H　換気孔



I　換気孔

J

K

L

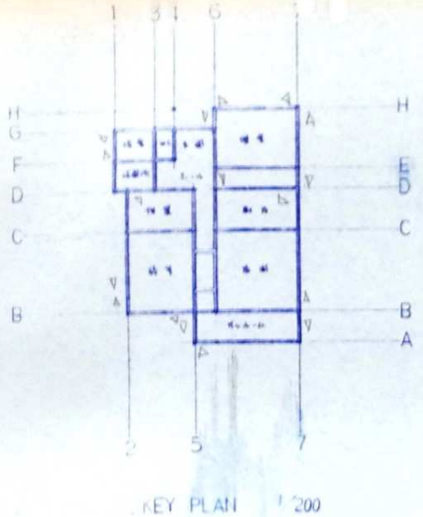
M

N

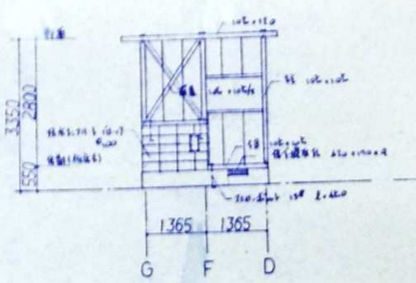
照査　石川県土木部 建築住宅課　年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山	田寺	倉田		神

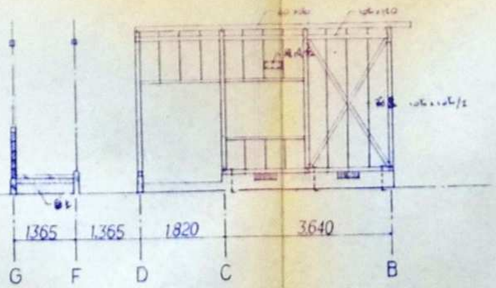
設計年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
54.4.4	石川県木造公営住宅標準設計図	基礎詳細図	1/30	1級建築士 第21982号 長村寛次		11



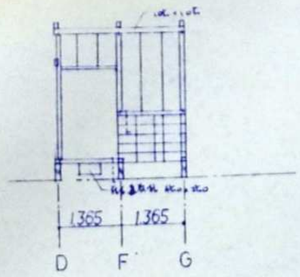
KEY PLAN 1:200



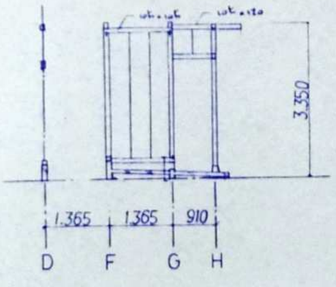
① 通り軸組



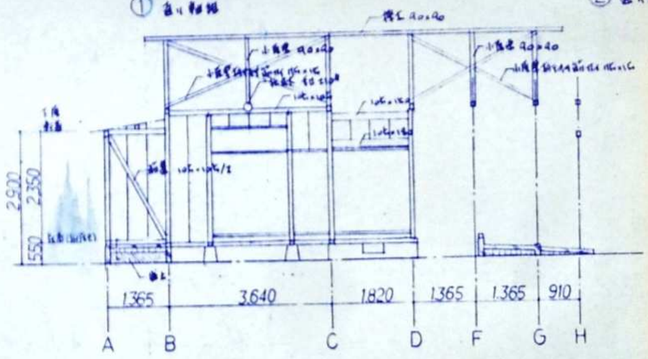
② 通り軸組



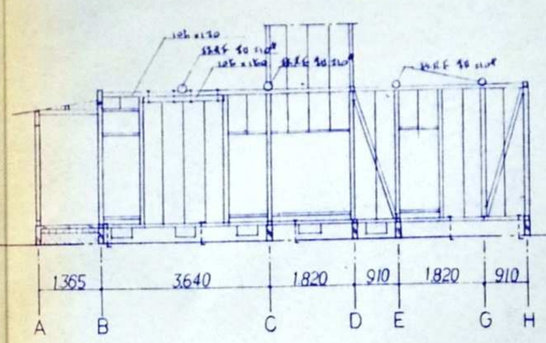
③ 通り軸組



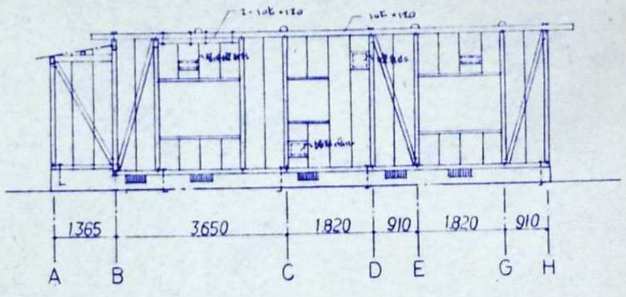
④ 通り軸組



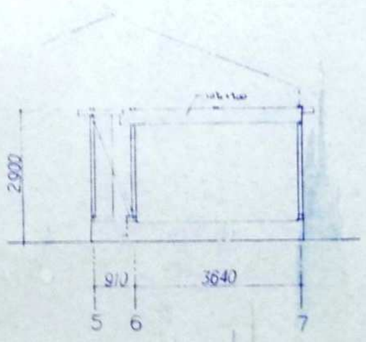
⑤ 通り軸組



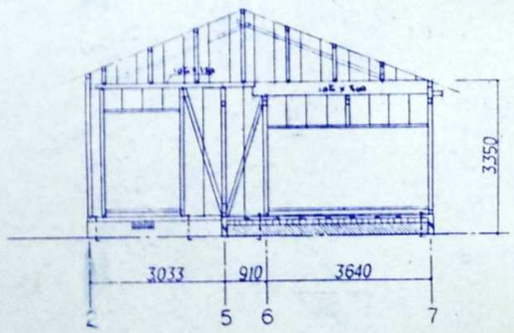
⑥ 通り軸組



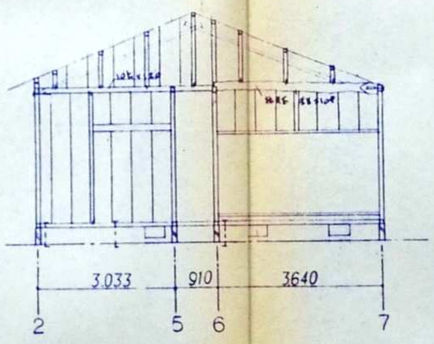
⑦ 通り軸組



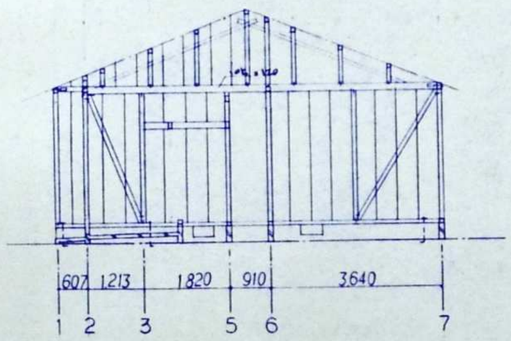
Ⓐ 通り軸組



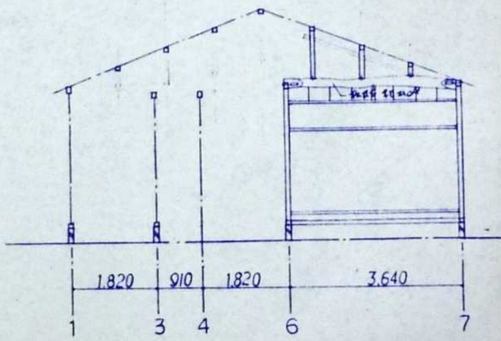
Ⓑ 通り軸組



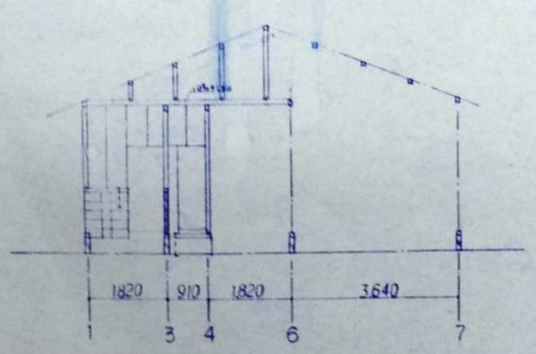
Ⓒ 通り軸組



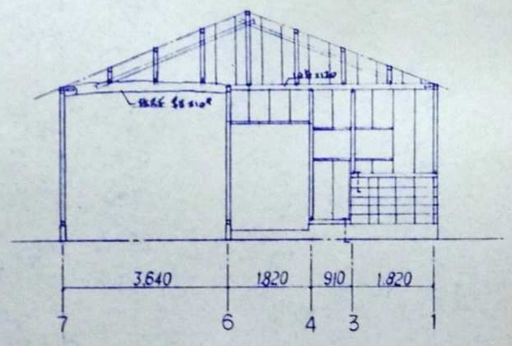
Ⓓ 通り軸組



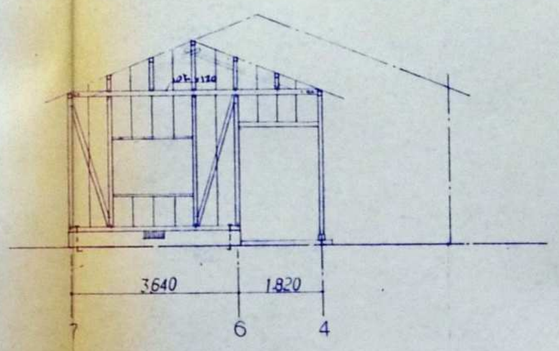
Ⓔ 通り軸組



Ⓕ 通り軸組



Ⓖ 通り軸組



Ⓗ 通り軸組

軸組材料表（一般事項）

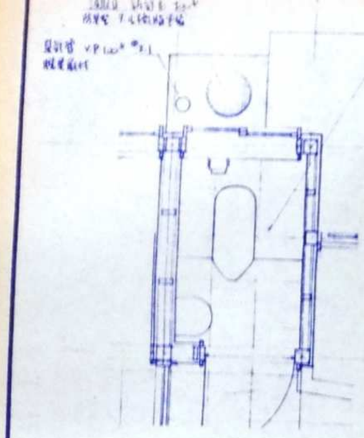
名称	材種	寸法	備考
柱		10cm×10cm	
間柱		10cm×3.6cm	大壁
〃		4cm×3.6cm	真壁
筋かい		10cm×10cm/2	

照査

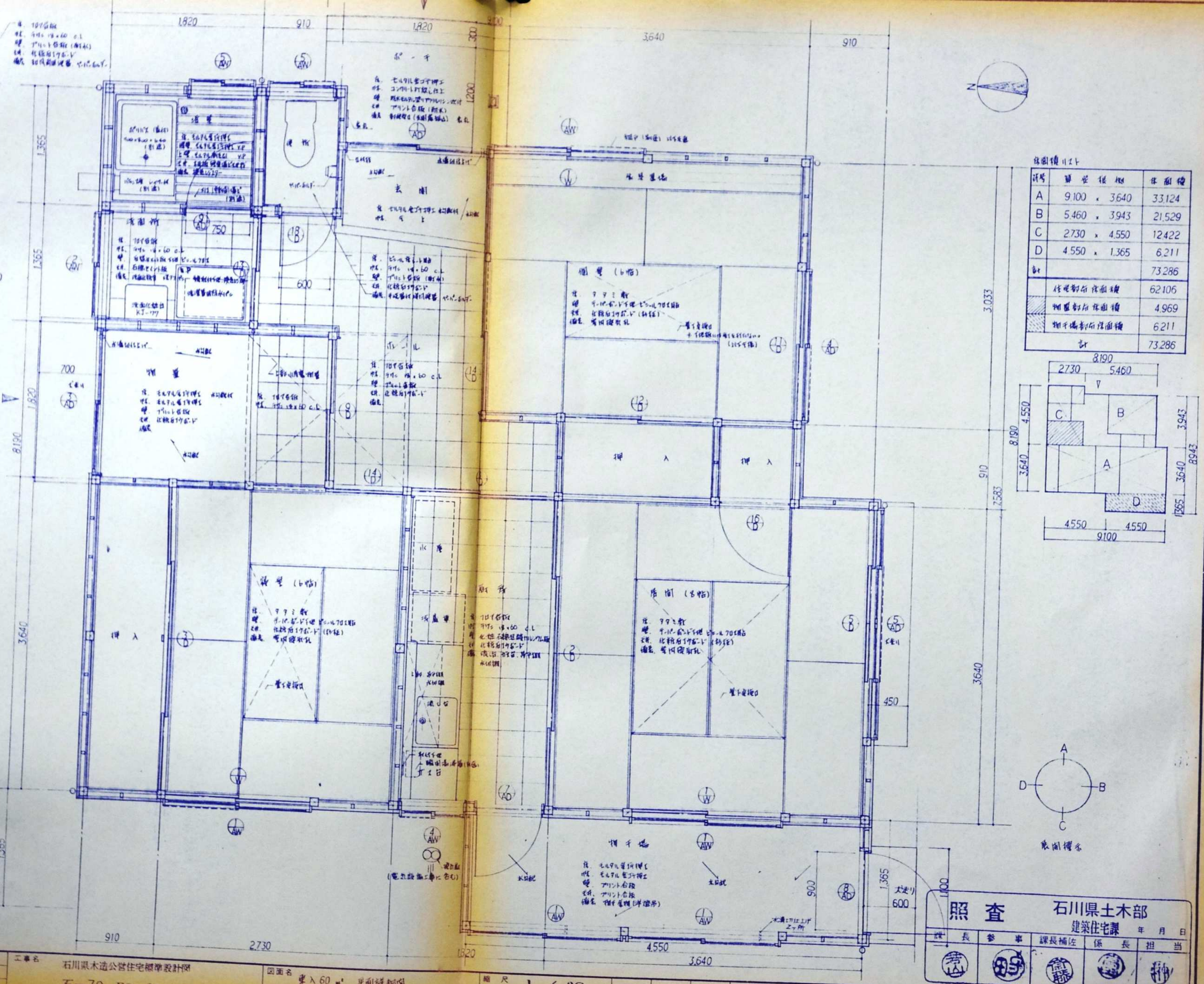
石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当
岩山		齋藤		

設計年月日	54.4.6	工事名	石川県木造公営住宅図面設計図 石一79—NW—62	図面名	軸組図	縮尺	1/100	株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	No NW-62	図面No 12



図面構成 平面詳細図 1/30



床面積リスト

記号	算 定 根 拠	床面積
A	9.100 × 3.640	33.124
B	5.460 × 3.943	21.529
C	2.730 × 4.550	12.422
D	4.550 × 1.365	6.211
計		73.286
	住宅部分 床面積	62.106
	物置部分 床面積	4.969
	物干場部分 床面積	6.211
	計	73.286

展開標示

照 査

課長	参事	課長補佐	係長	担当
		高藤		

石川県土木部
建築住宅課
年 月 日

計画年月日	54. 3. 7					

工事名 石川県木造公営住宅標準設計図
石—79—ES—62

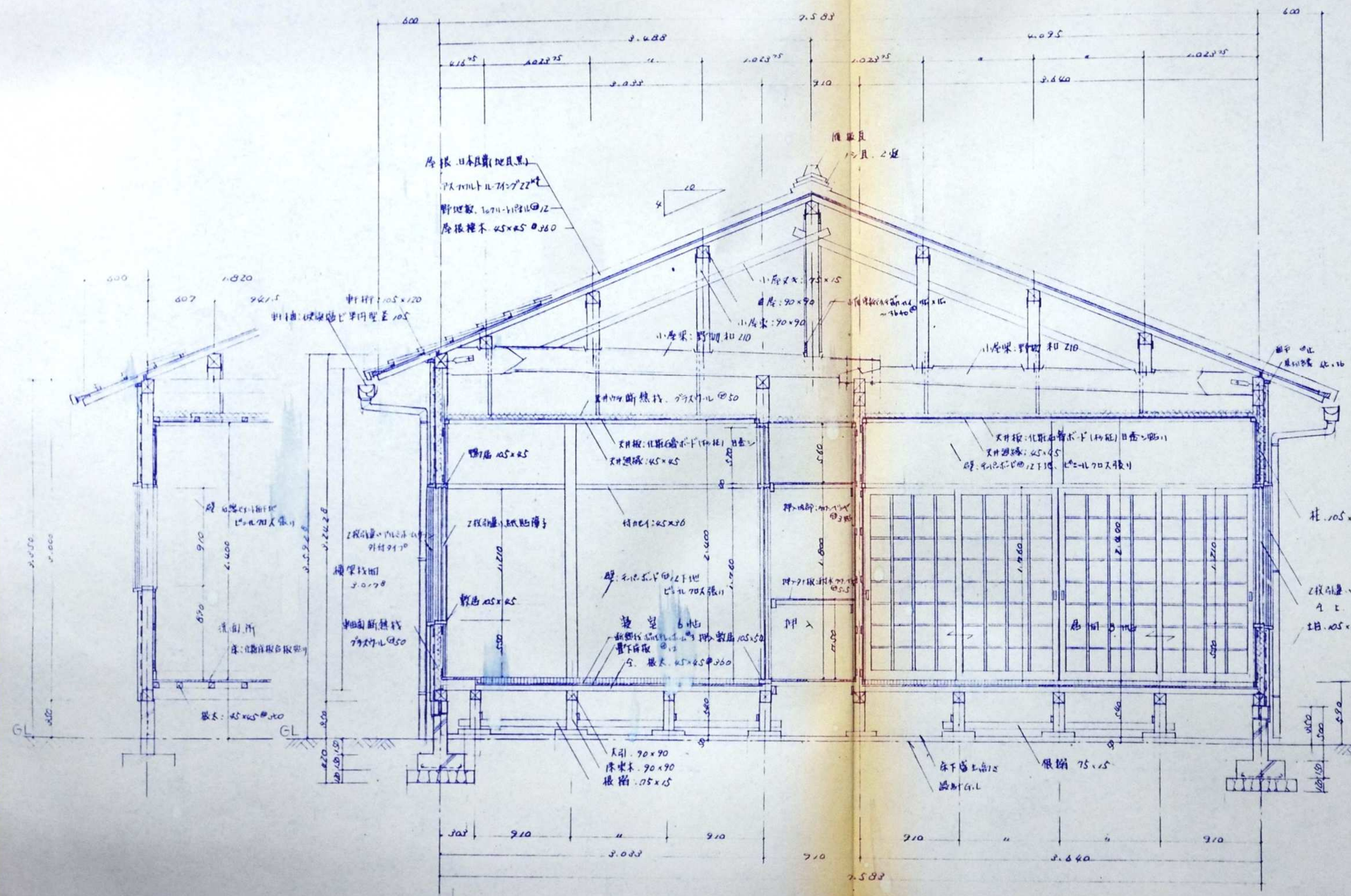
図面名 寝入 60 ㎡ 平面詳細図

縮尺 1 / 30

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

No. ES-62

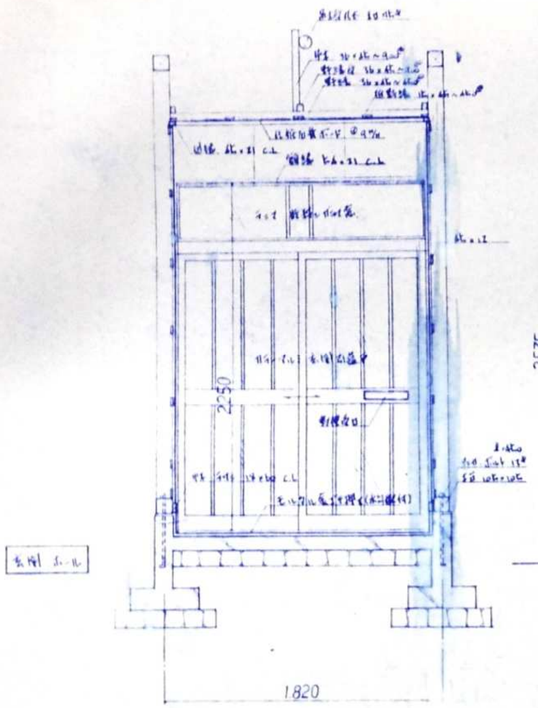
図面No. 8



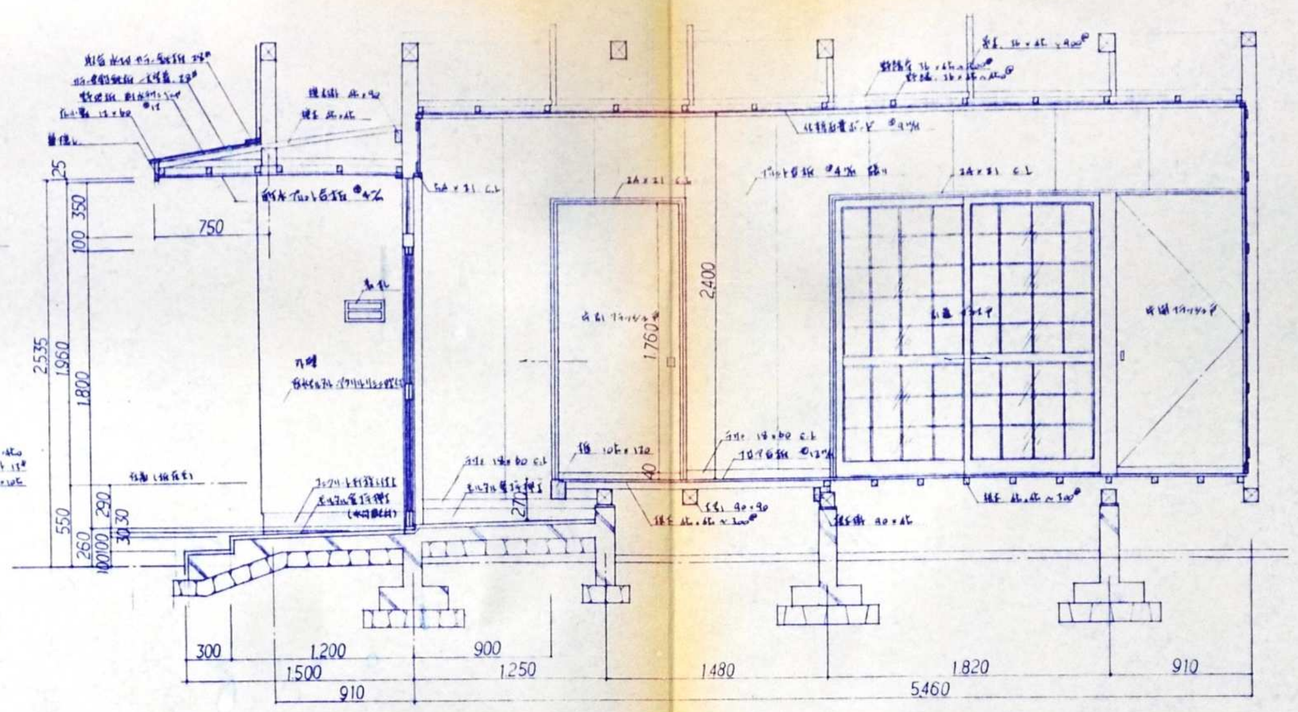
照査　石川県土木部 建築住宅課　年　月　日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

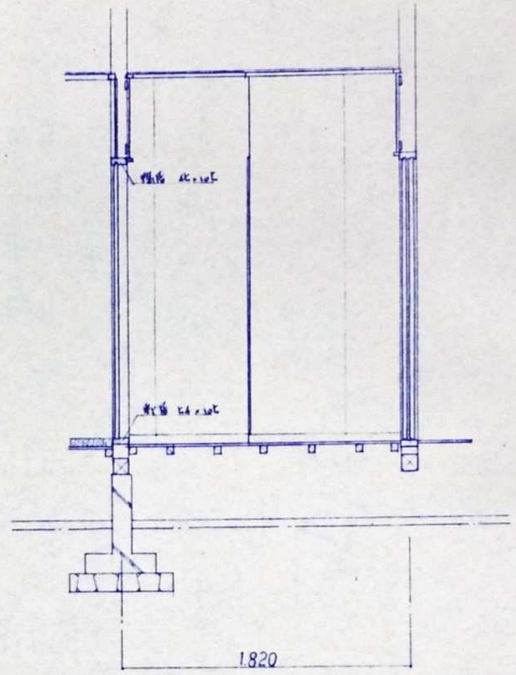
設計年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図 S—79—NW—62	北入 60㎡ 標準矩計図	1／30	1級建築士 第21982号 長村寛次	NW-62	13



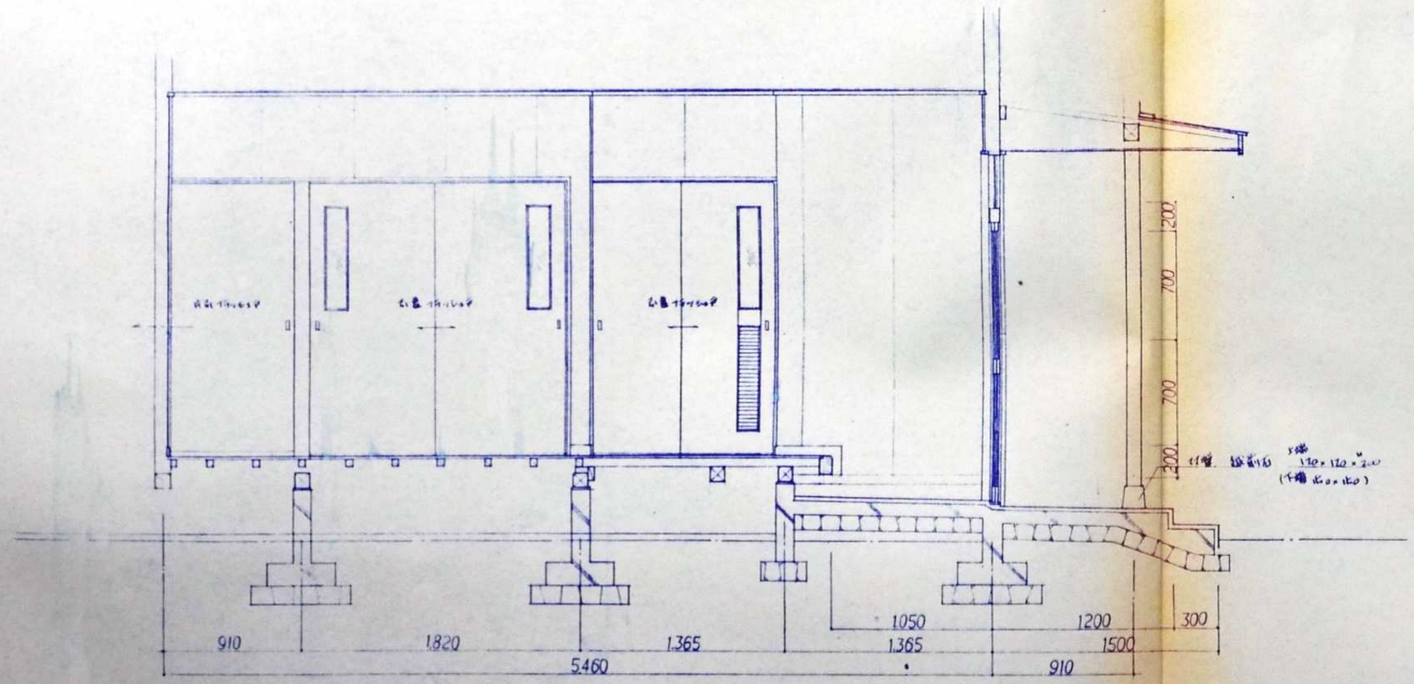
A 面



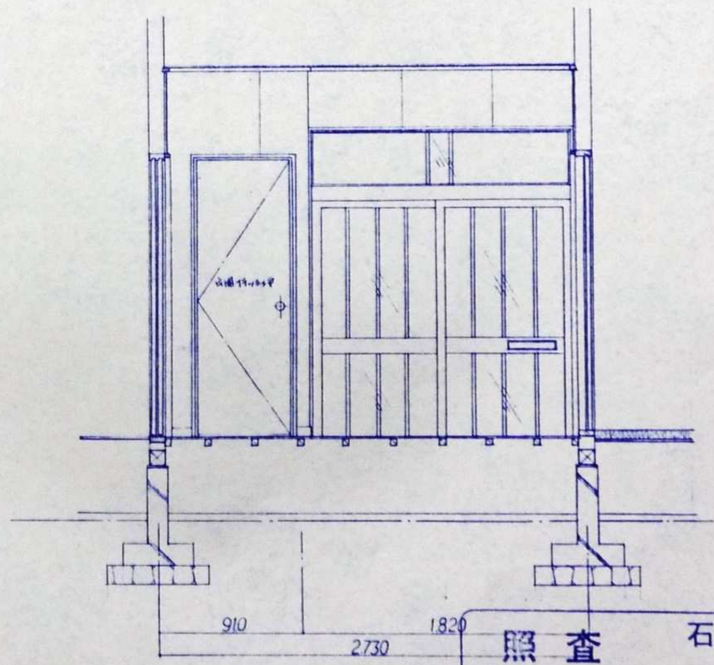
B 面



C 面



D 面



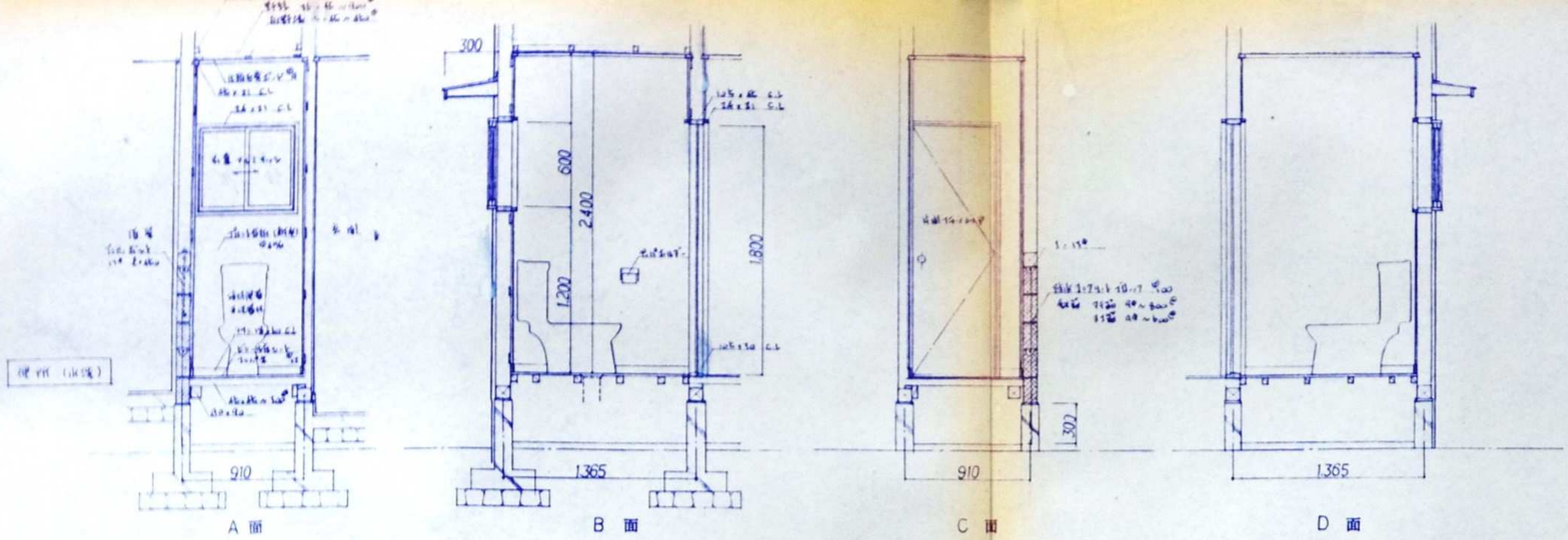
A 面

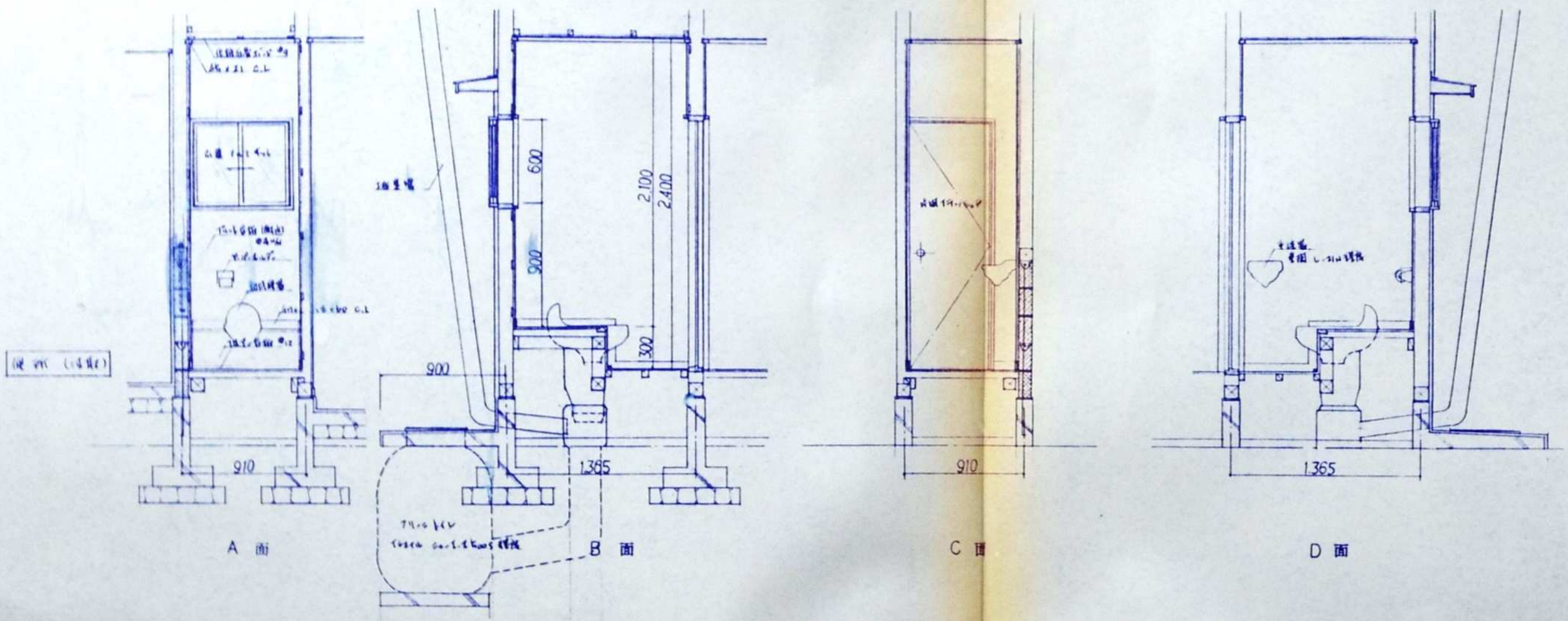
照査

石川県土木部
建築住宅課　年　月　日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	54.4.12	工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
		石川県木造公営住宅標準設計図 石－79－NW－62	室内展開図 (1) (玄関、ホール)	1/30		株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	NW-62	14



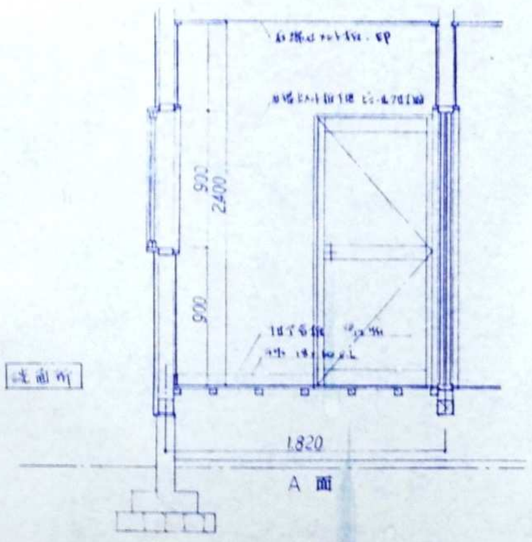


照 査

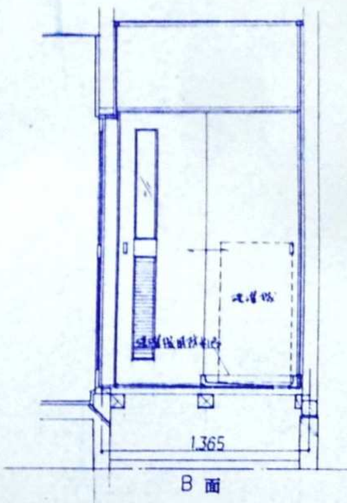
石川県土木部
建築住宅課 年 月 日

課 長	参 事	課長補佐	係 長	担 当

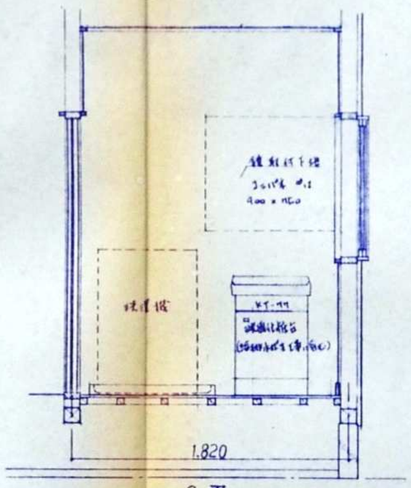
設計年月日	54.4.13	工事名	石川県木造公営住宅標準設計図	図面名	室内展開図 (2)	縮 尺	1/30	株式会社 長村建築事務所	No	図面No. 15
								1級建築士 第21982号 長村寛次		



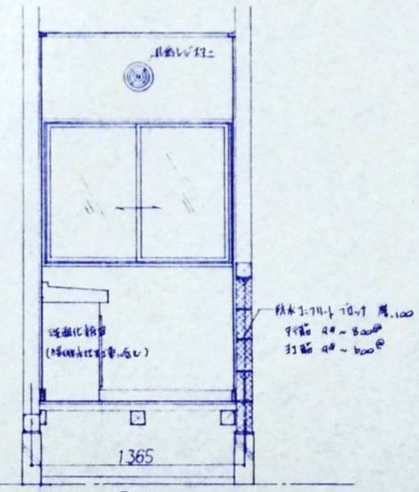
A 面



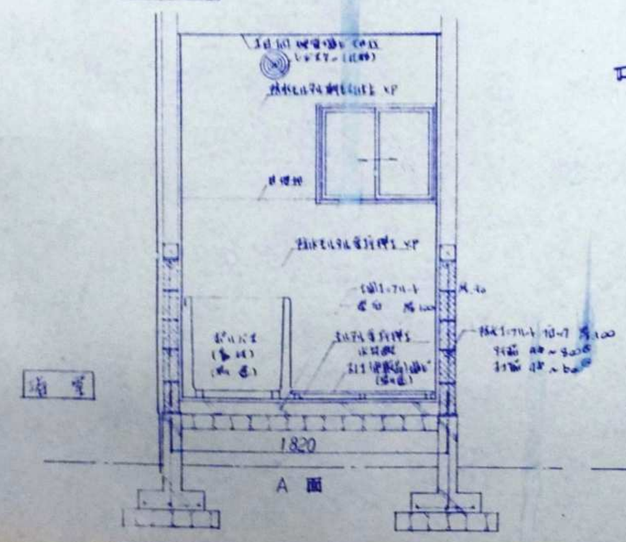
B 面



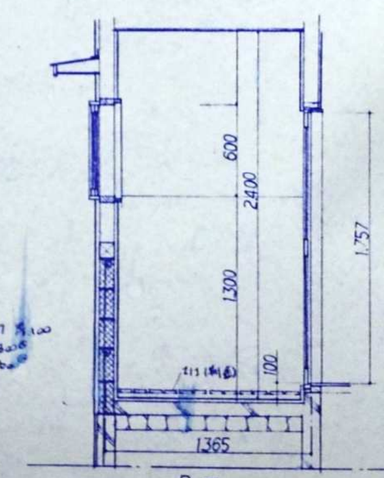
C 面



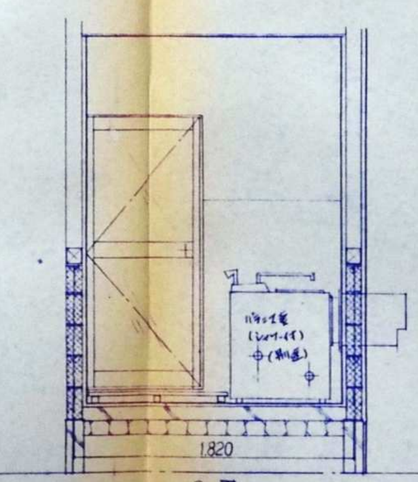
D 面



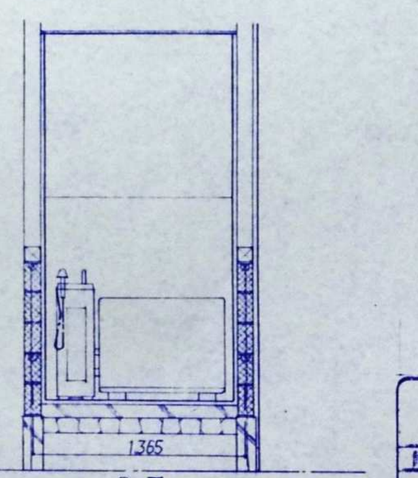
A 面



B 面



C 面



D 面

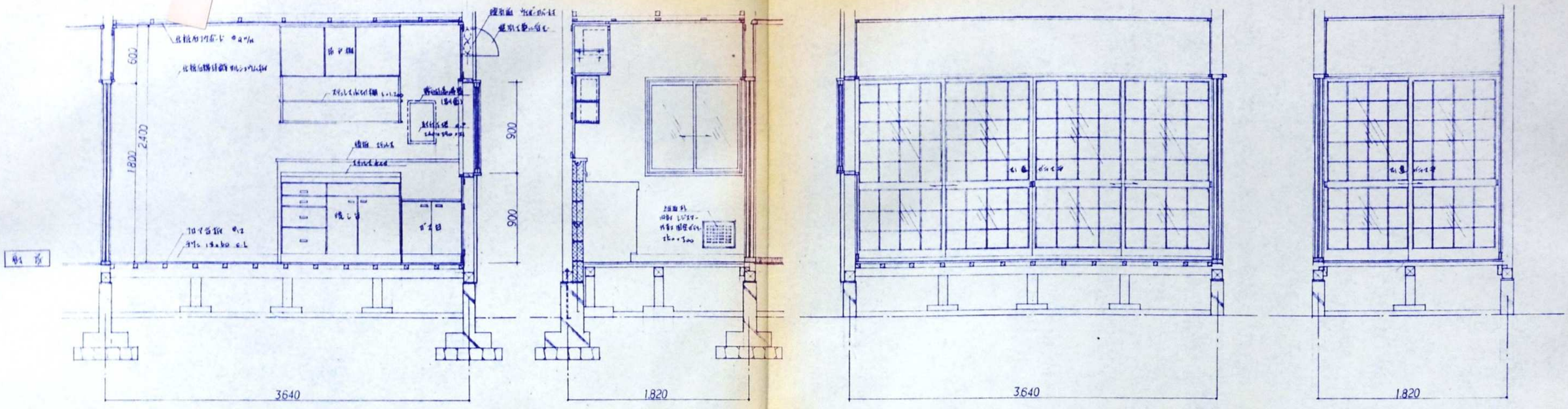
照査	石川県土木部 建築住宅課	年 月 日			
課長	参事	課長補佐	係長	担当	

設計年月日	54. 3. 23	工事名	石川県木造公営住宅標準設計図	図面名	室内展開図 (B) (浴室, 洗面)	縮尺	1/30

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

No.

図面No. 16



A 面　　B 面　　C 面　　D 面

照 査　石川県土木部 建築住宅課　年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	54. 3. 26	工事名	石川県木[illegible]公営住宅標準設計図	図面名	室内展開図 (4) (前 期)	縮尺	1/30	株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	No.	図面No. 17

給排水・衛生設備工事　特記仕様書

1. 衛生器具及び付属金具

(a) 衛生陶器は、JIS S 5207（衛生陶器）によるJISマーク表示品とする。ただしJISに規定されていない形状及び寸法の衛生陶器は、外観品質などが上記JISに準じたものとする。

(b) 付属金具は、JIS A 5514（衛生陶器付属金具）によるものとし、見えがかり部はクロームメッキ仕上げとする。

(c) 器具の取付けは、下記による。

(1) 壁付け器具をコンクリート又はブロック壁に取付ける場合は、原則としてエキスパンションボルトを使用し、木れんがによる場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に堅固に埋込む。

(2) 木ずり壁、ラス壁又は合板張り壁に取付ける場合は、あらかじめ間柱と同寸法の堅木当て木を取付ける。

(3) 陶器の一部をコンクリートに埋込む場合は、コンクリート又はモルタルと陶器との接触部に厚さ3mm以上のアスファルト被覆を施す。ただし、ストール小便器などの陶器の底部接触面は砂詰めとする。

2. 給水設備

本工事は、水道事業者の諸規程の適用を受ける場合はこれによる。

(a) 給水設備に用いる管はすべてビニールライニング鋼管（黒ねじ黒）及び継手を使用する。

管の接合は原則としてねじ接合とし、ねじ部の端面及び継手のねじの巣の部分にはエポキシ樹脂又は合成ゴム系の防錆剤を充分塗布する。

なお、防錆剤は、衛生上無害であり、かつ水質に悪影響を与えないものとする。

(b) 管は、結露防止、防火のために保温材で被覆する。保温材は、JIS A 9505によるガラス綿保温筒（厚さ15mm～20mm）を巻き、布などでおおい、銅線で固く巻いて止め、露出部はビニールテープ巻とし、クリップフックなどで適当な間隔に建物に固定して管の振動を防ぐ。また管材の土中埋設部、ブロック及びコンクリート埋設部は防食テープ巻き仕上げとする。

3. 排水設備

(a) 管は、硬質塩化ビニール管（一般管VP）JIS K 6741を使用する。ただし大便器との接続は排水鉛管を使用する。排水鉛管のブロック及びコンクリート埋設部は防食テープ巻き仕上げとする。

(b) 管は充分勾配をとり屋外排水桝に接続する。

(c) 排水桝は製業又は砂利地業を施工のうえ、市販品、コンクリート既製品、排水桝を据えつける。ふたは鋳鉄製防臭蓋（MHBタイプ）を用い、汚水桝の場合は底部インバート仕上げとする。

4. ガス工事

プロパンガス設備

本工事は、高圧ガス取締法、消防法「石川県家庭燃料用プロパン取扱基準要綱」火災予防条例による燃焼器具設置基準等に従って施工すること。

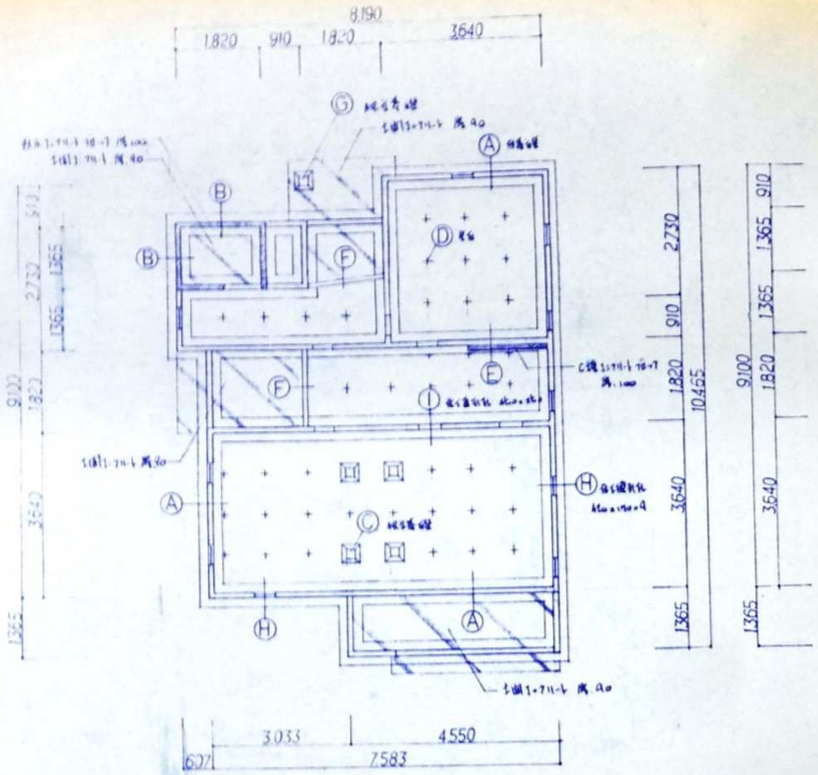
管はJIS規格配管用炭素鋼々管による白ガス管とし、土中埋設部は防食テープ巻きとし、露出部は、油性ペイント塗とする。

5. その他

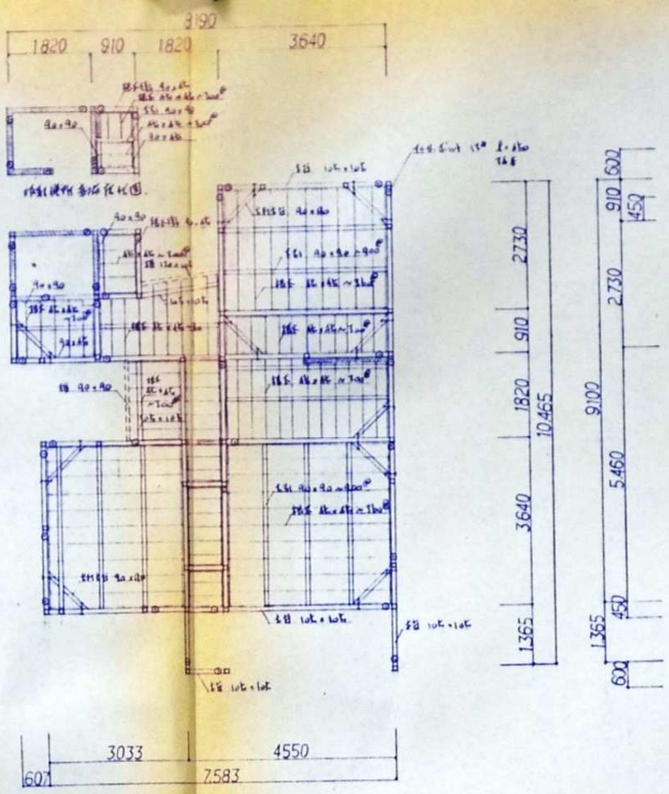
資材		
	鋼管	日本鋼管、住友金属工業、富士製鋼管、川崎製鉄、新日鉄、
	給水用鋼管継手	日本金属工業、日本鋼管継手、東亜高級継手バルブ製造、理研ピストンリング工業、帝国可鍛鋳鉄、
	ビニールライニング鋼管	川崎製鉄、新日本製鉄、住友金属工業、積水化学工業、日本鋼管
	ライニング鋼管継手	住友金属工業、中越可鍛、日本鋼管継手、日立金属、理研ピストンリング工業、
	ビニール管及び継手	積水化学工業、久保田鉄工、三菱樹脂、小松化成、ハマ化成、東亜樹脂、
	鉛管及び継手	日本鉛管製造所、芳沢鉛工業、大同鉛化工、大日金属工業、
	水栓及び附属金具類	東陶機器、祖父江工業、高穂工場、北沢製作所、小島鉄工所、伊奈、製陶、栗野工業、
	衛生陶器	東陶機器、伊奈製陶、アサヒ衛陶、日本硬質陶器、
	各種トラップ	大西鋳工所、長谷川鋳工所、大阪トレタジ工業、関西鋳工所、
	鋳鉄マンホール桝蓋類	大西鋳工所、南濃鋳工所、小島鉄工所、長谷川鋳工所、
	洗面化粧台	東陶機器、伊奈製陶、ヤンマー産業、

照査	石川県土木部 建築住宅課	年 月 日
課長	参事	課長補佐	係長	担当

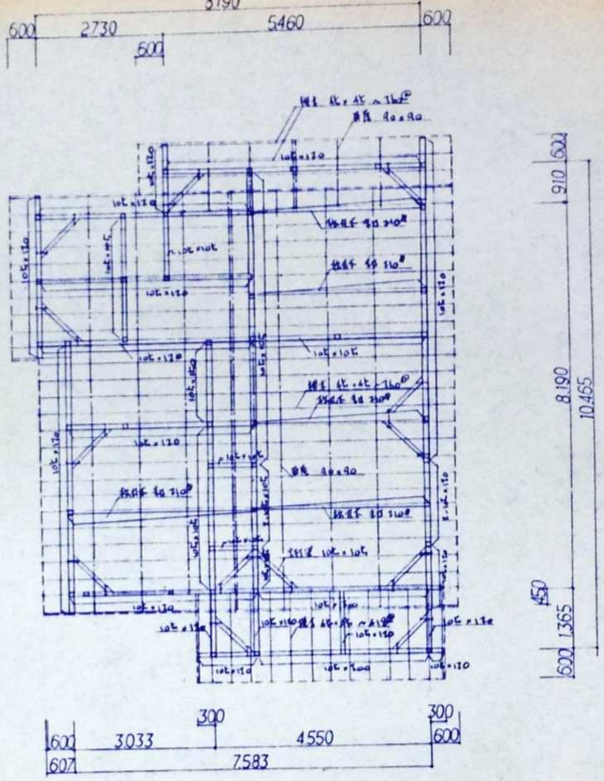
設計年月日	工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図	特記仕様書			株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次		27



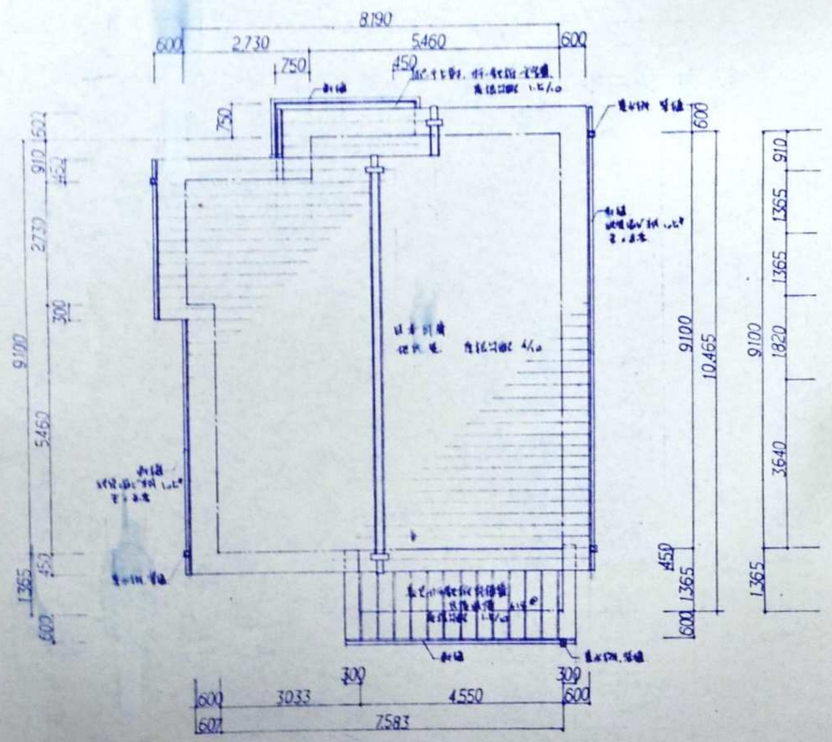
基礎伏図



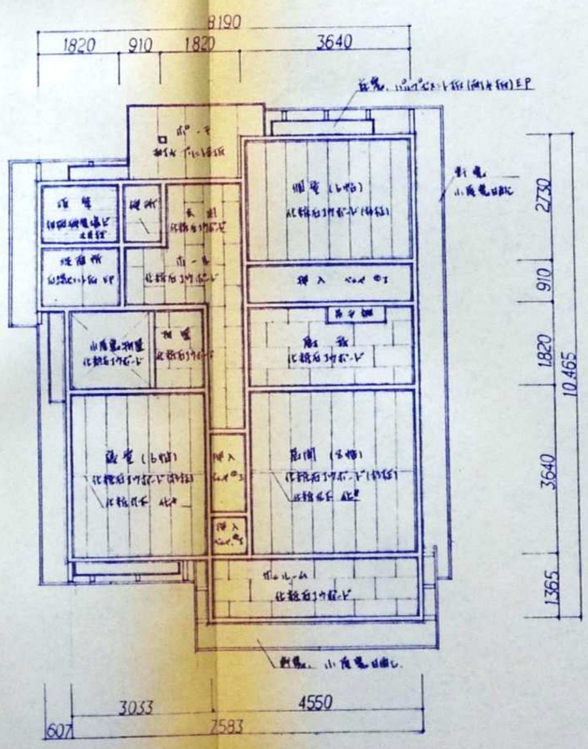
床伏図



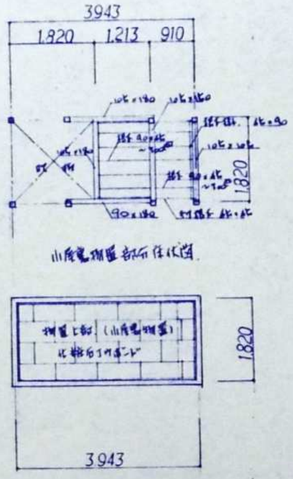
小屋伏図



屋根伏図



天井伏図



小屋組伏図

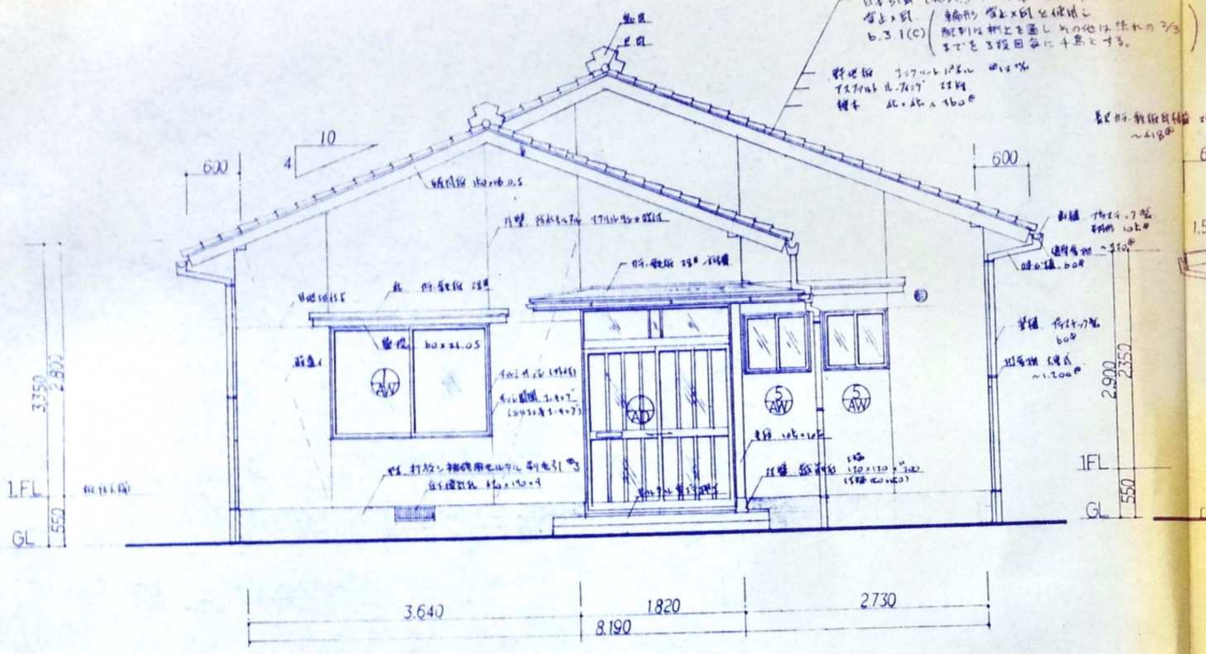
小屋組平面図

建具表（一般事項）

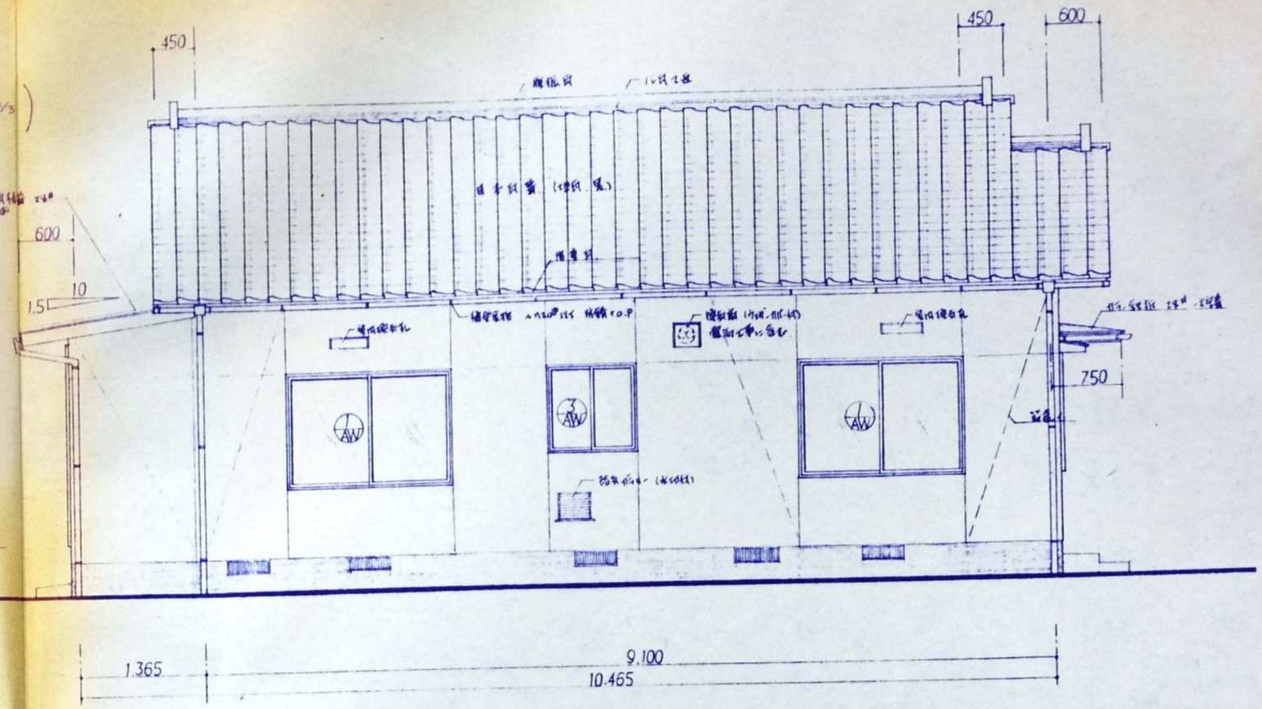
記号	名称	寸法	備考
玄関	両開戸	10ヒ × 10ヒ	防犯ガラス 枠納まり要確認
玄引	〃	9ヒ × 9ヒ	
台所	〃	9ヒ × 9ヒ	
浴室戸	〃	8ヒ × 8ヒ	
玄関土間	〃	8ヒ × 9ヒ	
便所	〃	8ヒ × 8ヒ	網戸 1.0m²
〃	〃	〃	雪見障子 1.8m²
雪見障子		ユニットバス用 ¹/₁₂	

小屋組材料（一般事項）

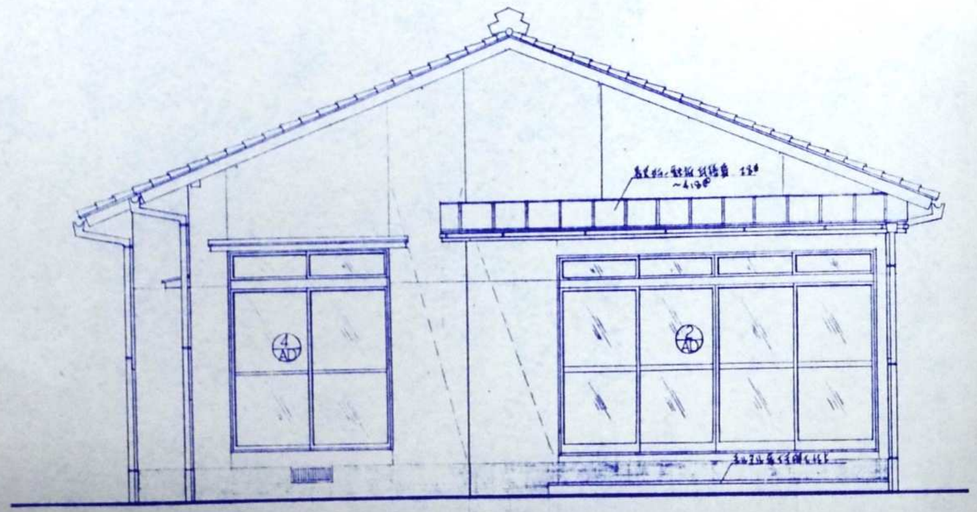
名称	材種	寸法	備考
棟木	桧	12ヒ × 12ヒ	
母屋	〃	12ヒ × 12ヒ	
小屋束	〃	12ヒ × 12ヒ	
妻小屋束	〃	12ヒ × 12ヒ	
隅木	〃	12ヒ × 12ヒ	
垂木	〃	9ヒ × 9ヒ	
鼻隠し	〃	9ヒ × 9ヒ	
破風	〃	9ヒ × 9ヒ	
軒桁	〃	12ヒ × 12ヒ	
敷桁	〃	12ヒ × 12ヒ	
妻梁	〃	12ヒ × 15ヒ	
梁	〃	12ヒ × 15ヒ	
火打梁	〃	12ヒ × 12ヒ	
方杖	〃	12ヒ × 12ヒ	
合掌	〃	12ヒ × 12ヒ	
陸梁	〃	12ヒ × 15ヒ	
振れ止め	〃	9ヒ × 9ヒ	
筋違	〃	9ヒ × 9ヒ	
母屋受	〃	9ヒ × 9ヒ	
棟束	〃	9ヒ × 9ヒ	
棟木受	〃	9ヒ × 9ヒ	
棟木受束	〃	9ヒ × 9ヒ	
棟木受梁	〃	9ヒ × 9ヒ	
棟木受梁束



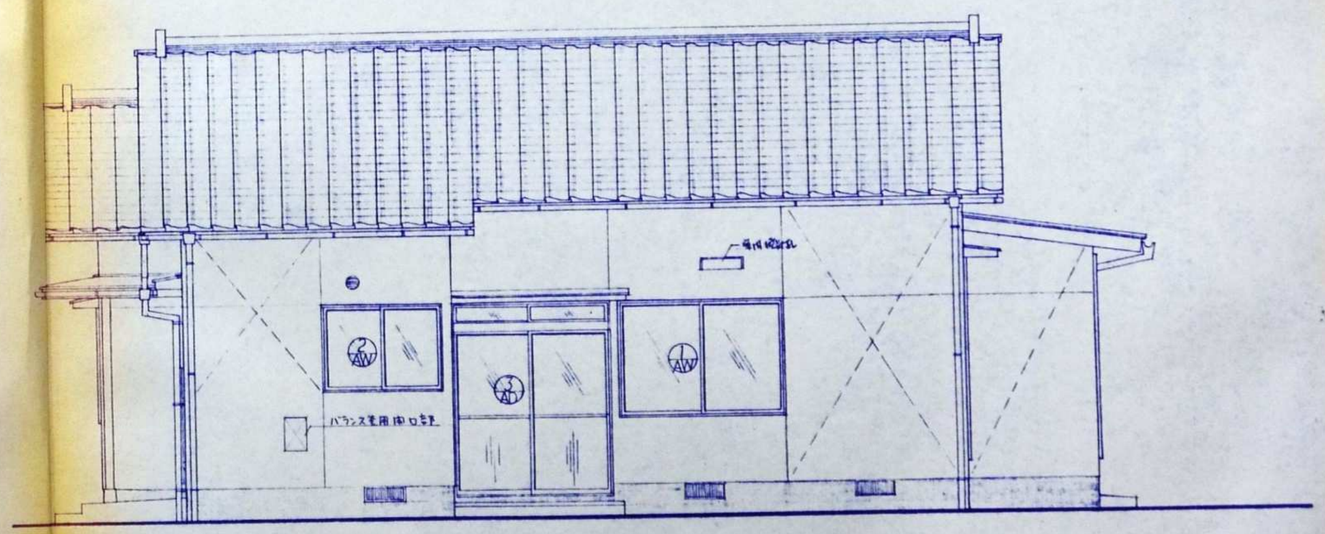
北　面　立　面　図



東　面　立　面　図



南　面　立　面　図



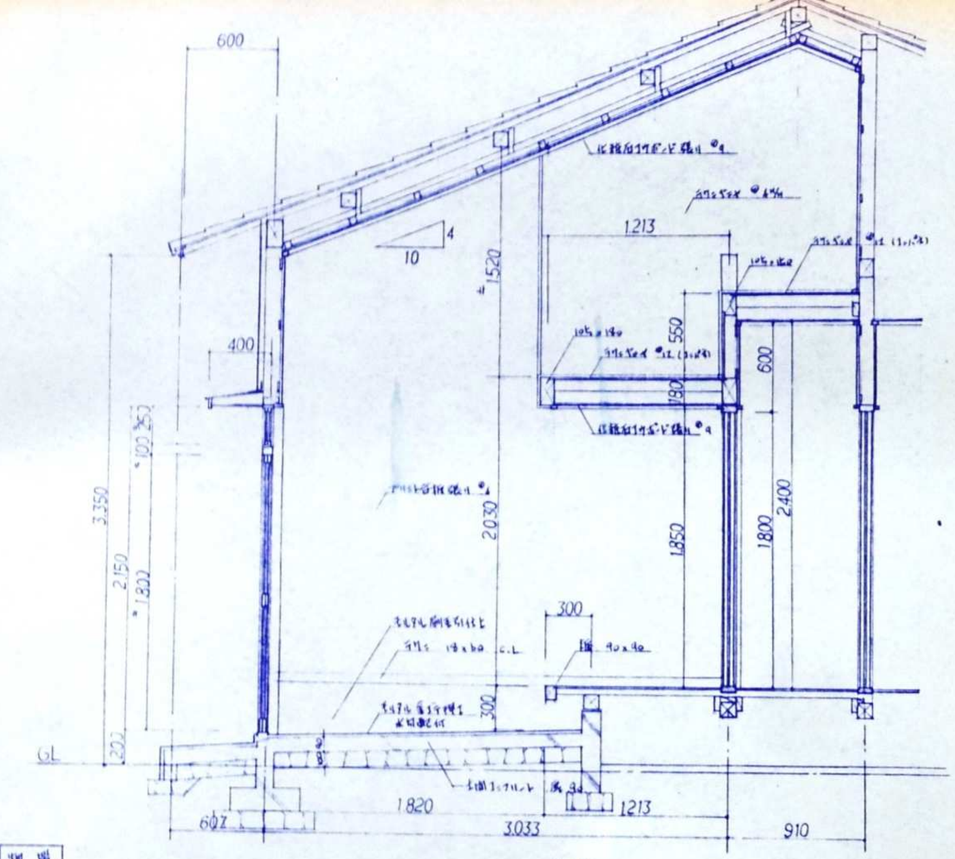
西　面　立　面　図

照査　石川県土木部 建築住宅課　年　月　日

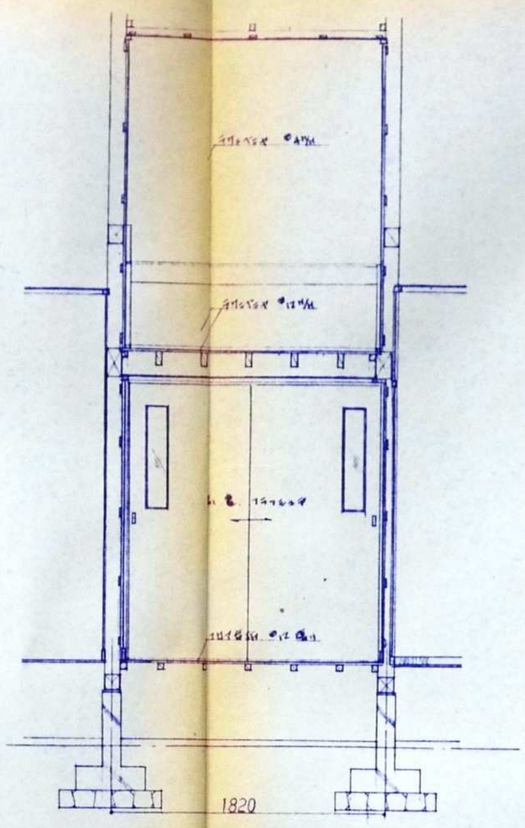
課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山	時田	高藤	高藤	神

設計年月日		工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
54.3.16		石川県木造公営住宅標準設計図	北入 60㎡ 立面図	1/50	島	三浦	NW-62	9
通し 5.11		石－79－NW－62						

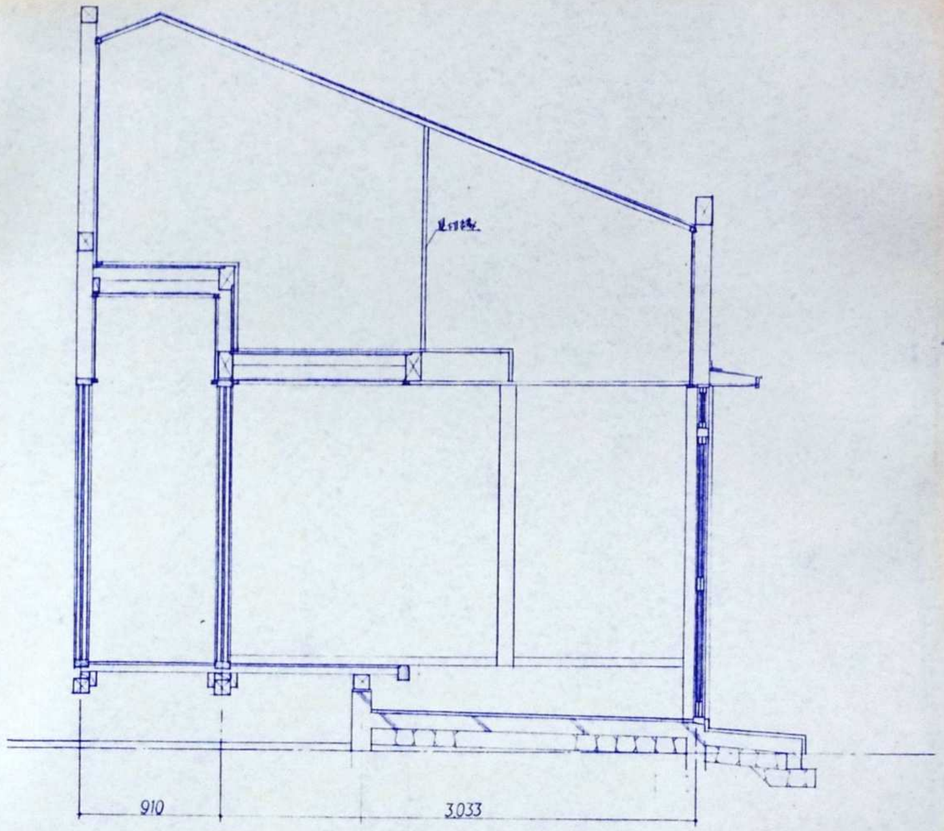
株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次



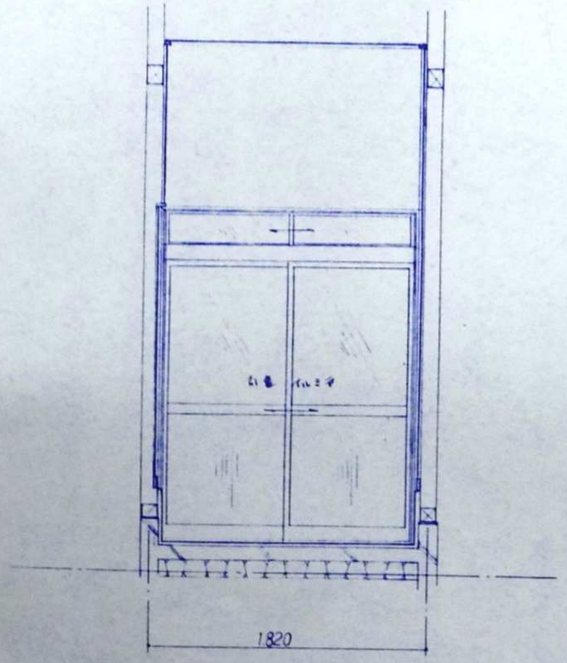
A 面



B 面



C 面



D 面

照 査

石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	54.3.26			工事名	石川県木造公営住宅標準設計図 石一79—NW—62	図面名	室内展開図 (7) (物置)	縮尺	1/30

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

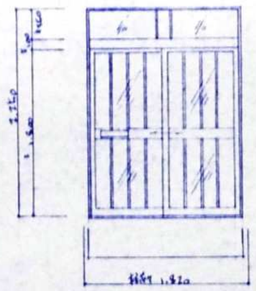
No.	図面No.
NW-62	20

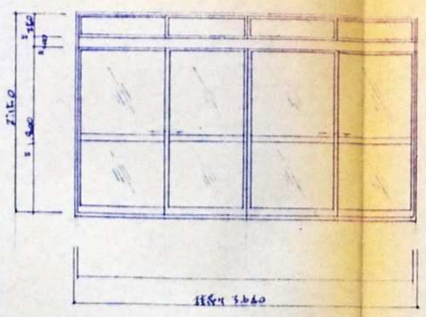
居間（3帖）

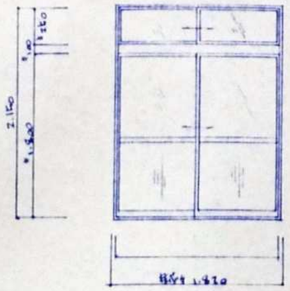
物干場

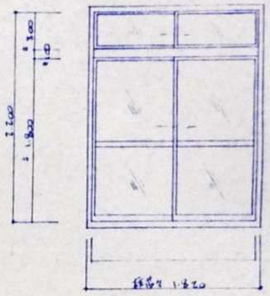
照査	石川県土木部 建築住宅課				
課長	参事	課長補佐	係長	担当	年 月 日

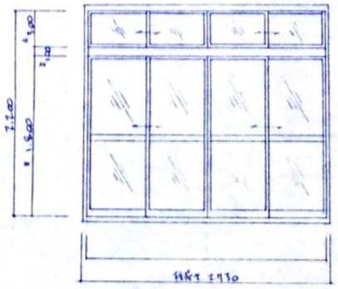
工事名	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-ES-02	図面名	室内展開図	縮尺	1／30	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.

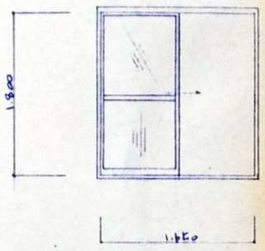


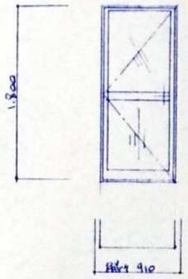


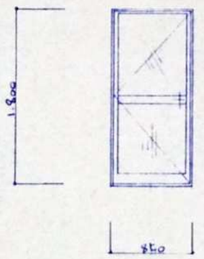


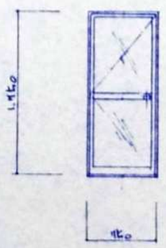


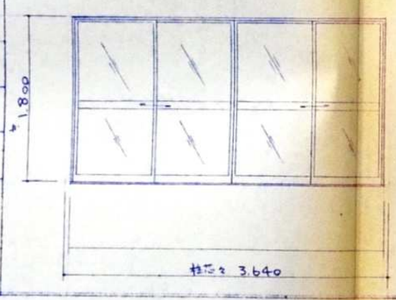












建具表

建具記号	外付/内付	設置場所	設計値 W	設計値 H	平面ポッチ寸法 W	平面ポッチ寸法 H	有効寸法 W	有効寸法 H	引込み寸法 W	引込み寸法 H
1 AD	内	外部 — 玄関	1,820(組5)	2,150	1,912 —	2,150 —	1,709 —	2,141 —	1,694 —	2,142 —
2 AD	内	外部 — リビング	3,640(〃)	2,150	3,570 (3,514)	2,200 (2,178.5)	3,570 (3,476)	2,200 (2,156)	3,511 (3,475)	2,183 (2,157)
3 AD	内	外部 — 和室	1,820(〃)	2,150	1,696 —	2,304 —	1,694 —	2,304 —	1,693 —	2,198 —
4 AD	外	外部 — 洋室 寝室 書斎	1,820(〃)	2,200	1,900 (1,9176)	— (2,141)	1,900 (1,9176)	— (2,141)	— (1,971)	— (2,119)
5 AD	外	外部 — 洋室	2,730(〃)	2,200	2,610 (2,633)	— (2,141)	2,610 (2,628)	— (2,141)	2,671 (2,630)	2,200 (2,214)
6 AD	外	外部 — 和室	1,820	1,800	1,693 —	1,857 —	— (1,659)	— (1,7886)	—	—
7 AD	外	駐車場 — 厨房 洗面所	910(組5)	1,800	886 —	1,838 —	886 —	1,840 —	826 —	1,826 —
8 AD	外	外部 — 駐車場	820	1,800	861.5 —	1,963 —	820 —	1,840 —	804 —	1,862 —
9 AD	内	浴室 — 洗面所	750	1,750	795 —	1,941 —	750 —	1,767 —	736 —	1,764 —
10 AD	内	外部 — サンルーム	3,640(組5)	1,800	3,520 (3,514)	1,790 (1,783.5)	3,520 (3,476)	1,790 (1,757)	3,511 (3,475)	1,788 (1,757)

(例. ( ) 数字 w.h)

設計年月日	54. 4. 1
工事名	石川県木造公営住宅標準設計図
図面名	金属製建具リスト
縮尺	1/50

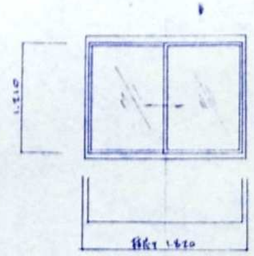
照査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

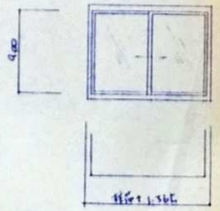
課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山	野守	国藤	長村	井

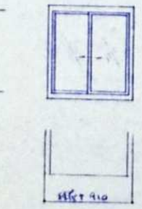
株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

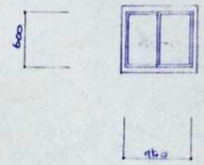
No

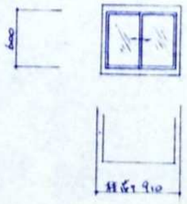
図面No 21











〔金属製建具〕 メーカー別 寸法リスト

記号	符号	設置場所	設計寸法 W	設計寸法 H	ホームポット工業 W	ホームポット工業 H	三協アルミニウム工業 W	三協アルミニウム工業 H	立山アルミニウム工業 W	立山アルミニウム工業 H
1/AW	引	北面 — 浴室	1,820 (腰窓)	1,210	(1,774)	(1,214)	(1,771)	(1,219)	(1,771)	(1,219)
2/AW	引	北面 — 洋室	1,365 (・)	900	(1,370)	(915)	(1,264)	(914)	(1,264)	(914)
3/AW	引	北面 — 和室	910 (・)	900	(870)	(915)	(810)	(909)	(817)	(914)
4/AW	引	北面 — 和室	455	600	—	(612)	—	(608)	—	(611)
5/AW	引	北面 — 洋室	910 (腰窓)	600	—	—	—	—	(817)	(611)

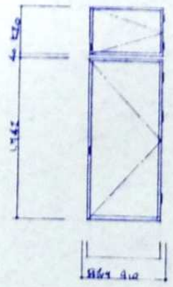
ホームポット SFK 外付ポット 開閉側　　ハイポット EHS 外開、開閉側　　3K ミラー 外気遮断ガラス 開閉側

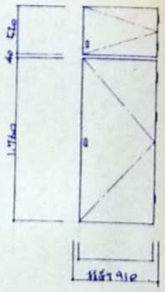
設計年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
54. 4. 3	石川県木造公営住宅標準設計図	金属製建具リスト	1/50	1級建築士 第21982号 長村寛次		22

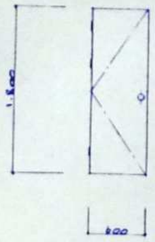
照査　石川県土木部 建築住宅課　年 月 日

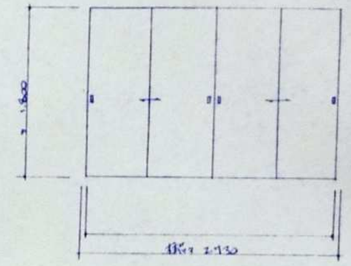
課長	参事	課長補佐	係長	担当

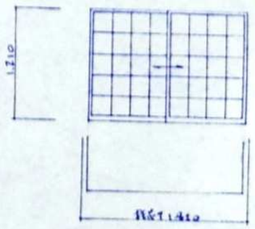
| | | |

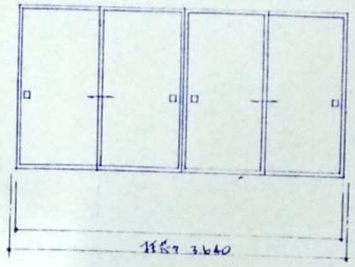


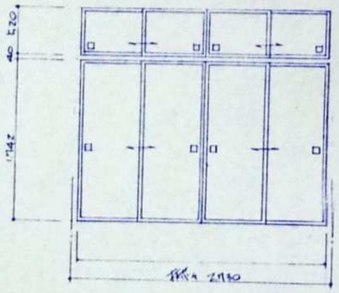


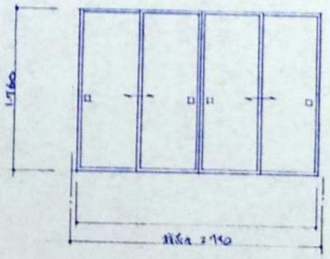


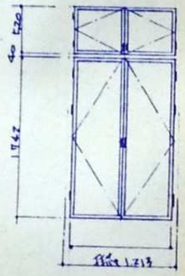












| | | |

電気設備工事　特記仕様書

一般仕様　本工事は電気事業法による電気設備の技術基準、北陸電力株式会社内線規程、電々公社配管設計基準消防関係法規、その他関係諸官公庁規定に従うとともに、詳細については監督員の指示に従い、入念かつ完全に施工すること。

工事工程　本工事は、建築及びその他の設備工事の進捗に伴い施工すること。

材　料　本工事に使用する器具及び材料は、JIS規格に合格し、かつ電気用品取締法の適用を受けるものは型式承認済のものとする。

電線管　本工事に使用する電線は、特に指定のない限り薄鋼電線管を使用する。使用場所は図示による。

電　線　本工事に使用する電線は、特に指定のない限り600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VV-F及びVV-R)を使用し、電線の太さは、電灯専用回路は1.6mm、コンセント専用回路は2.0mm以上を使用する。その他図示特記による。

器具の取付け位置
a). 壁支持の分電盤の取付け高さは、原則として、盤中心を床上1.5mとする。ただし盤上端は、1.9m以下とする。
b). スイッチの取付け高さは、中心で1.3mとする。
c). コンセントの取付け高さは、中心で和室、洋室は、たたみは床天端より0.2m台所及び食堂のコンセントの高さは、1.0m、アース付コンセントの高さは床天端より1.20mとする。

器具の取付け
a) 器具の取付けは、器具の重量及び取付け場所に応じた方法とし重量の大きいもの及び取付け方法の特殊なものは、必要に応じ取付け詳細図を提出する。
b). 天井取付けの器具は、原則として吊りボルトなどを使用して堅固に取付け、また、野縁等に取付ける場合は、必要に応じ補強する。
c) メタラス張り、ワイヤラス張り、金属板張り、などの木造建物に器具を取付ける場合は、これら金属部分と器具の金属製部分及びその取付金具とは、電気的に絶縁して取付ける。
d). 防湿器具又は、防水器具は、取付場所及び器具の構造に適合した方法で取付ける。
e) 単極の点滅器は、原則として電圧側で点滅する。
f) 開閉器、点滅器は原則として、とって又は、ハンドルを上側又は右側にしたとき開路となるよう取付ける。
g). 点滅器は、埋込形とし、スイッチのボックス内に設ける。ただし軟式簡易間仕切壁等の厚さ35mm以上の合板に設ける場合で、点滅器自体にその端子などの充電部を露出させない堅ろうな難燃性絶縁物で覆った構造のものを使用するときは、ボックスを省略してよい。
h) 2極コンセントのうち刃受け穴に長短のあるものにあっては、原則として、長い方を向って右側に取付け接地側とする。
i) 3極コンセントの垂直刃受は穴及び4極の中央垂直刃受は接地側とする。コンセントは埋込型とし、JISに準ずる。

電話配管工事　電話配管工事は電々公社電気通信設備用配管の設計基準に従い施工する。また図示しなくても配管にはビニール被覆鉄線 φ2mmを呼び線として挿入しておく。

テレビ共聴
a) アンテナ支持装置取付け位置は躯体着と打合せできめるものとし最大風速40m/sec.に耐えるものとする。
b) 配線などは下記による。
1) 各機器で同軸ケーブルを接続しない端子には ダミー抵抗器を取付ける。
2) 増巾器、分岐器、分配器(テレビ接続用の整合器は除く)などに同軸ケーブルを接続する場合は、コネクターを使用する。

引渡し　本工事は工事完了後電気供給事業者及び関係官公署の試験に合格し、受電の後引渡しをするものとする。

機　材　電線、ケーブル	古河電気、住友電気、藤倉電線、昭和電線、日立電線、日本電線、大日電線、大河電業、愛知電線、東海電線、高川電線、東京電線、タツタ電線、大陽電線、倉茂電工、日活電線、西日本電線、神永電線、日産電線、泉電線、西浦電線、協和電線、帝国電線、
電線管附属品	JIS規格製品
計　器　盤	中立電気製作所、古河電機製作所、別川製作所、大日製作所
照明器具	日立製作所、東京芝浦電気、三菱電機、松下電器産業、松下電工、
蛍光灯　電球	日立製作所、東京芝浦電気、松下電器産業、三菱電機
白熱電球	日立製作所、東京芝浦電気、松下電器産業、
配線器具	東京芝浦電気、松下電工、神保電器
分　電　盤	東京芝浦電気、松下電工、日東電機、ヤエコン、カワムラ、ベッカー、別川製作所、大日製作所、
換　気　扇	三菱電機、松下電器産業、東京芝浦電気、日立製作所、

Ⓐ IL 40W (WP)



樹脂製、ガラスグローブ(乳白)

Ⓑ IL 40W (WP)



アルミ板、ホワイトブロンズ仕上、ガラスグローブ(乳白)

Ⓒ IL 40W



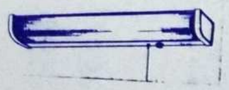
ガラスグローブ(乳白)

Ⓓ FL 10W (WP)

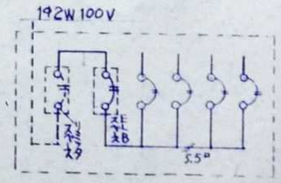


乳白プラスチックカバー

Ⓔ FL 15W



白色プラスチックカバー、プリズムカバー、RS付コンセント付(1000W以下)



ホーム分電盤 単線接続図

照査	石川県土木部 建築住宅課	年　月　日
課長	参事	課長補佐	係長	担当
君山	野守	藤原	富	神

設計年月日	工事名	図面名	縮尺		株式会社 長村建築事務所		No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図	特記仕様書		長村	1級建築士 第21982号 長村寛次	電		25

東　面　立　面　図

北　面　立　面　図

西　面　立　面　図

南　面　立　面　図

照　査

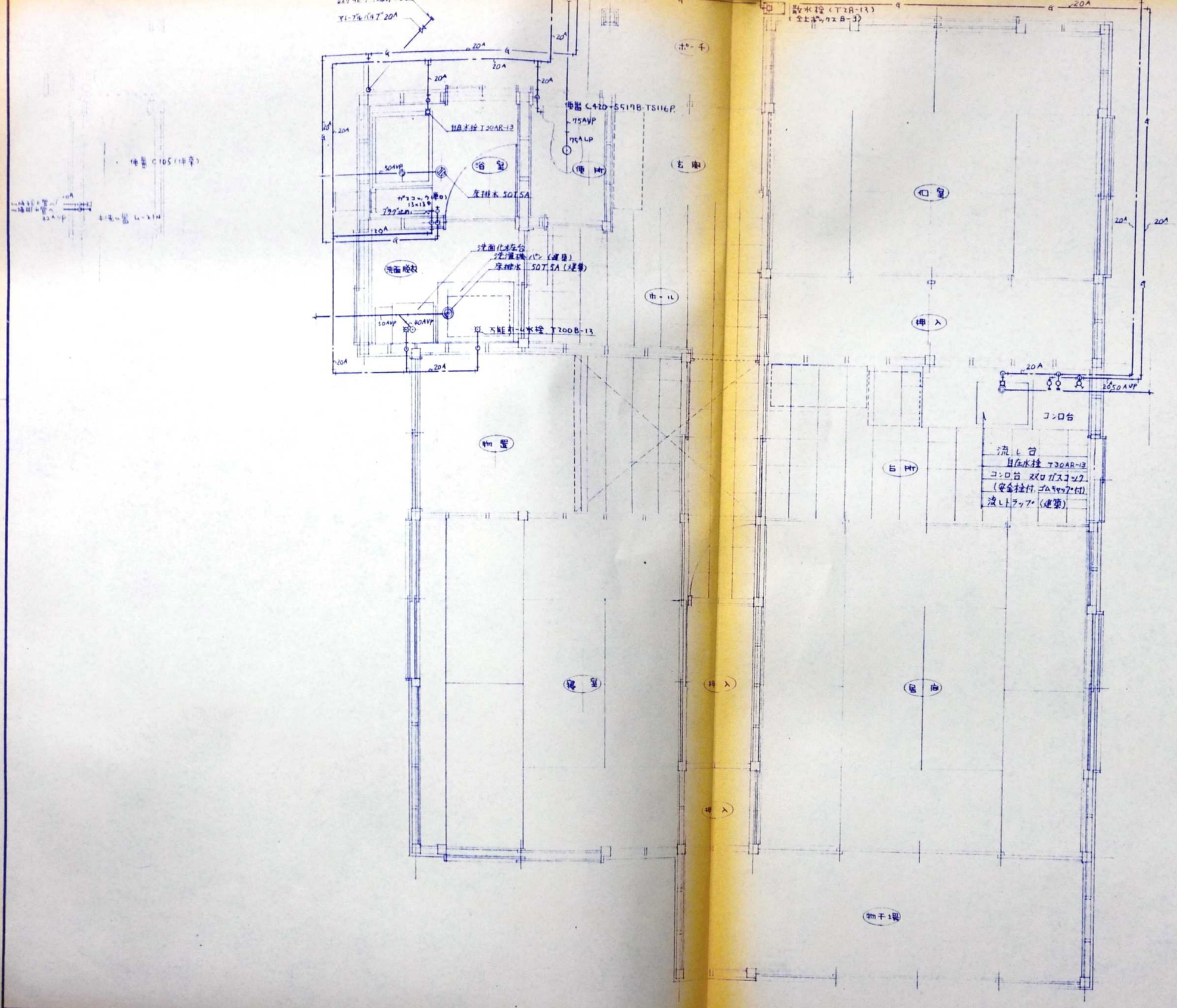
課長	参事	課長補位	係長	担当

石川県土木部
建築住宅課　年　月　日

設計年月日	工事名	図面名	縮尺	
	石川県木造公営住宅標準設計図 石－79－ES－62	立　面　図	1/50	

株式会社 長村建築事務所
1級建築士　第21982号　長村寛

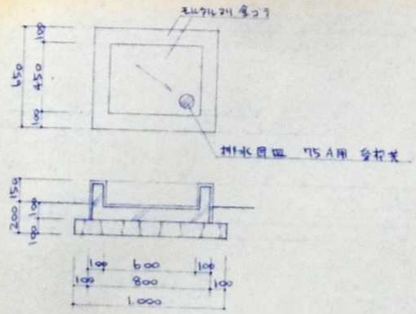
No. ES-62　図面No. 9



照査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

設計年月日	工事名	図面名	縮尺				No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-NW-62	給排水衛生設備 平面図	1/30	課長		株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	12	28

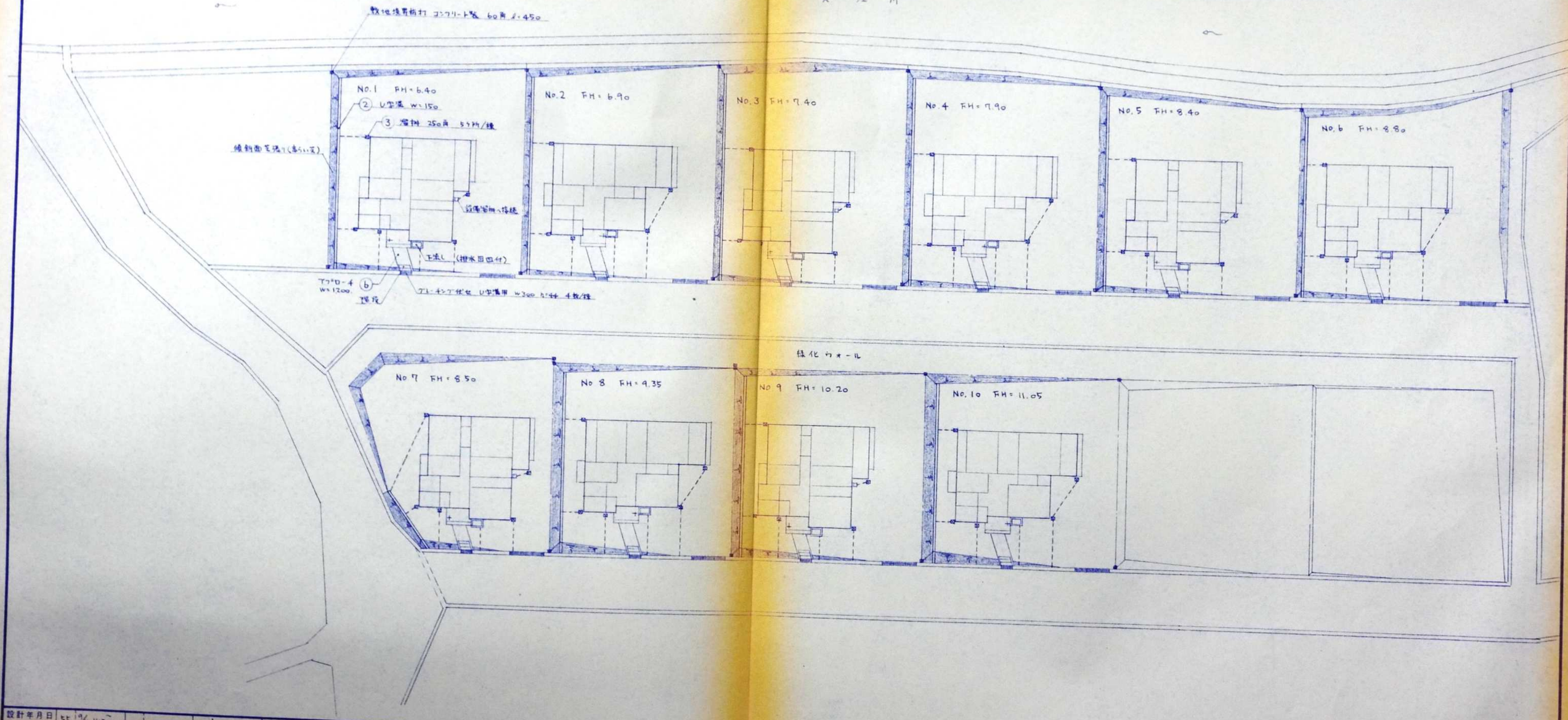


下水L詳細 1/30

凡例

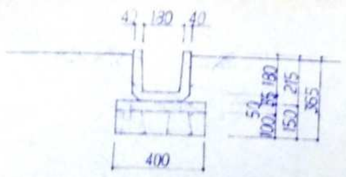
□ 溜桝 現場コンクリート製 250角

---- 排水管 硬質塩ビ管 75A VP管

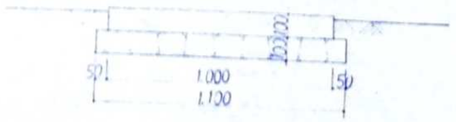


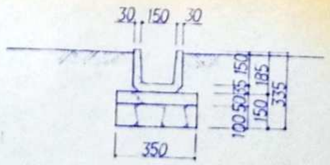
設計年月日	55 9/1 ~ 16-3-31	工事名	図面名	縮尺			No.	図面No.
		昭和55年度高島町久江公営住宅建設工事	外構工事配置図	1/250				29

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

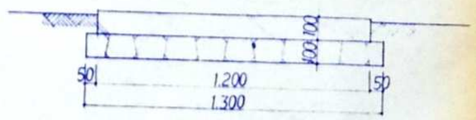


⑤ ﾌﾞﾛｯｸ塀 (ﾌﾞﾛｯｸ t=100 本体積ﾓﾙﾀﾙ) 1/20

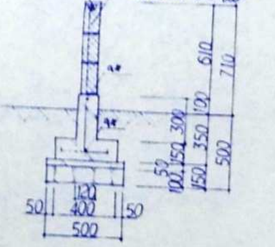




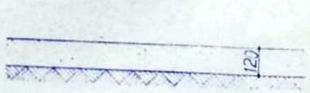
⑥ ﾌﾞﾛｯｸ塀 (ﾌﾞﾛｯｸ t=100 本体積ﾓﾙﾀﾙ) 1/20



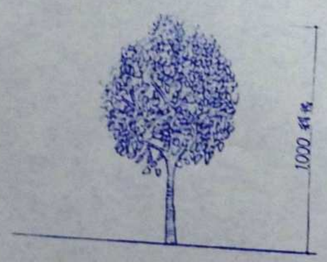
⑨ ﾌﾞﾛｯｸ塀 (ﾌﾞﾛｯｸ t=100 本体積ﾓﾙﾀﾙ) 1/30



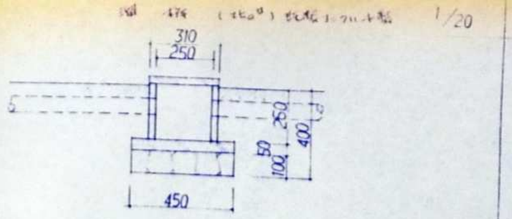
⑩ ﾎﾞﾀﾝﾋﾞﾊﾞﾅ φ120 1/20



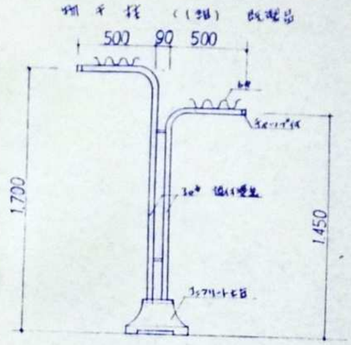
⑬ ﾓﾓﾉｷ H=1.0m 1/20



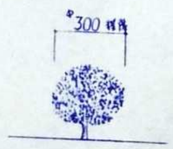
⑭



⑦ 門 柱 (ﾌﾞﾛｯｸ) 改修部 1/30

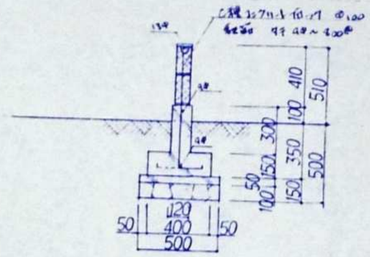


⑪ ﾓﾓﾉｷ 1/20

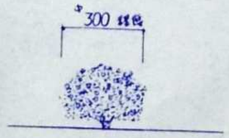


⑮

⑧ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ塀 (ﾌﾞﾛｯｸ塀) 1/30



⑫ ﾓﾓﾉｷ 1/20



⑯

照 査 石川県土木部 建築住宅課 年 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当
清山	田守	高橋	藤	林

設計年月日 S54.3.1

工事名 石川県木造公営住宅標準設計図

図面名 塀 外 工 事 ﾃﾞﾃｰﾙ

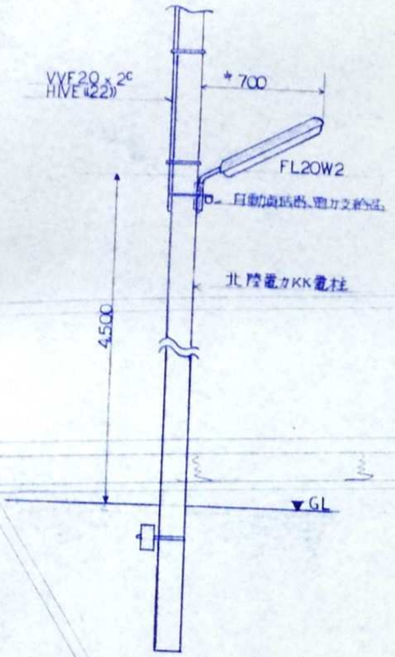
縮尺 1/20 . 1/30

長村 三浦

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

No.

図面No. 30



公衆街路灯 取付要領図



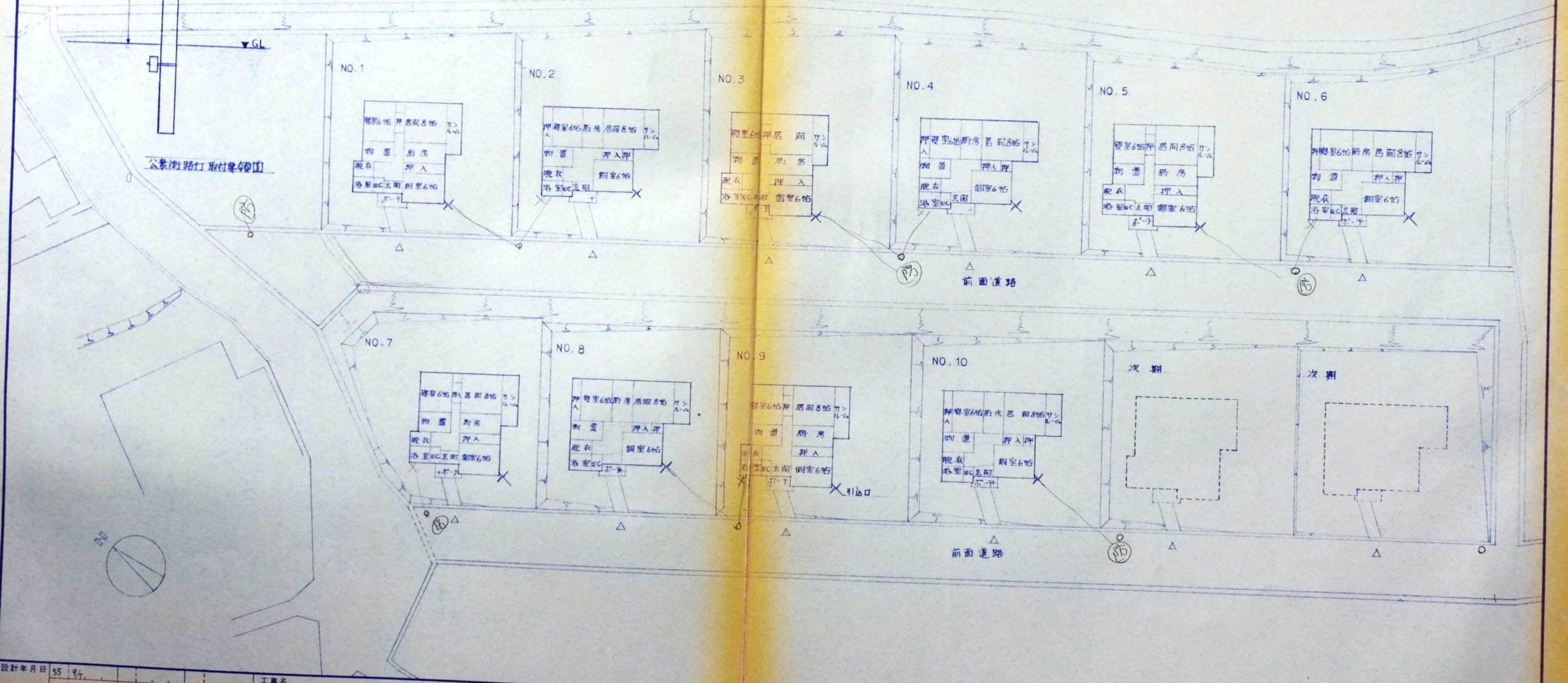
5ヶ所
防雨灯 FL 20W2 (WP) 電力柱用

注:取付場所は現場指示



モルタルつめ
切断け

久江川



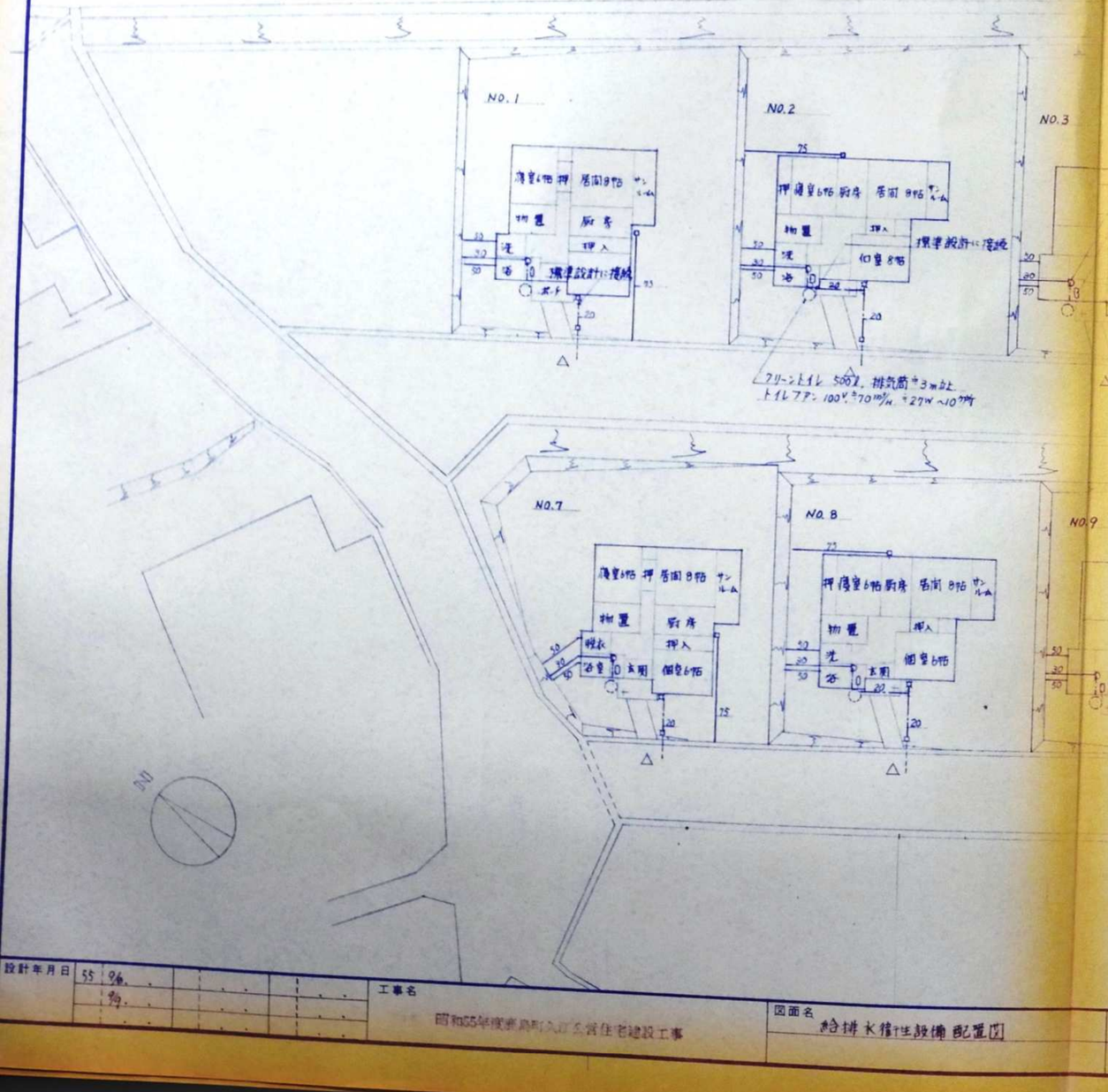
設計年月日	55 9/1				工事名	昭和55年度鹿島町久江公営住宅建設工事	図面名	電気設備 配置図 公衆街路灯	縮尺	1/250	

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

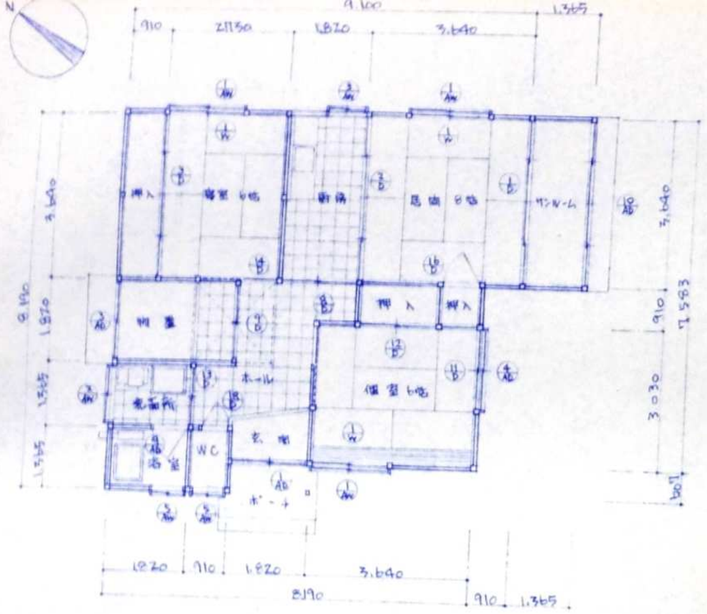
No.

図面No. 31

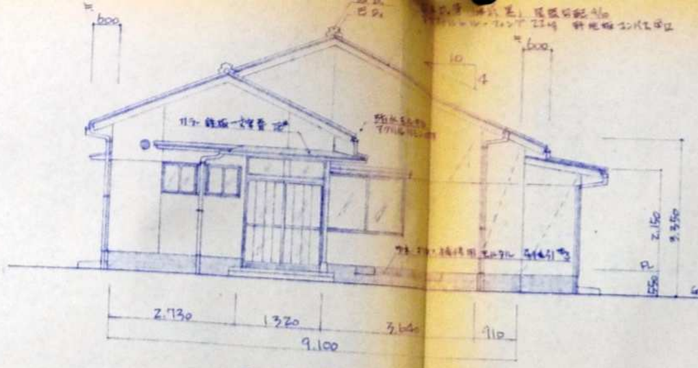
久之川



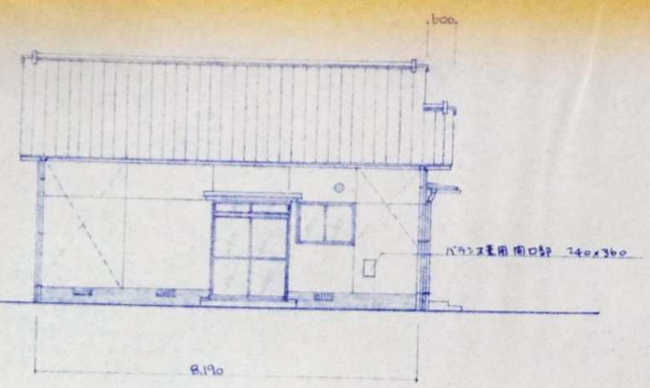
設計年月日	55 9月
工事名	昭和55年度恵那町久之川公営住宅建設工事
図面名	給排水衛生設備配置図
縮尺	1 / 250
株式会社	長村建築事務所
1級建築士	第21982号 長村寛次
No.	
図面No.	32



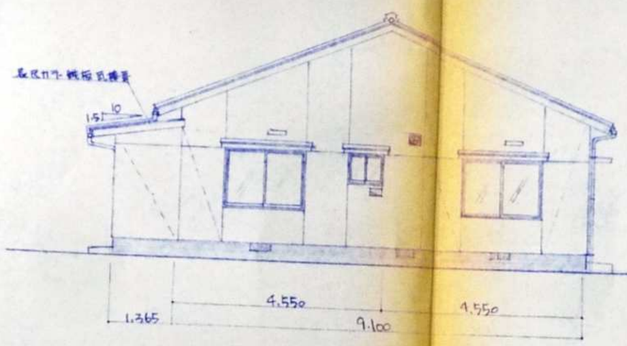
平面図 1/100



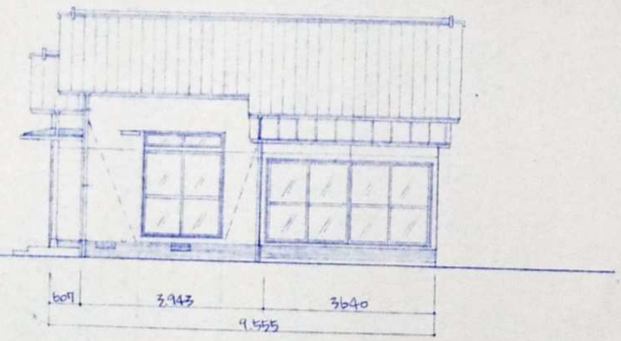
西立面図 1/100



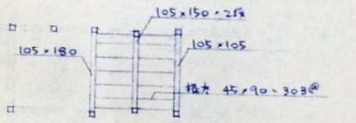
北立面図 1/100

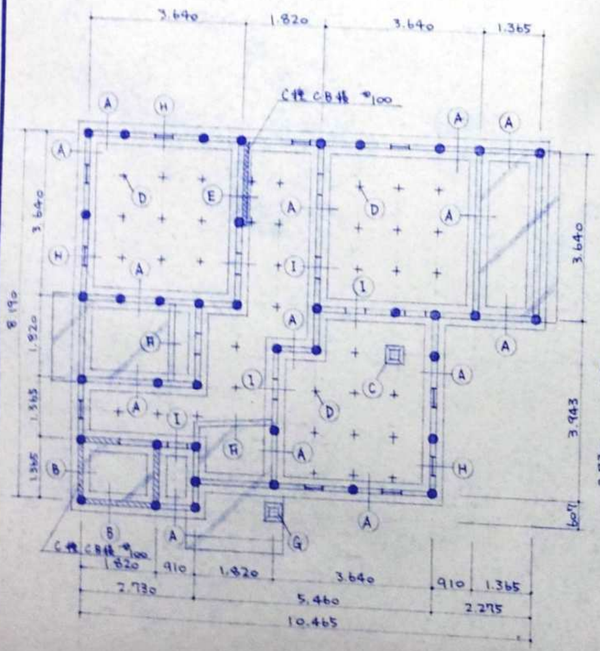


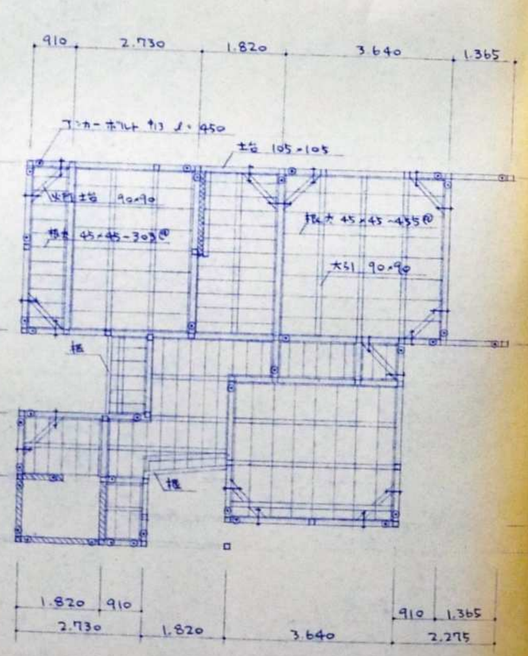
東立面図 1/100



南立面図 1/100



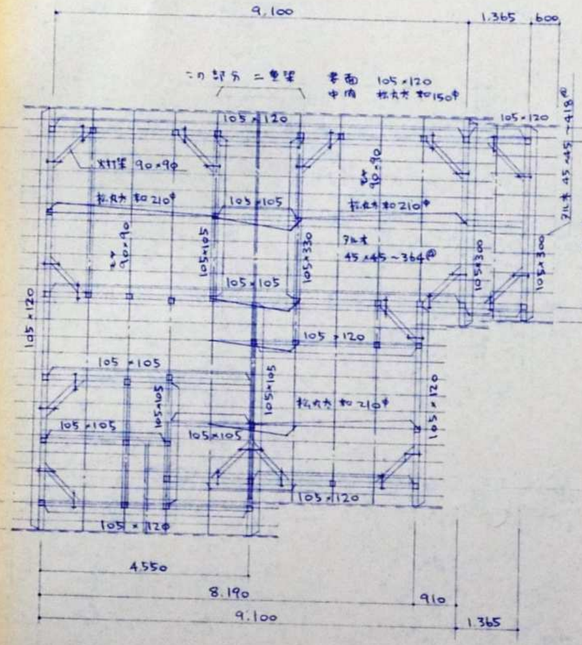




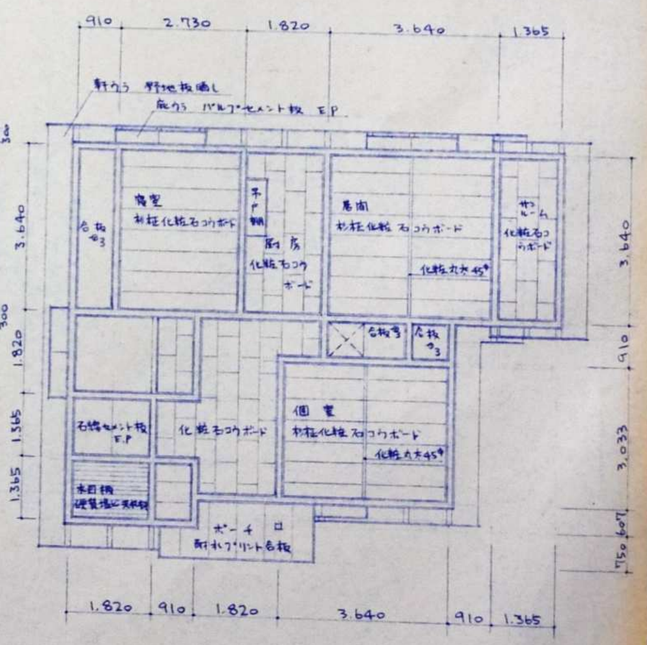
● RC杭 150φ L=2,000 39本/棟 No.2.4.6.8 の4棟

基礎伏図 1/100

床伏図 1/100

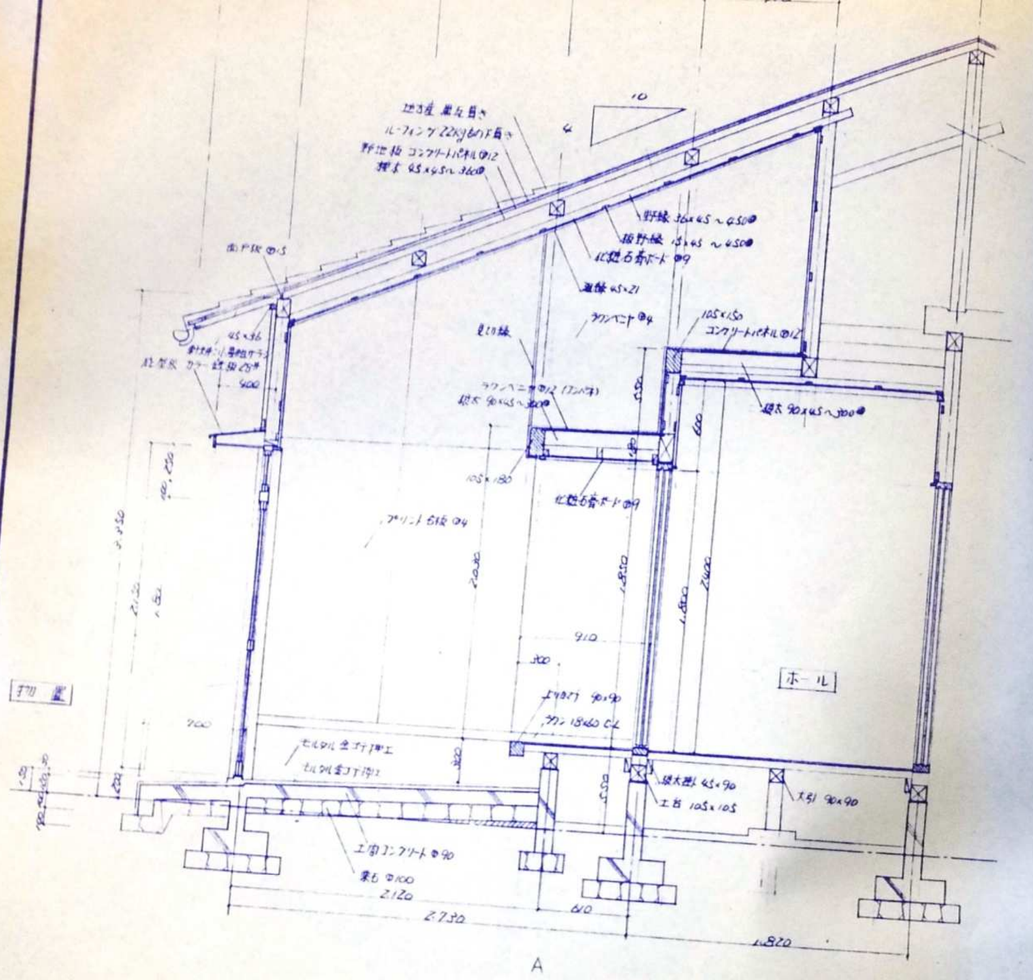


小屋伏図 1/100



天井伏図 1/100

設計年月日		工事名	図面名	縮尺				図面No.
年 月 日		昭和55年度鹿島町久江公営住宅建設工事	石-79-ES-62 平面図・立面図 基礎・床・小屋・天井伏図	1/100 1/100			株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村寛次	7
9/1 15:00								
9/1 9:00								
9/8 11:30								
9/8 22:00								

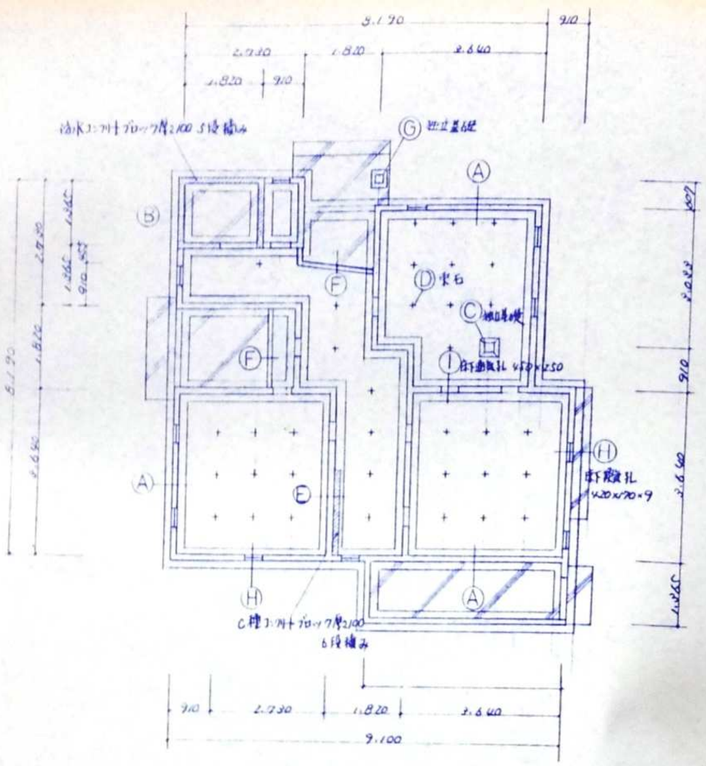


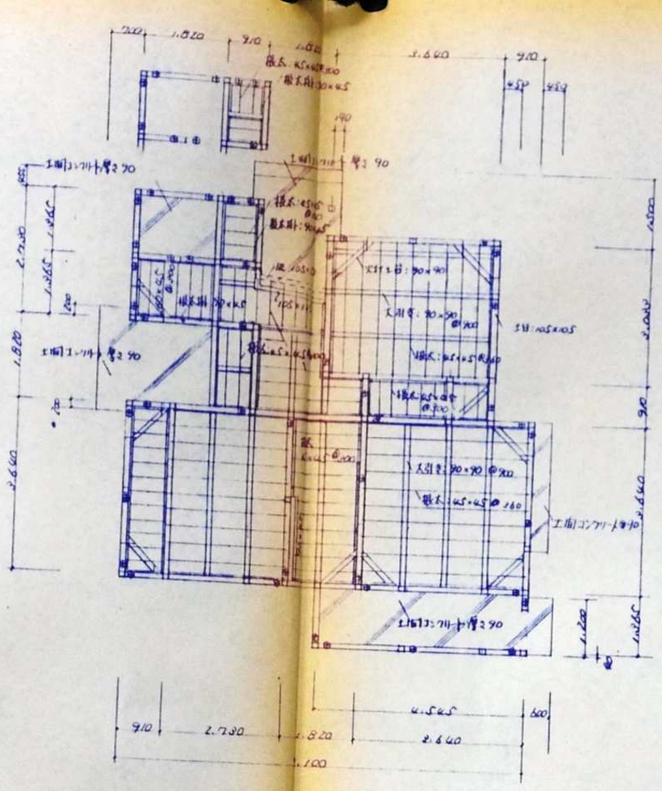
照 査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

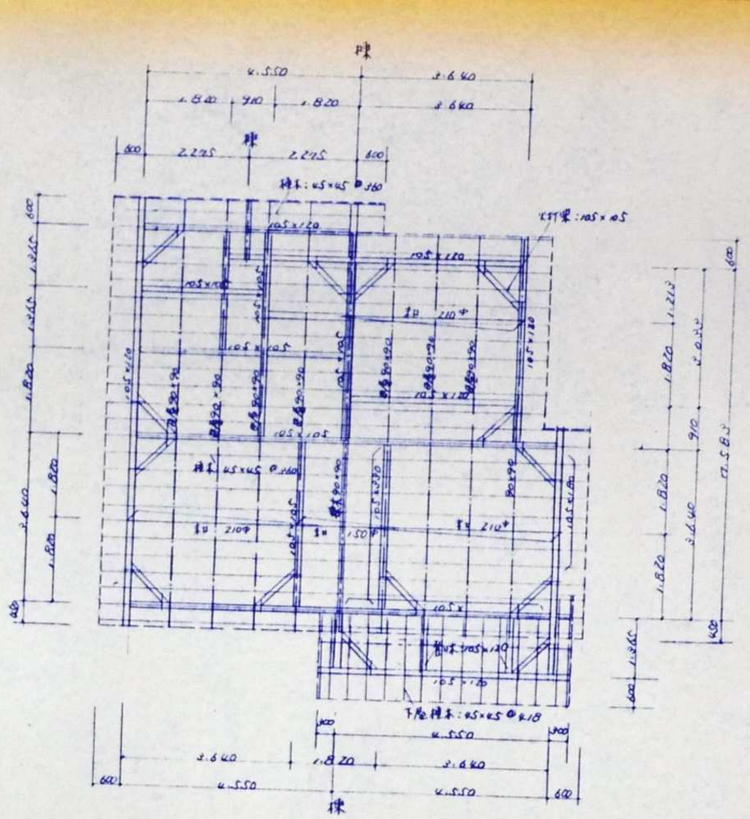
課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山	田	笹原		神

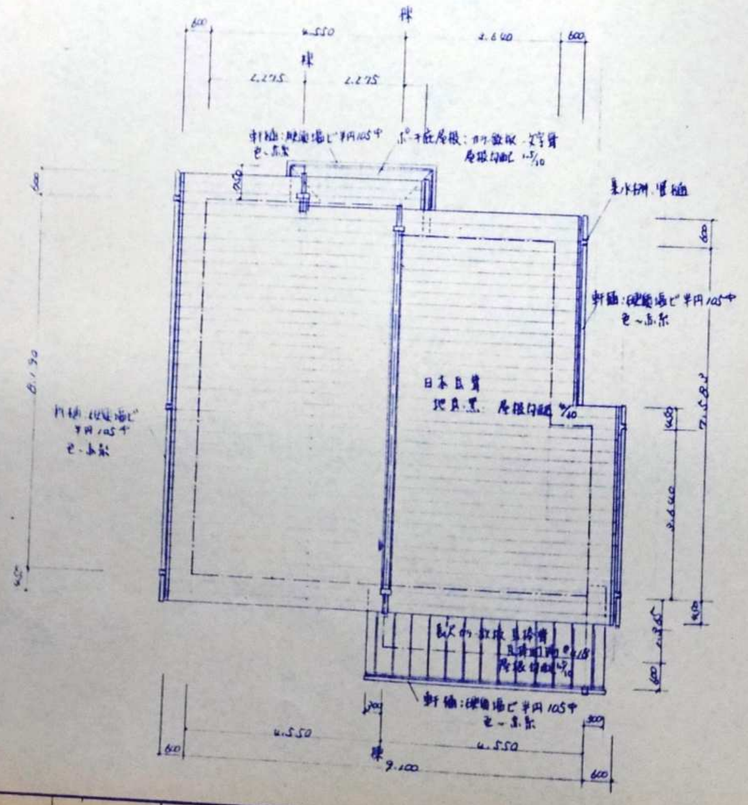
工事名	石川県木造公営住宅標準設計	縮尺	1／30	No.	
	石-79-ES-62			図面No.	
図面名	室内立面図				

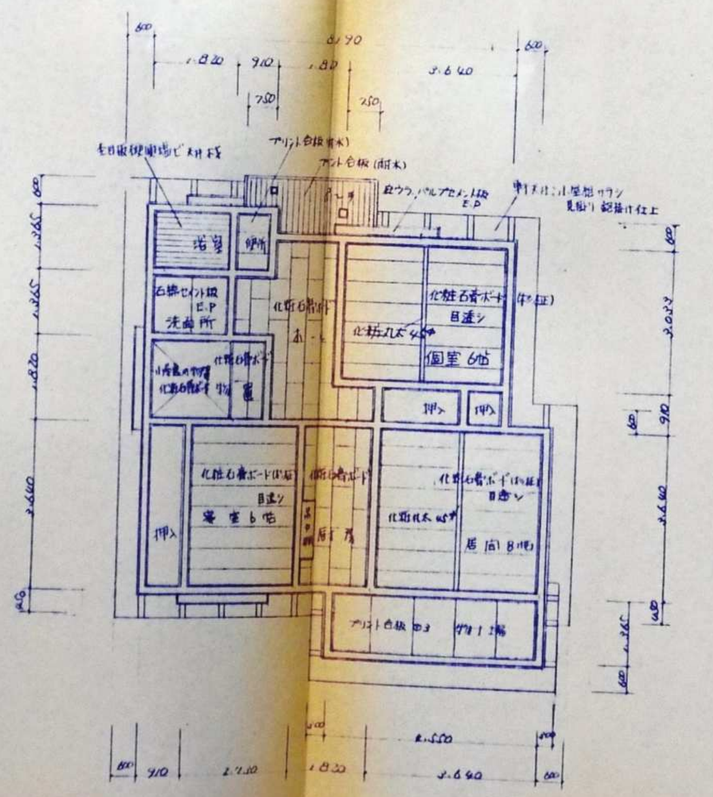
株式会社 長村建築事務所

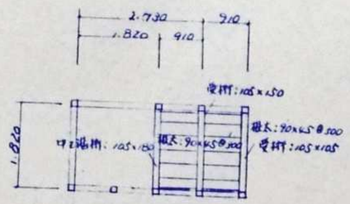




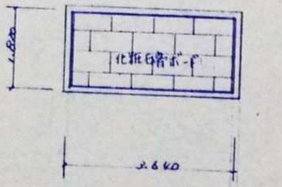








小屋裏物置部分床伏図



小屋裏物置部分天井伏図

床組本掛（一階部分）

名称	材種	寸法	備考
土台		105 × 105	住根以外
大引		90 × 90	下端揃り羽重ね
床束		90 × 90	
根太掛		90 × 45	
火打土台		90 × 90	
根太		45 × 45	根下地 @300
〃		〃	
畳下床板		コンクリート押え厚21/2	畳下地 @360

小屋組本掛（一階部分）

名称	材種	寸法	備考
側桁.妻桁		105 × 120	
小屋梁		105 × 180	
小屋梁野物		150 中 210 中	スパン 1.820 〃 2.640
棟.軒桁		105 × 105 105 × 105	荷重 下ン
火打梁		105 × 105	
母屋		90 × 90	

照査

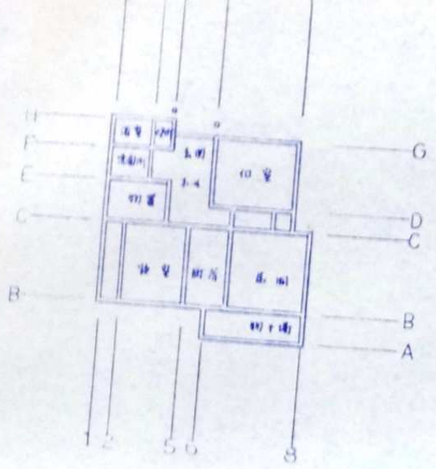
石川県土木部
建築住宅課　年　月　日

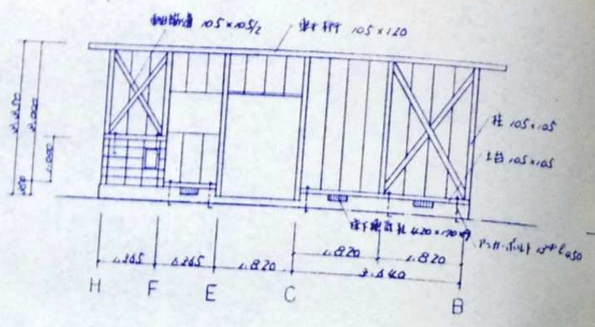
課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山	田守	齋藤	石田	掛

設計年月日	工事名	図面名	縮尺	
	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-ES-62	各伏図	1／30	

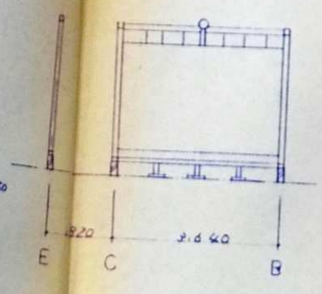
株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村寛次

No	図面No.
ES-62	10

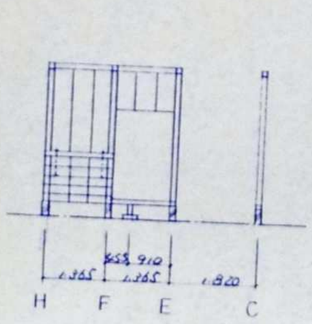




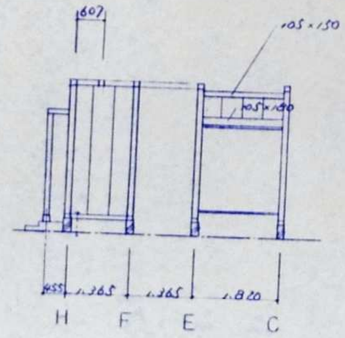
1 通 軸組



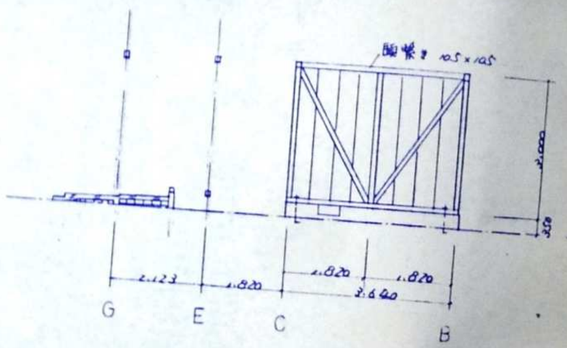
2 通 軸組



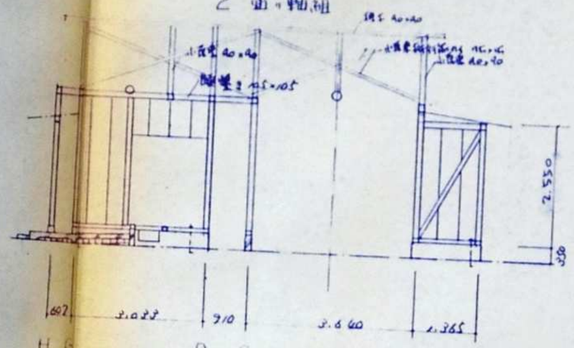
3 通 軸組



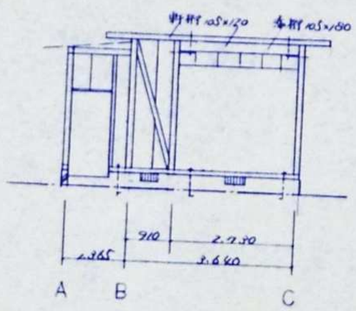
4 通 軸組



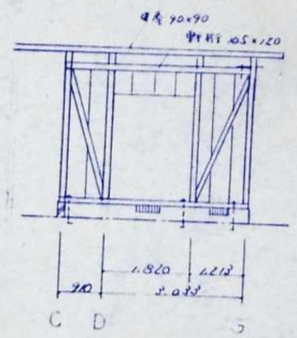
5 通 軸組



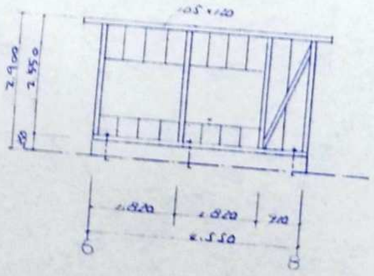
6 通 軸組



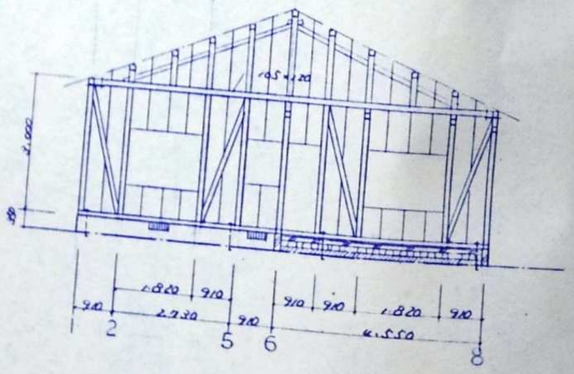
8 通 軸組



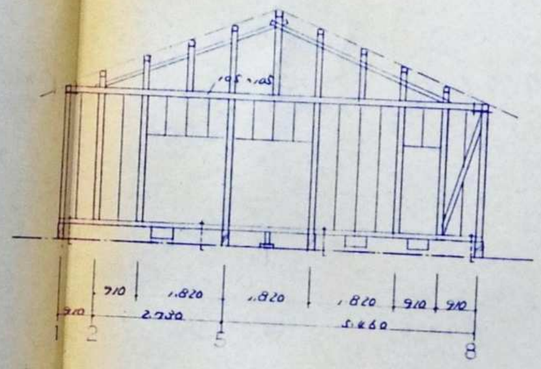
7 通 軸組



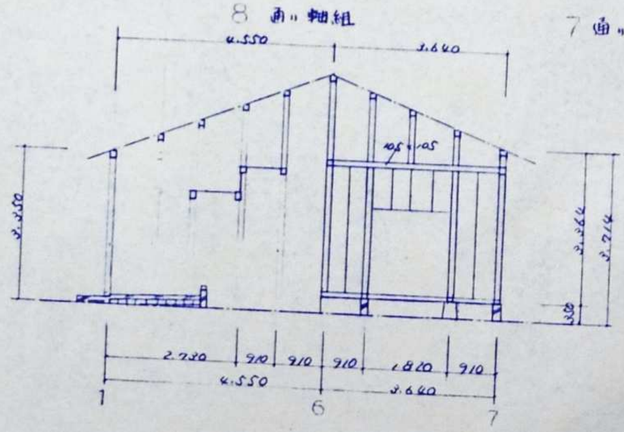
A 通 軸組



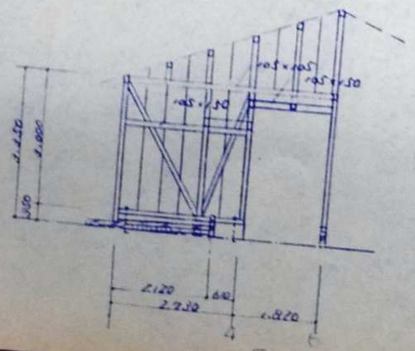
B 通 軸組



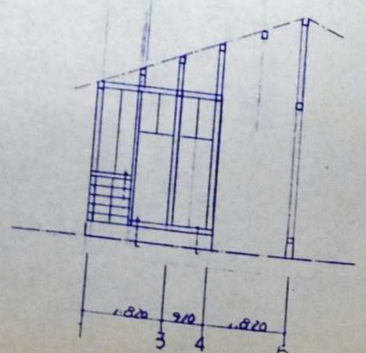
C 通 軸組



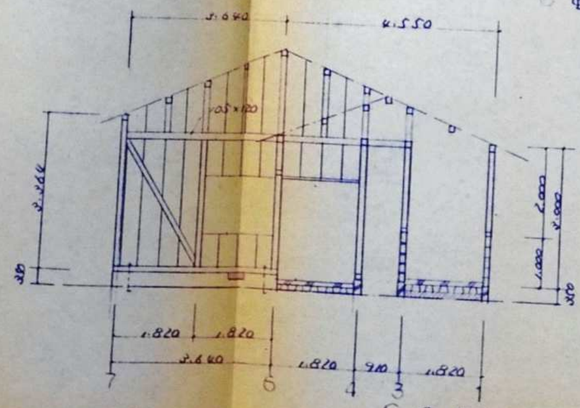
D 通 軸組



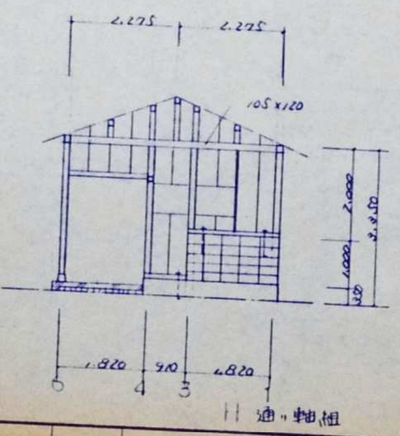
E 通 軸組



F 通 軸組



G 通 軸組



H 通 軸組

軸組本柄（一般事項）

名称	材種	寸法	備考
柱		105 × 105	
間柱		105 × 36	玄関
〃		66 × 36	内面真壁
〃		45 × 36	真壁
筋違		105 × 105/2	

照査

課長	参事	課長補佐	係長	担当

石川県土木部
建築住宅課
年 月 日

工事名 石川県木造公営住宅標準設計図
石－79－ES－62

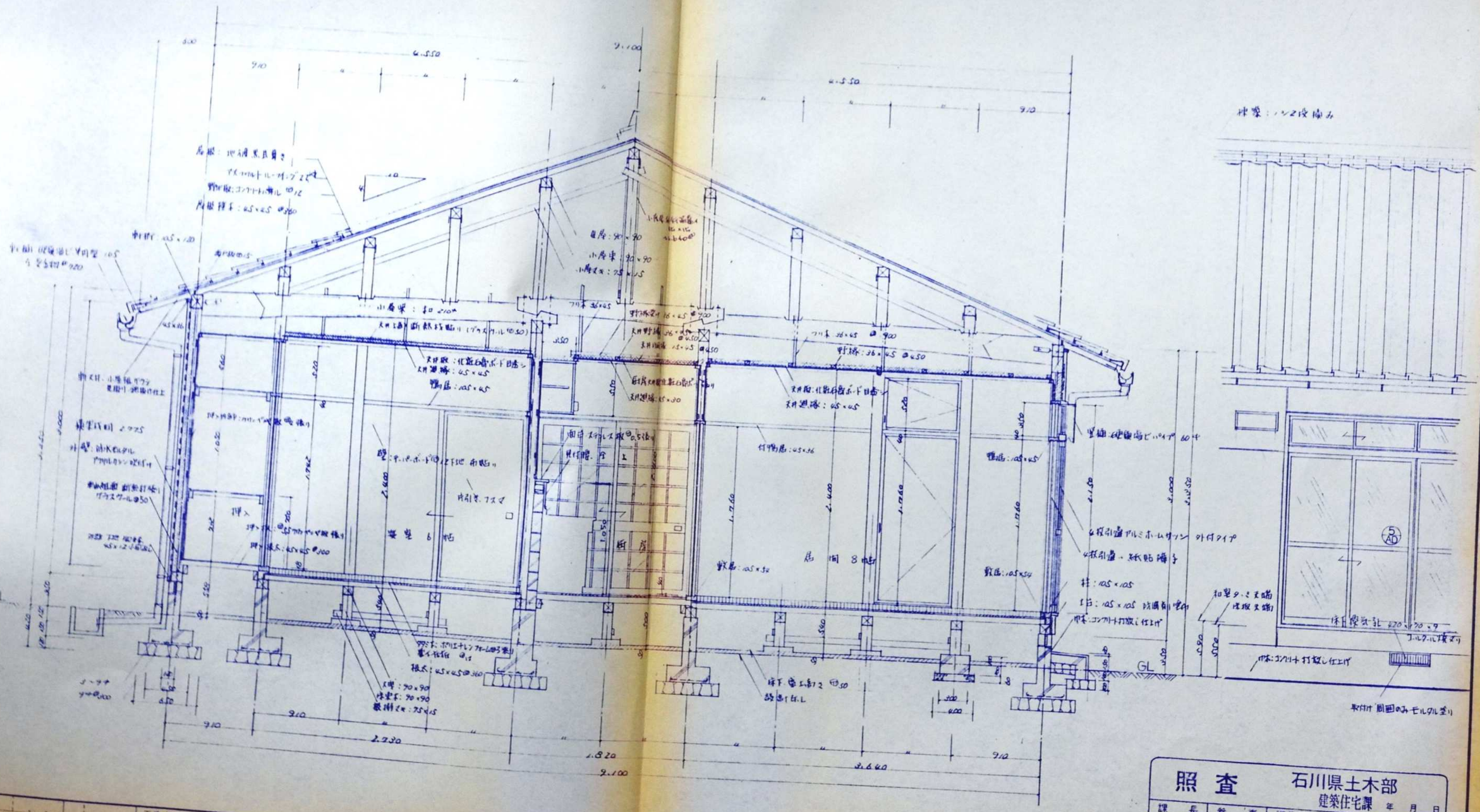
図面名 軸組図

縮尺 1／100

株式会社 長村建築事務所
1級建築士 第21982号 長村

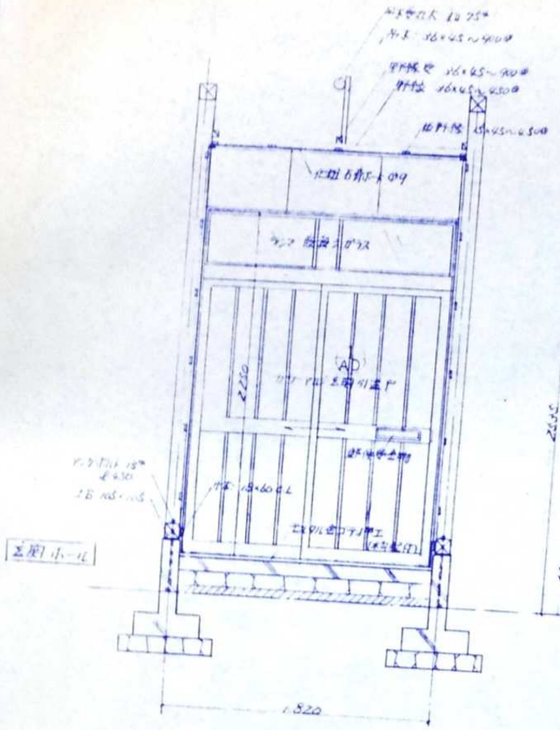
No. ES-62

図面No.

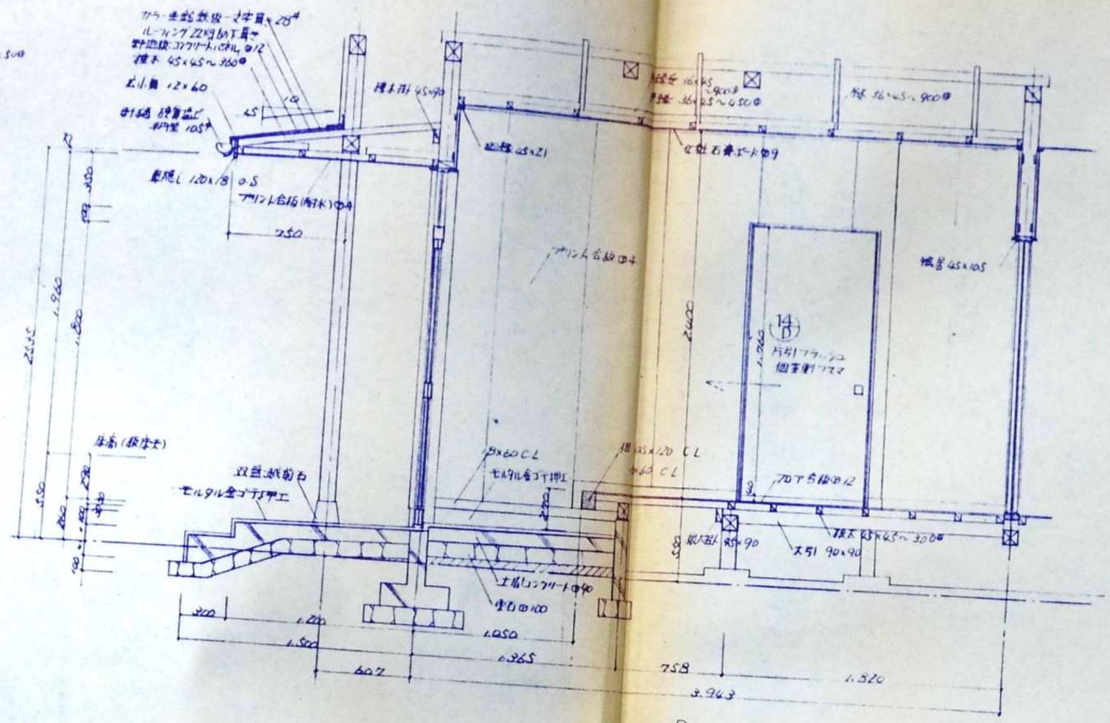


照査	石川県土木部 建築住宅課				
課長	参事	課長補佐	係長	担当	年 月 日
若山	田中	齋藤	富	神	

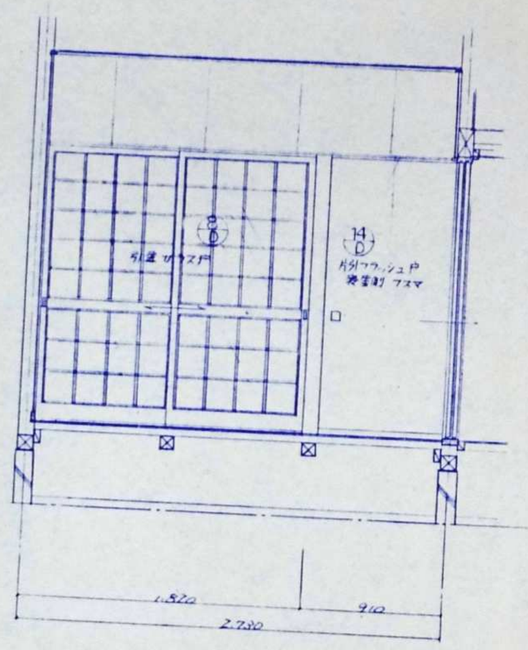
月日	工事名	図面名	縮尺		株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-ES-62	標準矩計図	1／30	長村	1級建築士 第21982号 長村 實次	ES-62	13



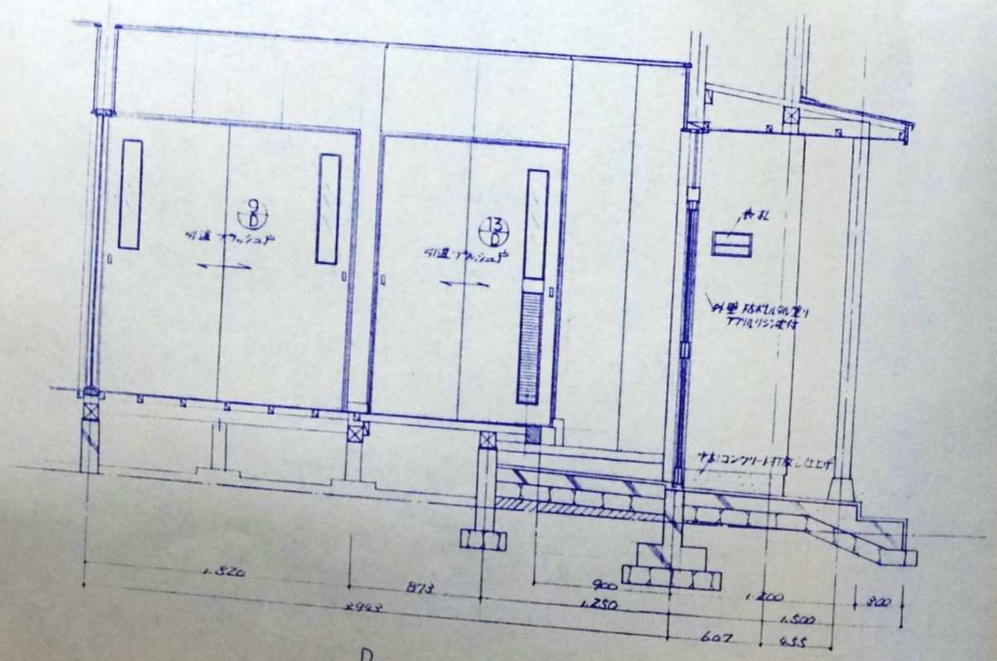
A



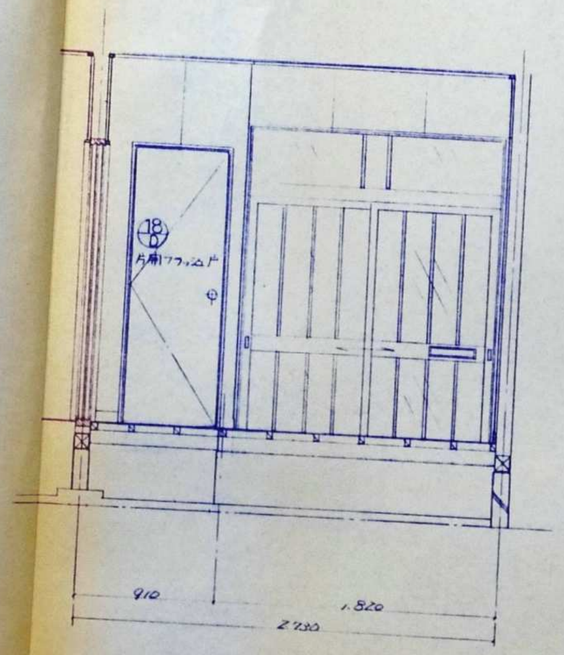
B



C



D

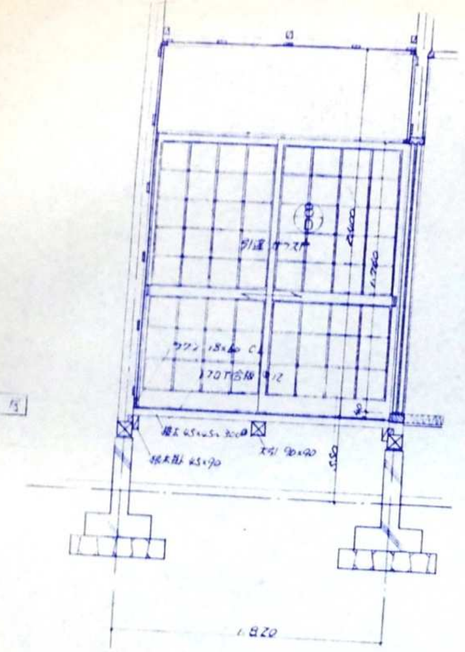


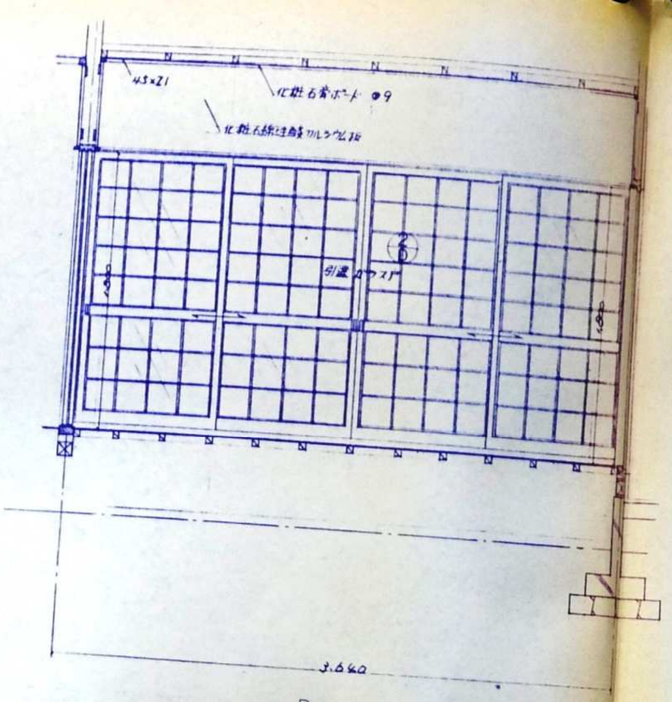
A

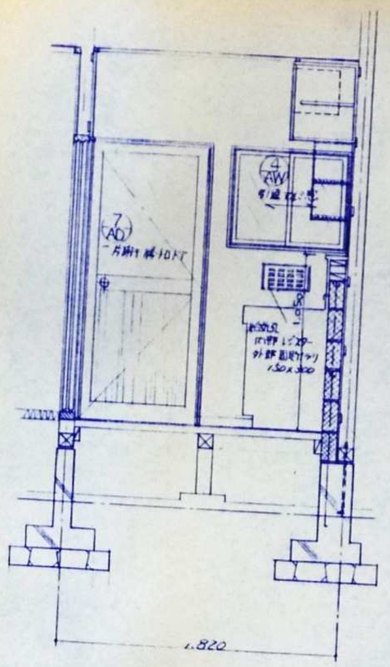
照査　石川県土木部 建築住宅課

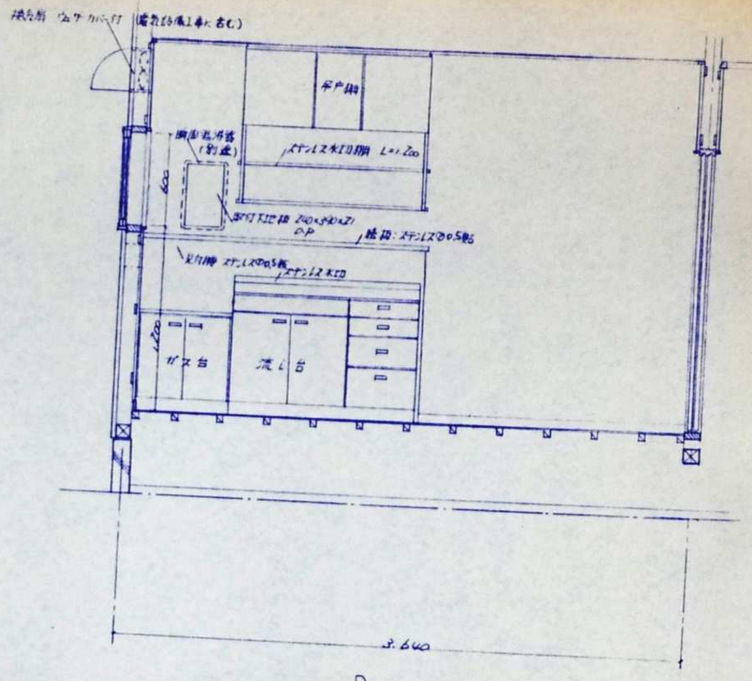
課長	参事	課長補佐	係長	担当	年月日

年月日	工事名	図面名	縮尺	株式会社 長村建築事務所	No.	図面No.
	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-ES-62	室内展開図	1/100	1級建築士 第21082号	ES-02	





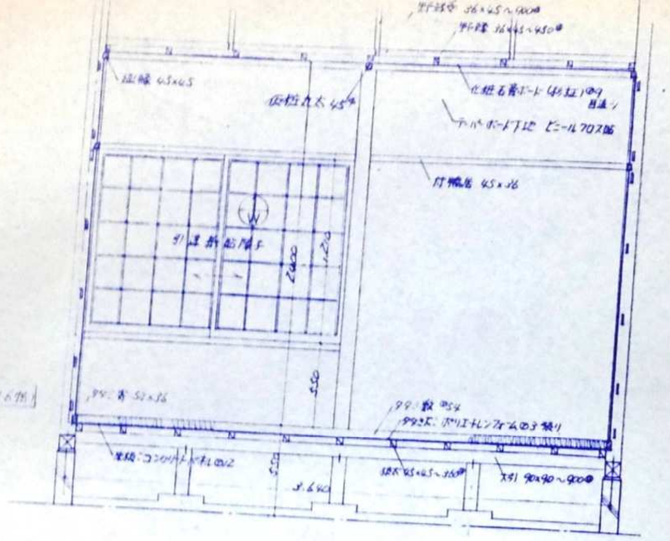




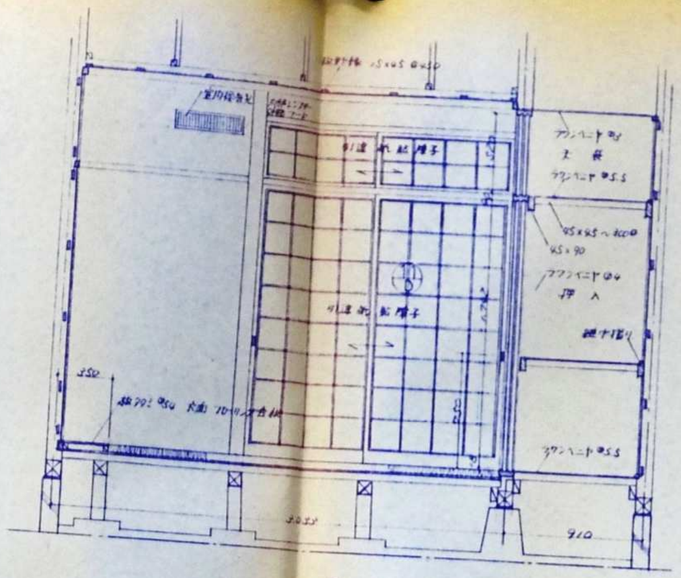
年月日				工事名	石川県木造公営住宅標準設計図 石--79--ES--62	図面名	室内展開図	縮尺	1／30				株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号	No.	図面No.

照査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

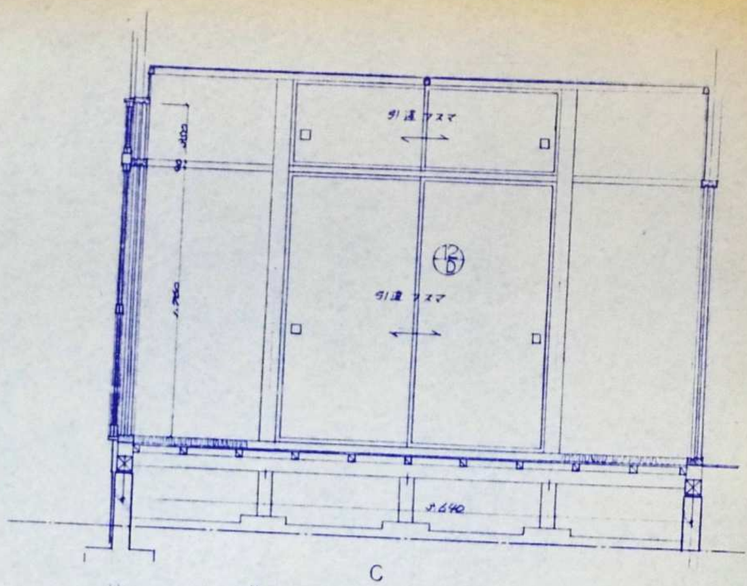
課長	参事	課長補佐	係長	担当
若山				



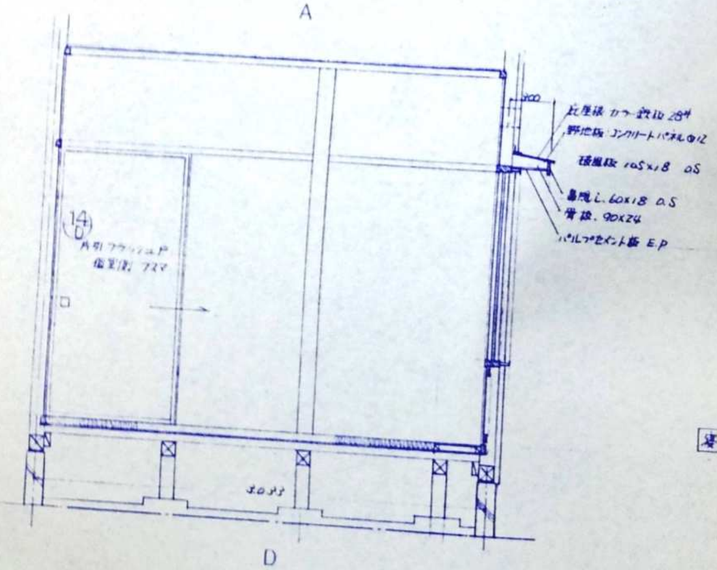
A



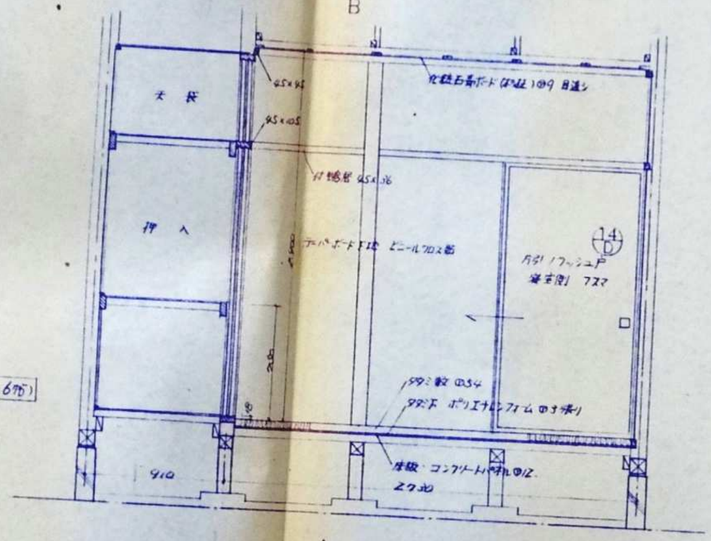
B



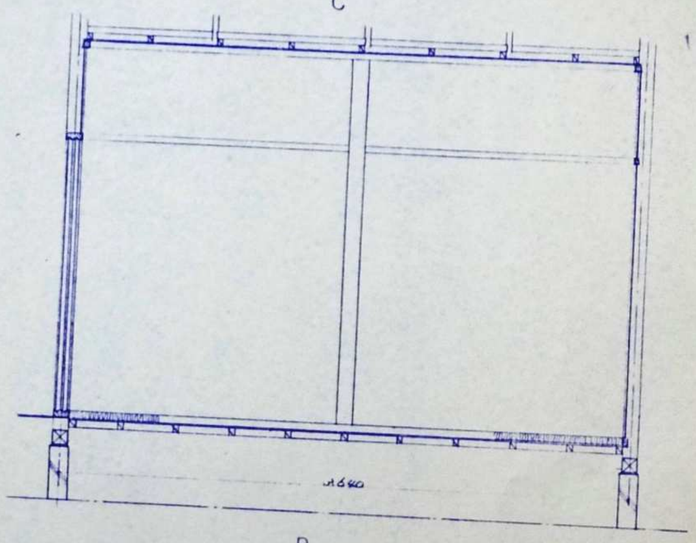
C



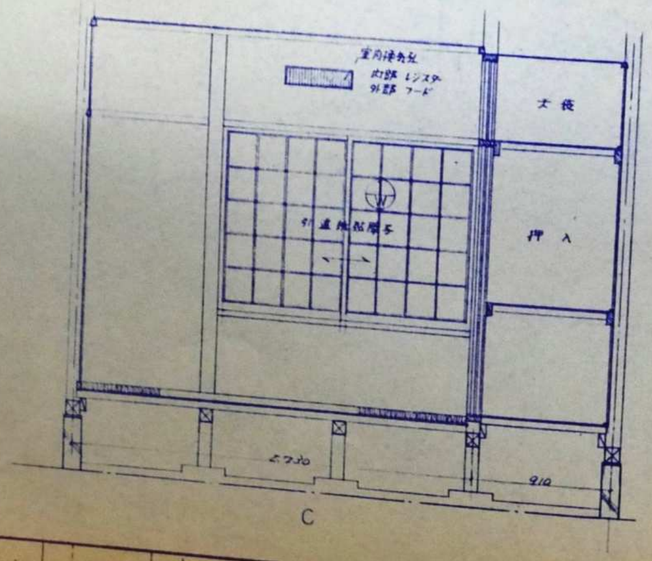
D



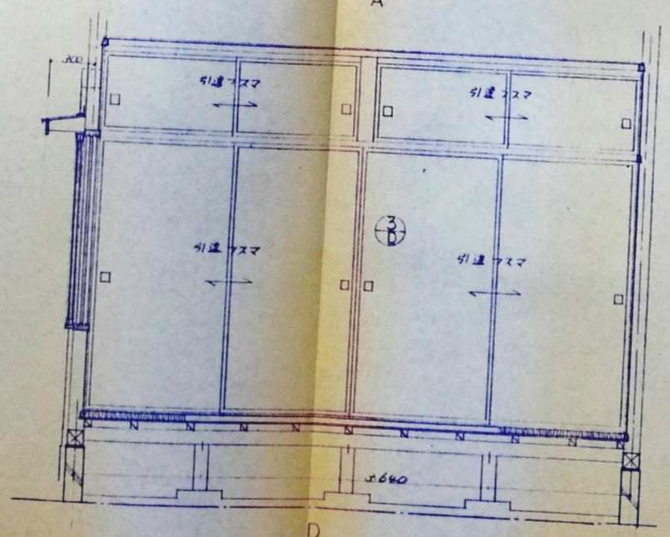
A



B



C



D

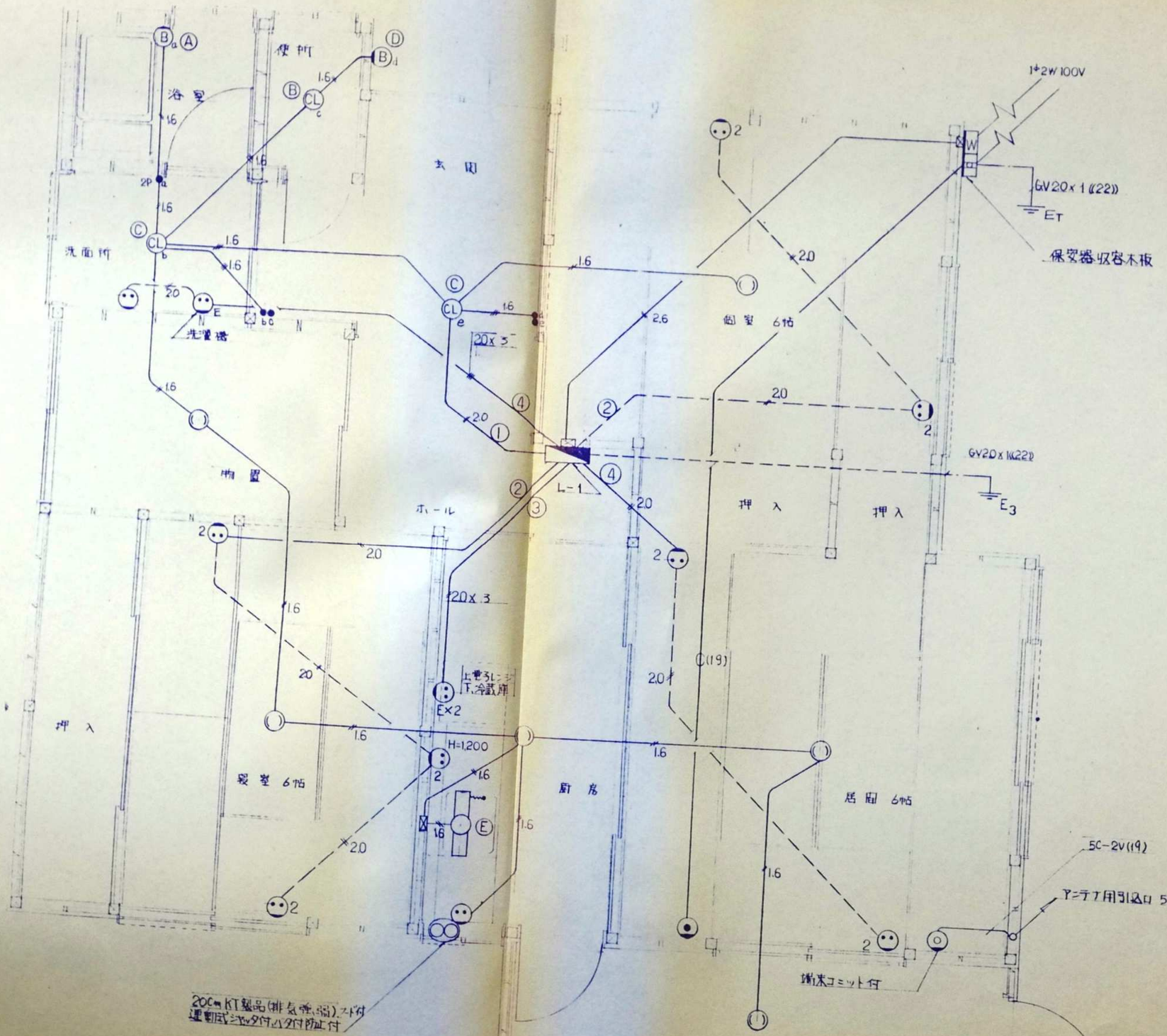
照査 石川県土木部 建築住宅課 年 月 日

課長	参事	課長補佐	係長	担当

工事名	図面名	縮尺	
石川県木造公営住宅標準設計図 石−79−ES−62	室内展開図	1／30	

株式会社 長村建築事務所

No. 図面No.



照査	石川県土木部 建築住宅課				
課長	参事	課長補佐	係長	担当	年 月 日

工事名	石川県木造公営住宅標準設計図 石-79-ES-62	図面名	電気設備 平面図	縮尺	1/30	株式会社 長村建築事務所 1級建築士 第21982号 長村實次	No	図面No 26